DST-クラウド

クラウド診断・業務支援サービス
DST-クラウド取扱説明書

2015年2月作成

株式会社デンソー

重要

お客様へ：

以下のＤＳＴ－クラウド利用規約（以下「本規約」）を注意してお読み下さい。ＤＳＴ－クラウド利用規約は契約書です。ＤＳＴ－クラウド（以下「本サービス」）及びその関連資料は、著作権法及び国際条約の条項によって保護されています。お客様は、本サービスを使用する前に本規約に同意する必要があります。もし、お客様が本規約の条項を承諾されない場合、お客様は本サービスを使用することができません。

ＤＳＴ－クラウド利用規約

総則

第１条（規約の適用）

本規約は株式会社デンソー（以下「弊社」）が提供する本サービスの利用に関し、弊社及び会員（本規約を承諾し、弊社の定める会員登録手続きを完了し弊社が承認したお客様）すべてに適用されます。

第２条（規約の変更）

弊社は、会員の了承を得ることなく、本規約を変更することがあります。

会員

第３条（会員登録の申込）

本サービスを利用する（会員登録を申し込む）には本規約に同意の上、弊社指定の以下のいずれかのライセンス証が必要です。

（１）　弊社製ダイアグテスター「ＤＳＴ－ｉ」および「ＤＳＴ－クラウド」のライセンス証。

（２）　弊社製パソコン用多機能診断ソフト「ＤＳＴ－ＰＣ」でＤＳＴ－クラウドの一部の機能を試したい場合は、「ＤＳＴ－ｉ」および「ＤＳＴ－ＰＣ」のライセンス証。

第４条（会員登録の成立）

１．弊社は、前条の申し込みをされたお客様に対して、弊社が審査を行い、利用ライセンスの有効性を弊社が確認した後に仮登録の通知を発行します。この仮登録の通知がお客様に到達後、お客様は本規約を承諾の上、弊社指定の手続きにより会員登録をするものとします。

２．会員は、会員登録の申し込みの時点において本規約の内容を承諾しているものとみなします。

第５条（会員登録の有効期間）

会員が本サービスを利用可能な期間は、「ＤＳＴ－クラウド」のライセンス証の有効期間に準じます。

第６条（退会及び継続）

１．本サービスは前条の有効期間終了時に終了し、同時にお客様は退会するものとします。

２．有効期間満了日以降も会員登録を継続し本サービスを利用する場合は、「ＤＳＴ－クラウド」のライセンス証を購入し有効期間を更新するものとします。

第７条（ユーザＩＤおよびパスワード）

１．会員は、会員を特定する情報として、会員が所有する「ＤＳＴ－ｉ」のシリアルナンバーを登録する必要があります。登録されたシリアルナンバーに対して、本サービスを利用するためのユーザＩＤとパスワードを設定できます。

２．本サービスの全機能を利用するには、登録されたシリアルナンバーの付与された「ＤＳＴ－ｉ」が接続された「ＤＳＴ－ＰＣ」が必要です。１つのユーザＩＤに対して、同時にサーバーに接続できる「ＤＳＴ－ＰＣ」は１台に限ります。

３．本サービスの一部の機能は、同一のユーザＩＤにて汎用Ｗｅｂブラウザでの使用を許諾しますが、その利用（同時接続できる台数、機能等）は制限されます。

４．会員はユーザＩＤとパスワードを第三者に開示、漏洩せず自らの責任で管理するものとします。ユーザＩＤとパスワードを用い行われた本サービスの利用は第三者が無断使用した場合でもすべて当該会員の行為とみなし、その責任は会員が負うものとします。

第８条（会員の個人情報等）

弊社は、会員登録、および本サービスの利用により弊社に提供する会員に関するユーザ情報（会社名、氏名、住所、メールアドレス、電話番号等）、ログイン情報（ユーザＩＤ、パスワード）および本サービスの利用環境（会員が所有する「ＤＳＴ－ｉ」のシリアルナンバー等の識別情報、会員が本サービスのサーバーにアクセスする際のＩＰアドレス等）の個人情報（以下「会員情報」）を以下の目的で利用いたします。

（１）　本サービスの実施・提供およびその改良・開発
（２）　公式ウェブページの改良
（３）　電子メール等の手段を用いた本サービスに関する会員との連絡や情報提供
（４）　個人を識別できない形での利用

第９条（会員登録の拒否）

弊社は次の各号に該当する場合には、会員登録の申し込みを承認しない場合があります。

（１）　会員登録の申し込みに虚偽の申告がある場合
（２）　過去に規約違反等により本サービスの利用を停止されていることが判明した場合
（３）　業務遂行上支障が生じると弊社が判断した場合

第１０条（会員登録の解除）

弊社は会員がいずれかに該当する場合には、何ら責任を負うことなく会員登録を解除し、本サービスの利用を停止できるものとします。

（１）　会員登録の成立後に第９条第１～３号のいずれかに該当することが判明した場合
（２）　本規約のいずれかの規約に違反した場合、または違反していたことが判明した場合
（３）　ユーザＩＤおよびパスワードを不正に利用した場合
（４）　本サービスの運営を妨害した場合
（５）　反社会的、反道徳的な行為を行った場合、または行われていたことが判明した場合
（６）　前各号の他、弊社が合理的な事由により、会員として不適当と判断した場合

本サービス

第１１条（本サービスの内容）

１．本サービスは会員制のサービスです。弊社が会員に提供する本サービスの主な機能は、次の通りです。

（１）車両の健康診断

　弊社が販売している「ＤＳＴ－ｉ」を経由して車両から取得したダイアグコードおよび車両ストリームデータ等のＯＢＤ（オンボードダイアグノーシス）情報と参考値を比較した結果を、車両健康診断レポート等として表示する。

（２）電子点検簿

　点検項目にしたがって点検した結果を入力し、それらを点検簿としてまとめて表示する。

（３）修理支援

　診断対象の車両情報（車台番号、登録番号等）および問診情報（車両の症状等）を入力し、その類似修理事例を検索し表示する。また、対象車両の修理結果を修理レポート等として作成し、表示する。なお、修理支援で会員が入力した情報の一部（車両情報、問診情報、修理レポート）は類似修理事例を作成、提供するために弊社が利用することがあります。

（４）カルテ管理

　上記第１～３号で実施した履歴等を表示する。

２．本サービスを利用時に入力した情報（車両情報、問診情報等)、車両の測定データおよび各種レポート等（点検簿を含む）をサーバーに再利用可能な形で登録保管します。

３．本サービスで作成または提供されるＰＤＦ型式のファイル（類似修理事例を除く）は、会員のパソコン等に一時保管でき、印刷して利用することができます。ただし、会員が本サービスを利用する以外の目的で当該ファイルを利用することはできません。

４．弊社は本サービスの提供に関するもの以外、整備および修理等の問合せは受けません。

５．本サービスは弊社が販売しているダイアグテスターを利用する機能を含みますが、ダイアグテスター操作方法の指導、ダイアグテスターのソフトウェアのバージョンアップ等の提供を行うものではありません。ダイアグテスターのソフトウェアのバージョンアップは別契約となります。

６．本サービスは、会員の了承を得ることなく、変更することがあります。

第１２条（本サービスに関する問合せ）

本サービスに関する問合せ可能日および時間は次の通りとします。但し、第１３条に相当する場合は、この限りではありません。

平日（土日、祝祭日及び弊社が指定する日を除く）　9：00～17：00

第１３条（本サービスの中断、中止）

１．弊社はいずれかに該当する場合には、会員に対し事前に通知することなく、本サービスの一部または全部の提供を中断することがあります。
（１）本サービス用設備の故障、保守または工事上やむ得ない場合
（２）天災、火災、事変等の発生、または発生のおそれのある場合等やむ得ない場合
（３）一種電気通信事業者またはその他の電気通信事業者の役務が提供されない場合
（４）その他弊社が運用上または技術上、本サービスの中断を要すると判断した場合

２．前項の規約によらず、いかなる場合においても、弊社は会員に対してあらかじめ通知することにより本サービスを中止できるものとします。

利用上の注意

第１４条（会員による入力情報等の取扱い）

１．弊社は次の各項を除き、会員の同意なしに本サービスで知り得た情報（サーバーに登録保管された情報）を第三者に提供することはありません。

２．会員は、次の各号に示す情報を入力し、弊社が本サービスを提供するために、利用および蓄積することに同意するものとします。また、これらの情報入力は会員の責任で当該車両の所有者から許諾を受けているとみなします。
（１）車両情報（車台番号、登録番号等）
（２）問診情報（車両の利用状況、車両の症状等）
（３）「ＤＳＴ－ｉ」経由で取得する車両のＯＢＤ情報
（４）対象車両の点検、修理結果（健康診断レポート、点検簿、修理レポート等）

３．会員は、本サービスの向上のため、弊社が前項第１～４号の情報の一部または全部を利用（翻案を含む）し、類似修理事例を作成したり、他の会員に利用させたりする権利を、弊社に無償で提供し、会員脱退後においても継続してこの権利を提供することに同意するものとします。

４．会員は、弊社が本サービスで知り得た情報（サーバーに登録保管された情報）を統計処理した上で利用することに同意するものとします。

第１５条（利用上の禁止事項）

会員は本サービスを利用するにあたって、次の行為を行わないものとします。
（１）車両の点検・整備以外の目的の為に、本サービスを使用すること。
（２）表示画面を電子的に複写（ハードコピー）もしくは写真撮影し、第三者に公開したり使用させること。
（３）本サービスで提供している類似修理事例を収集したり、蓄積したりする行為、またはこれらを複製、併合、翻案して第三者に公開したり使用させること。
（４）本サービスを譲渡、貸与、販売、再実施許諾またはその他の方法で第三者（会員が本規約と本サービスを譲渡し、譲受人は永久に本規約の全ての条項に同意するとしても）に移転すること。
（５）本サービスをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、複製、併合、改変または変換すること。
（６）本サービスの構成要素から弊社の著作権や登録商標、その他の所有者の情報を取り除いて不明瞭にしたり、本サービスの構成要素を改変したり、新たな構成要素を付与したりすること。
（７）(i)核兵器、化学兵器、生物兵器、ミサイル兵器等の大量破壊兵器の設計、開発、製造、蓄積及び使用(ii)その他、軍事活動への使用(iii)これらの活動を援助するいかなる使用、を含む国際的な平和と安全を脅かす目的での使用に関して、弊社から提供された本サービスおよび技術、その他の製品の製造または開発に関わる本サービスおよび技術を使用すること。
（８）本サービス、関連技術その他一切の情報およびその複製物を、日本国法および関連省令或いは条例が禁止する国或いは地域へ直接或いは間接的に持ち出すこと、或いは輸出すること。
（９）弊社の公式ウェブページから違法に会員登録をすること。
（１０）手段を問わず、本サービスの運営を妨害すること。
（１１）他の会員の個人情報を収集したり、蓄積すること。
（１２）本サービスは日本国内でのみ使用できるものであり、海外で使用すること。
（１３）弊社グループ各社及びその関連会社、その他あらゆる人物や組織を装ったり、またそれらと連携関係にあると偽ったりそれらを他者に誤解させるように伝えること。
（１４）その他弊社が不適当と判断する行為をすること。

第１６条（免責事項）
本サービスは、いかなる保証も付されず「現状のまま」で提供されるものです。
１．会員登録の解除後、会員が入力した情報や車両から取得した情報であっても、お客様は本サービスの一切の機能を利用することはできません。
２．弊社による本サービスの提供または本規約下の権利許諾は、第三者の知的財産権を侵害しないことを保証するものではありません。
３．弊社は、本サービスの特定用途への適合性及び商品性を保証しません。
４．弊社は、本サービスの瑕疵に関していかなる責任も負いません。
５．車種または発生した現象の内容によっては、本サービスの対象外となる場合があります。

第１７条（損害賠償）
１．弊社は、本サービスまたはその一部に起因して発生する、或いは本サービスを使用するまたは使用できないことに起因して発生する直接的、間接的、特別、付随的、派生的またはその他一切の損害について賠償責任を負いません。
例えば、次の各号の場合は、弊社の賠償責任は免責されるものとします。
（１）本サービスの利用により、車両に損傷等を与えた場合。
（２）本サービスの結果により、会員が損失、損害を受けた場合。
（３）会員が入力および取得した情報（車両情報、各種レポート、会員情報等）が消失、欠落等したことにより会員に何らかの損害が発生した場合。
２．第１３条の本サービスの一部または全部の提供を中断、中止に伴い、会員に発生した不利益、損害に対しては、弊社はいかなる責任も負わないものとします。
３．会員が本サービスの利用によって第三者に対して損害を与えた場合、会員は自己の責任と負担をもって解決し、弊社には一切の迷惑をかけないものとします。
４．会員が本規約または個別サービスに係る規約に反した行為、または不正もしくは違法な行為によって弊社に損害を与えた場合、弊社は当該会員に対して損害賠償を請求することができるものとします。

その他

第１８条（秘密保持及び個人情報の保護）
１．法令の定めがある場合を除き、本サービスの提供に関して知り得た会員等の個人情報をお客様の承諾なく第三者に提供しません。ただし、弊社は本サービスの実施・提供の目的の範囲内で、守秘義務を負う業務委託先（配送業者、印刷業者等）に個人情報を預託することがあります。
２．弊社は、本規約に別段定めのある場合を除いて、本サービスの提供に関して知り得た会員情報については、弊社の個人情報指針に従って管理するものとします。なお、弊社の個人情報指針「プライバシーポリシー」は、http://www.denso.co.jp/ja/privacypolicy/index.html にて参照いただけます。

第１９条（準拠法）
本規約は、その有効性、解釈及び履行を含め、全ての事項に関して、法律上の紛争に関わらず日本国法に準拠するものとします。

（付則）
この規約は２０１３年７月１日から発効します。

目次

はじめに

クラウド診断・業務支援サービスDST−クラウド（以降「DST−クラウド」、または「当サービス」）をご利用いただきありがとうございます。
ご使用の前に、本書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

==

Copyright (C) DENSO CORPORATION. All rights reserved.

お断り

- DST−クラウドおよびDST−PCは、株式会社デンソー製DST−iをインターフェースとして使用します。
  他の製品をインターフェースとして使用することはできません。

- DST−クラウドおよびDST−PC、DST−iの仕様は予告なく変更することがあります。
  変更したバージョンは以前のバージョンと100%完全互換性を保証するものではありません。

- DST−クラウドを使用した結果発生した事故、その他の問題に対して、株式会社デンソーは一切の責任を負いません。

- 個人情報保護の観点から、各種レポートの備考欄やフリー入力欄に容易に個人を識別できる情報の記載は
  お控えください。

商標について

- Microsoft、Windows、Internet ExplorerおよびWindows 8、Windows 7、Windows Vista、Windows XPは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

- Intel、Pentium、PentiumⅢは、米国Intel Corporationおよび子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

- Bluetoothは、Bluetooth SIG,Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

- Adobe、Adobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標または登録商標です。

- その他、記載されている製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

機能概要

DST−クラウドでは以下のサービス機能を使用することができます。

車両情報管理 車両登録	車両新規登録	本機能は、車両情報を新規登録するときに使用します。 当サービスを利用するためには、必ず車両情報を登録する必要があります。 DST−クラウドに登録されていない新たな車両は、本機能で登録してください。
	車両情報更新	本機能は、DST−クラウドに既に登録されている車両情報を編集するときに使用します。
	車両情報削除	本機能は、DST−クラウドに登録されている車両情報を削除するときに使用します。
車両健康診断 健康診断	ガソリンエンジン ディーゼルエンジン ハイブリッド ALLダイアグ	本機能は、車両のエンジン制御状態を診断するときに使用します。 本機能を使用する際には、DST−iを介して車両と接続する必要があります。 画面の指示に従って始動操作とアクセル操作を行うことで、車両の制御データを自動的に取得し、参考値（ある条件下での正常値）との比較により診断結果を判定します。 診断結果はレポートとして見易く表示することができ、出力（印刷、データ保存）することもできます。 また、診断結果のデータはウェブサーバーに保管され、カルテ管理機能でいつでも確認することができます。
電子点検簿 電子点検簿	定期点検	本機能は、定期点検を行うときに使用します。 定期点検で必要となる点検項目が種別毎に見易く表示され、項目毎に点検結果を入力していくことで、漏れのない点検を行うことができます。 点検結果はレポートとして見易く表示することができ、出力（印刷、データ保存）することもできます。 また、点検結果のデータはウェブサーバーに保管され、カルテ管理機能でいつでも確認することができます。 各点検で点検項目が異なります。
修理支援 修理支援	修理開始・再開	本機能は、修理前の問診から修理後の修理内容まとめまで、一連の修理を行うときに使用します。 本機能内のALLダイアグ機能を使用する際には、DST−iを介して車両と接続する必要があります。 「問診入力」では、修理前に必要な問診項目を表示し、製品区分や症状に合わせた選択肢から回答を選択します。 「ALLダイアグ」では、必要に応じて車両から故障コードのデータを取得します。車両健康診断で取得したデータを利用することもできます。ただし、利用できるデータは当日取得したものに限られます。 「類似事例検索」では、車両情報やキーワードから類似している修理事例をウェブサーバーの登録データから検索し、修理内容を参考にすることができます。 「調査結果入力」では、修理結果（調査内容、修理内容、原因となった部品など）を入力します。 自社での対応が難しい案件について、修理支援機能で作成したカルテをデンソーサービスステーションに送付することで、修理を依頼することができます。 修理結果はレポートとして見易く表示することができ、出力（印刷、データ保存）することもできます。 また、修理結果のデータはウェブサーバーに保管され、カルテ管理機能でいつでも確認することができます。 「レポート作成」では、レポートに表示する項目を任意に選択できるので、必要な情報だけをお客様へお見せすることができます。
カルテ管理 カルテ管理	カルテ情報	本機能は、ウェブサーバーに保管されているデータを確認するときに使用します。 「車両健康診断」、「電子点検簿」、「修理支援」の結果をレポートとして表示することができ、出力（印刷、データ保存）することもできます。 「車両健康診断」、「電子点検簿」、「修理支援」のデータは、保管先のURLをQRコードとしてお客様へお渡しすることができます。
	修理依頼・結果確認	自社での対応が難しい案件について、修理支援機能で作成したカルテをデンソーサービスステーションに送付することで、修理を依頼することができます。

自社情報更新	自社情報更新	本機能は、自社情報を新規登録または更新するときに使用します。 当サービスを利用するためには、必ず店舗情報と担当者を登録する必要があります。 「担当者」とは、DST-クラウドをご利用になる方を指します。 ライセンス登録後に初めてDST-クラウドをご利用になる際は、本機能で自社情報を登録してください。 また、後から既に登録されている自社情報を編集することもできます。
店舗検索	デンソーサービスステーション検索	本機能は、最寄りの店舗や条件を満たす店舗を検索するときに使用します。

ポイント

・ 使用可能な機能は、DST-PCから起動した場合とウェブブラウザから起動した場合で異なります。

＜使用可能な機能一覧＞

サービス機能		作業	DST-PCから起動 （DST-i接続は必須） 車両接続有り	 車両接続無し	ウェブブラウザから起動
車両情報管理	車両新規登録	情報入力～登録	○	○	○
	車両情報更新	情報入力～登録			
	車両情報削除	削除			
車両健康診断	ガソリンエンジン ディーゼルエンジン ハイブリッド ALLダイアグ	情報入力～登録	○	○	○
		健康診断実施	○	×	×
		診断結果入力～登録	○	○	○
		各種レポート表示、出力	○	○	○
電子点検簿	定期点検	点検前情報入力	○	○	○
		各種点検			
		点検結果情報入力			
		点検結果登録			
		レポート表示、出力			
修理支援	修理開始・再開	問診入力～登録	○	○	○
		ALLダイアグ実施	○	×	×
		類似事例検索	○	○	×
		調査結果入力～登録	○	○	○
		レポート作成、設定～登録	○	○	○
		修理結果登録	○	○	○
		修理依頼	○	○	○
		レポート表示、出力	○	○	○
カルテ管理	カルテ情報	お客様開示	○	○	○
		各種データ表示			
		各種レポート表示、出力			
	修理依頼・結果確認	修理依頼	○	○	○
		結果の確認			
		レポート作成			
自社情報更新	自社情報更新	情報入力～登録	○	○	○
店舗検索	デンソーサービスステーション検索	条件入力～店舗情報表示	○	○	○

＜各機能の対応状況＞
DST−クラウドでは国内乗用車、海外乗用車、大型車の登録が可能ですが、それぞれの車両で各機能への対応状況が異なります。
詳細は以下の表を参考にしてください。

〇：対応、−：非対応　※2015年1月26日時点での対応状況です。

	国内乗用車	海外輸入車	大型車
ガソリンエンジン健康診断	〇 ※1、※2	−	−
ディーゼルエンジン健康診断	〇 ※1、※2	−	−
ハイブリッド健康診断	〇 ※1、※2	−	−
ALLダイアグ健康診断	〇 ※1、※2	〇 ※1	−
電子点検簿	〇	〇	〇
修理支援	〇	〇	〇

※1 車両によっては対応していないものもあります。
※2 対応状況の詳細については、DST−i専用ウェブサイトでご覧いただけます。
「DST−クラウド 健康診断 適用車種一覧表」右側の「ダウンロード」ボタンをクリックしてください。
http://www.ds3.denso.co.jp/dst-i/manuals.html

安全にお使いいただくために

● 本製品は、適切な訓練を受け、技能を身につけた自動車専門技術者により使用されるものです。以下、取扱説明書を通じて示されている安全メッセージは、本製品を使用する際に十分注意すべきことを使用者に促すものです。

● 車両の診断・整備には、作業を行う個人の技能とともに、多種多様な作業手順、技術、工具、部品などを使用し様々な結果が考えられるため、それらすべての状況を網羅するアドバイスや安全メッセージを提示することはできません。従って、診断システムについて十分な知識を持つことは自動車専門技術者の責任です。適切な診断・整備の方法や処置のために活用し、あなたの安全、作業場にいる他の人の安全、加えて、診断する車両や装置の安全を損なわないよう、適切な方法で作業を行うことが重要です。

● 本製品を使用する前提として、使用者は車両システムを十分理解しているものと想定しています。本製品を、適切、安全、正確に使用するためには、本製品の操作方法だけでなく、車両システムの原理も十分理解することが必要です。

● 本書では、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、お読みください。

警告	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。**
注意	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、または物的損害が発生する可能性があること、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があることを示しています。**

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	左記に示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	左記に示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中や、その脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	左記に示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。
重要	**お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。**
ポイント	**操作に関連することや、補足情報について記述しています。必要に応じてお読みください。**

警告

「安全な診断を行うためには」に記載されている注意事項に従い、診断・修理作業を実施してください。

本製品を使用する前には、診断する車両または装置のメーカーにより提供されている安全メッセージや適用診断手順も参照し、それに従ってください。
注意事項に従わない場合、事故を引き起こす恐れがあります。

走行中に作業をしないでください。
事故になる危険があります。

ケーブルは、作業者または運転制御装置に絡まるような取り回し方をしないでください。
事故を引き起こす恐れがあります。

発熱、発火、破裂または感電の原因となりますので、以下のことを必ず守ってください。

－ 定格電圧を超える電源に接続しないでください。

－ プローブなどを、定格を超える電圧部分に接続しないでください。

⚠ 注意

- 作業を実施する前に、車輪に輪止めをして動かないようにしてください。
  事故を引き起こす恐れがあります。
- 車両の下などの目に見えにくい場所で作業する場合、必ずスタータスイッチ（イグニションスイッチ）をOFFにし、車両が絶対に動かないようにしてください。
  事故を引き起こす恐れがあります。
- エンジン始動や車両を移動する際は、周りに他の作業者がいないことを確認してから行ってください。
- ECUやインジェクタには100Vを超える高電圧が発生しています。作業を行う際は、感電に十分注意してください。
- 部品を取り外す際は、バッテリーのアース線を取り外してから作業してください。
- コネクタまたは車両の電気端子を接続したり取り外す際は、特別な指示がない限り、必ずスタータスイッチ（イグニションスイッチ）をOFFにしてください。
  車両側電気回路の損傷を引き起こす恐れがあります。
- 回転物の近くで作業を行う際は、安全メガネや保護衣服を着用してください。
  回転するエンジンにより、部品等が飛散し、事故を引き起こす恐れがあります。
- エンジンが冷えているとき以外は、ラジエータキャップを取り外さないでください。
  高温で加圧されたエンジン冷却水を浴びる恐れがあります。
- 排気装置、マニホールド、エンジン、ラジエータなどの高温になる部分に素手で触れないでください。
  やけどの原因となります。
- 高温のエンジン・部品を触れたり、扱う際は、手袋を使用してください。
- エンジンの回転中は、本製品のケーブルなどをエンジンルームの上を通して作業しないでください。
  ベルトやプーリーにより、ケーブル・衣類などが巻き込まれ、事故を引き起こす恐れがあります。
- 水がかかるような場所で作業しないでください。

安全な診断を行うためには

以下には、診断・修理作業を行う上での一般的な注意事項について示してあります。

安全な診断を行うためには
・ バッテリーの上に金属工具を置かないでください。 ・ バッテリーの近くでは火花を起こさないでください。 *バッテリーガスが発火する恐れがあります。* ・ 火のついたタバコ、スパーク、裸火、その他の発火源は、車両およびバッテリーから遠ざけてください。 ・ バッテリー・ケーブルを取り外す前には、必ずスタータスイッチ（イグニションスイッチ）をOFFにし、ヘッドライトやその他のアクセサリーをOFFにしてください。 ・ 電気システム・コンポーネントを整備点検する前には、必ずバッテリーのアース線を取り外してください。 ・ バッテリーは、金属製の装飾品を溶損する程の高い短絡電流を流すことができます。バッテリーの近くで作業する前に、指輪、腕輪、時計などの装飾品を取り外してください。 *事故を引き起こす恐れがあります。* ・ バッテリーを取り扱う作業者や近くで作業している人は、安全メガネや保護手袋を使用してください。 ・ バッテリーを取り扱う場合は、近くにたくさんの新鮮な水と石鹸を用意してください。万が一バッテリー液が皮膚、衣類、または目に入った場合は、該当部分を石鹸水で10分間洗ってください。そして、直ちに医療機関で診察、治療を受けてください。 ・ バッテリーの近くで作業している間は、目を直接こすったり、触れたりしないでください。 *バッテリー液により、目や皮膚にやけどをする恐れがあります。* ・ ジャンパ・ワイヤまたは工具で、バッテリー端子間の電気接続を行わないでください。 ・ 電力を有しているか、有しているかもしれない電気端子を接地しないでください。 *車両側電気回路の損傷を引き起こす恐れがあります。* ・ エンジンを始動して作業する際は、排気ガスを強制的に屋外へ排気する設備がある場所で使用してください。 *エンジン排気ガスには、無臭の致死的ガスが含まれており、中毒により、死亡または重傷にいたる可能性があります。* ・ 地下ピットや密閉された屋内のように、爆発性蒸気が集まる環境で、本製品を使用しないでください。 ・ 作業中は、喫煙したり、マッチをすらないでください。 *バッテリーガスや爆発性のガスが発火する恐れがあります。* ・ 診断を行っているときには、引火性のあるスプレーや洗浄用スプレーなどを使用しないでください。 ・ 万が一の爆発、爆発に伴う火災に備え、ガソリン、化学薬品および電気火災用の乾燥化学消化器を作業場に備えてください。 ・ 作業者や近くで作業している人は、安全メガネと保護衣服を使用してください。 *車両システムの故障や誤動作により、燃料、油蒸気、高温蒸気、有毒排気ガス、酸、冷媒、その他の異物を排出する恐れがあります。*

動作環境

DST−クラウドおよびDST−PCをご使用になるには、以下の動作環境が必要です。

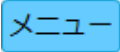
パソコン環境

OS	Microsoft Windows XP（SP3）日本語版 Microsoft Windows Vista（32bit、64bit）日本語版 Microsoft Windows 7（32bit、64bit）日本語版 Microsoft Windows 8（32bit、64bit）日本語版
CPU	Intel PentiumⅢ 1GHz 以上
メモリ	Windows XP ：512MB以上 Windows Vista（32bit）：1GB以上 Windows Vista（64bit）：2GB以上 Windows 7（32bit）：1GB以上 Windows 7（64bit）：2GB以上 Windows 8（32bit）：1GB以上 Windows 8（64bit）：2GB以上
ハードディスク	1GB以上の空き容量
USB	USB 2.0（1ポート以上の空きがあること）
ディスプレイ	1024×768 ドット以上の解像度
アプリケーションソフト	バージョン2.0以上のDST−PCがインストールされていること Acrobat Reader等、PDFデータを閲覧できるアプリケーションがインストールされていること
インターネット環境 ウェブブラウザ	ADSL、光通信、3G/LTEモバイルルーター、WiFiなどでインターネットに接続することができて、通信が途切れないこと インターネットエクスプローラ8、9、10のいずれかがインストールされていること

※全てのパソコンでの動作を保証するものではありません。

接続機器

インターフェース	DST−i ※DST−PCライセンスのユーザ認証が必要
データリンクケーブル	DST−iセットに付属のもの
USBケーブル	DST−iセットに付属のもの

1. 当サービスを利用する前に

1-1. 画面の見方

メインメニュー画面で行うことができる操作を以下に説明します。

メインメニュー画面

メインメニュー画面では以下の操作を行うことができます。

①	メニュー	【メニュー表示】 メニューを表示します。 他の画面でもボタンが表示されていれば使用することができます。
②	DST-PC	【DST-PCへの切り替え】 DST-クラウドを終了して、DST-PCへ切り替えます。 再度DST-クラウドを利用するには、ログインが必要になります。
③	FAINES	【FAINESを開く】 日整連（日本自動車整備振興会連合会）が提供するFAINESのログイン画面をウェブブラウザで開きます。
④	アプリ終了	【DST-クラウド終了】 DST-クラウドを終了します。 詳細説明は、「12. DST-クラウドの終了」を参照してください。

メニュー表示から項目を選択すると、以下の操作を行うことができます。

メインメニュー マニュアル ＦＡＱ お問い合わせ先 利用規約 ログアウト	メインメニュー	他の画面からメインメニュー画面に戻ります。
	マニュアル	当サービスの取扱説明書を表示します。 PDFファイルをパソコンに保存することもできます。
	FAQ	よくある質問と回答を表示します。 PDFファイルをパソコンに保存することもできます。
	お問い合わせ先	お問い合わせ先の電話番号とeメールアドレスを表示します。
	利用規約	当サービスの利用規約を表示します。 PDFファイルをパソコンに保存することもできます。
	ログアウト	DST−クラウドからログアウトして、ログイン画面に戻ります。

メインメニュー画面から以下のサービス機能を使用することができます。

 	【車両情報の登録（新規登録、登録情報の更新）、削除】 本機能は、車両情報を新規登録するとき、または既に登録されている車両情報を編集・削除するときに使用します。 DST−クラウドに登録されていない新たな車両は、本機能で登録してください。 当サービスを利用するためには、必ず車両情報を登録する必要があります。 詳細説明は、「4. 車両情報管理」を参照してください。
 	【車両の健康診断】 本機能は、車両のエンジン制御状態を診断するときに使用します。 画面の指示に従って始動操作とアクセル操作を行うことで、車両の制御データを自動的に取得し、参考値（ある条件下での正常値）との比較により診断結果を判定します。 診断結果はレポートとして見易く表示することができ、出力（印刷、データ保存）することもできます。 また、診断結果のデータはウェブサーバーに保管され、カルテ管理機能でいつでも確認することができます。 詳細説明は、「5. 車両の健康診断 」を参照してください。
 	【電子点検簿による定期点検】 本機能は、定期点検を行うときに使用します。 定期点検で必要となる点検項目が種別毎に見易く表示され、項目毎に点検結果を入力していくことで、漏れのない点検を行うことができます。 点検結果はレポートとして見易く表示することができ、出力（印刷、データ保存）することもできます。 また、点検結果のデータはウェブサーバーに保管され、カルテ管理機能でいつでも確認することができます。 各点検で点検項目が異なります。 詳細説明は、「6. 電子点検簿による定期点検」を参照してください。

 修理支援	【問診から修理結果入力、レポート作成までの作業支援】 本機能は、修理前の問診から修理後の修理内容まとめまで、一連の修理を行うときに使用します。 「問診入力」では、修理前に必要な問診項目を表示し、製品区分や症状に合わせた選択肢から回答を選択します。 「ALLダイアグ」では、必要に応じて車両から故障コードのデータを取得します。車両健康診断で取得したデータを利用することもできます。ただし、利用できるデータは当日取得したものに限られます。 「類似事例検索」では、車両情報やキーワードから類似している修理事例をウェブサーバーの登録データから検索し、修理内容を参考にすることができます。 「調査結果入力」では、修理結果（調査内容、修理内容、原因となった部品など）を入力します。 自社での対応が難しい案件について、修理支援機能で作成したカルテをデンソーサービスステーションに送付することで、修理を依頼することができます。 修理結果はレポートとして見易く表示することができ、出力（印刷、データ保存）することもできます。 また、修理結果のデータはウェブサーバーに保管され、カルテ管理機能でいつでも確認することができます。 「レポート作成」では、レポートに表示する項目を任意に選択できるので、必要な情報だけをお客様へお見せすることができます。 詳細説明は、「7. 修理支援サービスの活用」を参照してください。
カルテ管理	【作業履歴（車両毎の蓄積データ）の確認】 本機能は、ウェブサーバーに保管されているデータを確認するときに使用します。 「車両健康診断」、「電子点検簿」、「修理支援」の結果をレポートとして表示することができ、出力（印刷、データ保存）することもできます。 「車両健康診断」、「電子点検簿」、「修理支援」のデータは、保管先のURLをQRコードとしてお客様へお渡しすることができます。 自社での対応が難しい案件について、修理支援機能で作成したカルテをデンソーサービスステーションに送付することで、修理を依頼することができます。 詳細説明は、「8. カルテ管理」を参照してください。
 自社情報	【自社情報の登録（新規登録、登録情報の更新）】 本機能は、自社情報を新規登録または更新するときに使用します。 当サービスを利用するためには、必ず自社情報を登録する必要があります。 ライセンス登録後に初めてDST-クラウドをご利用になる際は、本機能で自社情報を登録してください。 また、後から既に登録されている自社情報を編集することもできます。 詳細説明は、「3. 自社情報管理」を参照してください。
 店舗検索	【店舗（デンソーサービスステーション）検索】 本機能は、最寄りの店舗や条件を満たす店舗を検索するときに使用します。 詳細説明は、「9. 店舗検索」を参照してください。

2. DST−クラウドの接続と起動

2−1. 接続方法

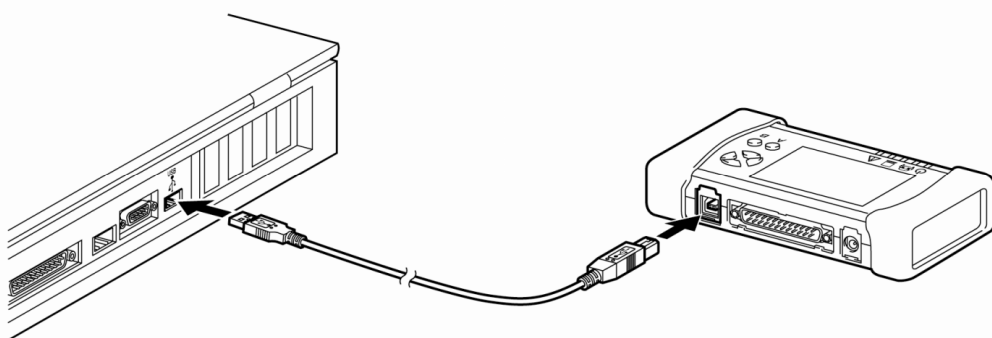
当サービスを利用する前にパソコン、DST−i、車両を専用のケーブルで接続します。
接続にはDST−iセットに付属しているデータリンクケーブルとUSBケーブルが必要になります。
パソコンはインターネットに常時接続されている状態を保持してください。

ポイント

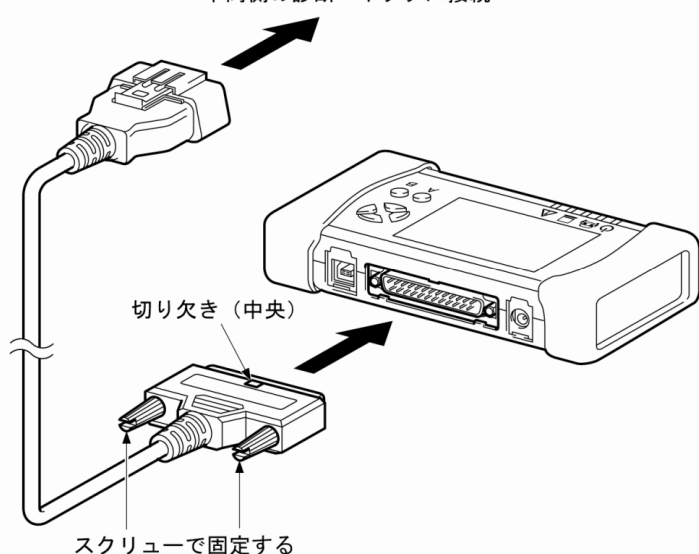
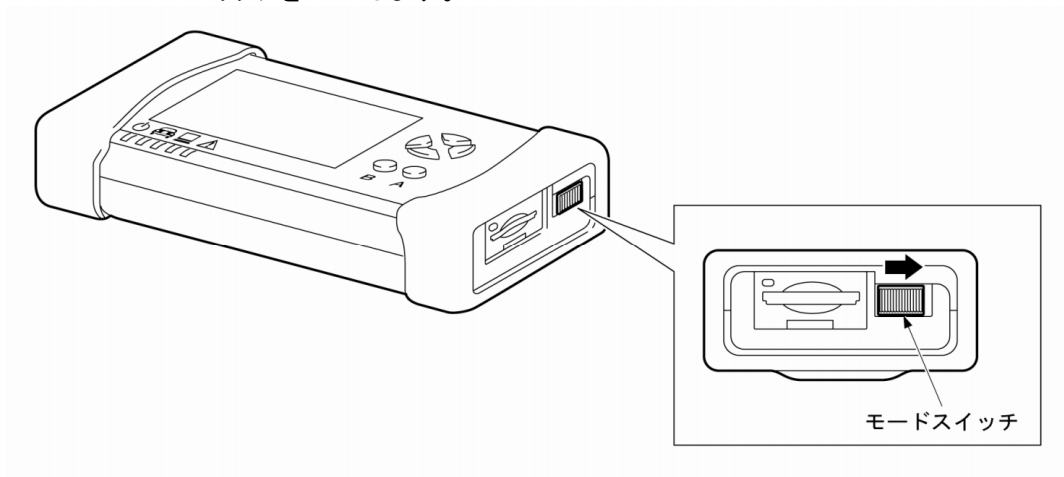
・ DST−クラウドのインターフェースとして使用するDST−iは、ユーザ認証が完了している必要があります。
ユーザ認証を行っていない場合は、先に行ってください。

● パソコンとDST−iをUSBケーブルで接続します。

ポイント

・ USBケーブルの接続については、DST−i用ハードウェア取扱説明書を参照してください。

● DST−iと車両側の診断コネクタをデータリンクケーブルで接続します。

ポイント

・ データリンクケーブルの接続については、DST−i用ハードウェア取扱説明書を参照してください。
・ 使用する機能によっては、車両との接続が不要な場合があります。
対象となる機能は、「機能概要」の「使用可能な機能一覧」を参照してください。

● DST−iのモードスイッチをONにします。

ポイント

・ モードスイッチをONにすると、DST−iの電源インジケータが緑に点灯します。

● オープニング画面が表示されるので、その画面で待機させておきます。

2-2. 起動方法

まず初めにDST-PCを起動します。その後、DST-PC画面からDST-クラウドを起動します。
DST-PCをインストールした際にデスクトップに作成されるショートカットから起動する方法とスタートメニューから起動する方法があります。

DST-PCをショートカットから起動

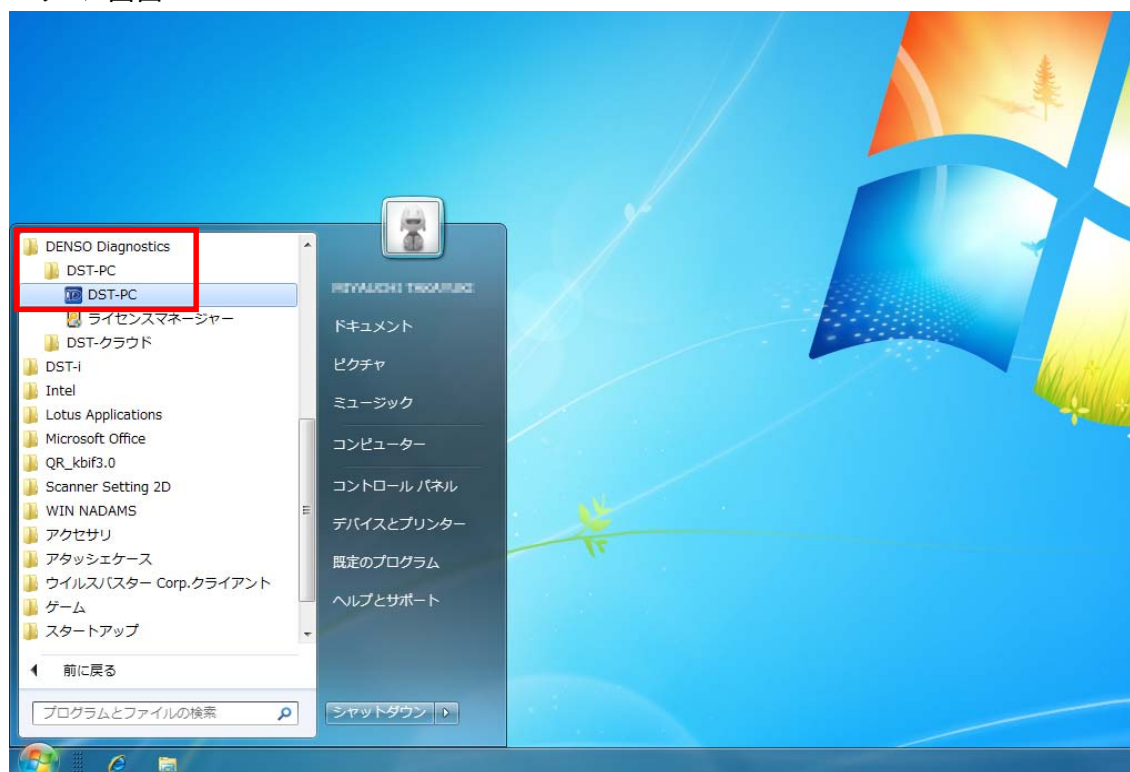
デスクトップ画面

● デスクトップ画面の DST-PC をダブルクリックし、DST-PCを起動します。
　ロゴ画面が表示された後、DST-PC画面が表示されます。

ロゴ画面

DST-PC画面

DST-PCをスタートメニューから起動

パソコン画面

● スタートメニューから「すべてのプログラム」–「DENSO Diagnostics」–「DST–PC」–「DST–PC」を選択し、DST–PCを起動します。
ロゴ画面が表示された後、DST–PC画面が表示されます。

DST−クラウドの起動

DST−PC画面

● DST−PC画面の DST-クラウド をクリックします。
ログイン画面が表示されます。

ログイン画面

● ログイン画面でユーザIDまたはメールアドレスとパスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。
メインメニュー画面が表示されます。

ポイント

- 当サービスを初めて使用される場合は、ユーザIDはライセンス認証時に登録したメールアドレスを入力してください。
  パスワードはライセンスの本登録時に登録したパスワードを入力してください。
- 「ユーザIDまたはメールアドレスを保存する」にチェックを入れると、次回以降はパスワードの入力のみでログインすることができます。
- DST-クラウドの自社情報更新を行った後は、その際に登録したユーザIDとパスワードを入力してください。
- パスワードの入力を6回間違えるとアカウントがロックされ、パスワードが無効になります。
  その場合は、ログイン画面の「パスワードを忘れた方はこちら」のリンクをクリックして、画面の指示に従ってパスワードを再設定してください。

メインメニュー画面

ポイント

・ ログイン後、未操作の状態または同じ画面を表示し続けた状態（画面遷移していない場合）で1時間経過すると、システムエラー発生後、自動的にログアウトされます。

3. 自社情報管理

ライセンス登録後に初めて当サービスを利用する前に自社情報登録を行います。
後から既に登録されている自社情報を編集することもできます。

3-1. 自社情報の新規登録

当サービスを利用するためには、必ず自社情報を登録する必要があります。
自社情報を登録するには、パスワードの入力が必要です。
登録した自社情報はウェブサーバーに保管されます。

ポイント
- 当機能を使用する際は、車両との接続は必要ありません。
  インターネット環境に接続されていれば、いつでも使用することができます。

メインメニュー画面

● メインメニュー画面で「自社情報」をクリックします。
　自社情報更新画面が表示されます。

自社情報更新画面

● 自社情報更新画面で「自社情報更新」をクリックします。
自社情報入力画面が表示されます。

自社情報入力画面

● 自社情報入力画面で各種情報を入力します。

＜入力が必要な情報＞
★が付いている項目は、入力が必須です。（※）はレポートに出力されます。

ログイン情報		
★	メールアドレス	ライセンス認証時に登録したメールアドレスが表示されます。 メールアドレスは変更することができます。 既に登録済みのメールアドレスには変更できません。
	ユーザID	ログイン時に入力するユーザIDを登録します。 ユーザIDは半角英数字、記号「-」「_」「.」8～16文字で設定してください。 ユーザIDは英字と数字の両方を含んで設定してください。 登録していない場合は、ログイン時にメールアドレスをユーザIDとして入力する必要があります。
★	パスワード	ライセンスの本登録時に登録したパスワード、または変更したパスワードを入力します。 パスワードを入力しなければ、自社情報を登録することができません。
	新パスワード	パスワードを変更する際に入力します。 パスワードは半角英数字8～16文字で設定してください。 パスワードは英字と数字の両方を含んで設定してください。
	新パスワード（確認）	パスワードを変更する際に、確認用として同じパスワードを入力します。
店舗情報		
★	会社名（※）	会社名を入力します。
	店舗名（※）	店舗名（他に支社名、支店名、工場名など）を入力します。
	代表者氏名	代表者の氏名を入力します。
★	郵便番号	会社所在地の郵便番号を入力します。
★	都道府県	会社所在地の都道府県名をプルダウンから選択します。
★	住所 1行目（※）	会社所在地の住所を入力します。
	住所 2行目（※）	会社所在地の住所を入力します。
	電話番号（※）	連絡先の電話番号を入力します。
	FAX番号（※）	連絡先のFAX番号を入力します。
	認証番号（※）	店舗の認証番号を入力します。
	指定番号（※）	店舗の指定番号を入力します。
	店舗コード	店舗コードを入力します。 ※この項目は任意です。必要に応じてご自由にお使いください。
	会社PR文言（※）	会社の自己PRに使用するメッセージを入力します。 登録したメッセージは、お客様へお渡しするレポートに表示することができます。
	会社PR画像（※）	会社の自己PRに使用する画像ファイルを選択します。 登録した画像は、お客様へお渡しするレポートに表示することができます。 「参照」をクリックして、表示させる画像ファイルを選択します。 表示可能な画像のサイズは、横500×縦100ピクセル以下になります。 画像サイズが大きい場合は、Windows標準アプリケーションの「ペイント」などを使って画像サイズを調整してください。
	PR表示選択	レポートに表示する会社PRを文言（メッセージ）にするか、画像にするか選択します。
	修理依頼定型文	修理依頼メールのコメントに使用する定型文を入力します。
担当者		
	担当者名（※）	作業担当者名を入力します。複数人登録することができます。 右上の「追加」をクリックすると、入力する行を増やすことができます。 「削除」の×をクリックすると、その行を削除することができます。 「表示順」の矢印をクリックすると、担当者の表示順を入れ替えることができます。
	メールアドレス（※）	作業担当者のメールアドレスを入力します。
ライセンス情報　※登録情報を変更することはできません。		
	シリアルNo	ライセンス登録されているDST-iのシリアルNoを確認することができます。
	ライセンス	所持しているライセンスを確認することができます。
	有効期限	ライセンスの有効期限を確認することができます。
	アクセスキー	ライセンス登録されているアクセスキーを確認することができます。

自社情報入力画面（入力後）

● 自社情報入力画面で各種情報を入力した後、「確認」をクリックします。
　登録情報確認画面が表示されます。

登録情報確認画面

● 登録情報確認画面で内容を確認した後、「登録」をクリックします。
　登録完了画面が表示されます。

ポイント

・ 登録情報に間違いや不足している情報などがあった場合は、「修正」をクリックして再度入力を行ってください。

登録完了画面

● 登録完了画面で「完了」をクリックします。
　メインメニュー画面が表示されます。

メインメニュー画面

3-2. 自社情報の更新

自社情報に変更があった場合には、自社情報を編集してウェブサーバーに登録されている情報を更新します。
また、定期的にパスワードを変更することをおすすめします。
自社情報を登録するには、パスワードの入力が必要です。

ポイント

・ 操作方法は「3-1. 自社情報の新規登録」と同様です。

4. 車両情報管理

DST−クラウドに登録されていない新たな車両情報を登録したり、既に登録されている車両情報を編集して
登録情報を更新したり、削除することができます。
車両情報を削除する際、DST−クラウドのウェブサーバーに保管されている該当車両の各種レポート
(カルテ管理で参照可能なデータ)も同時に削除されますので、ご注意ください。

ポイント
- 当機能を使用する際は、車両との接続は必要ありません。
  インターネット環境に接続されていれば、いつでも使用することができます。

4−1. 車両情報の新規登録

当サービスを利用するためには、必ず車両情報を登録する必要があります。
登録した車両情報はウェブサーバーに保管されます。

メインメニュー画面

● メインメニュー画面で「車両登録」をクリックします。
　車両情報管理画面が表示されます。

車両情報管理画面

● 車両情報管理画面で「車両新規登録」をクリックします。
車両情報入力画面が表示されます。

車両情報入力画面

● 車両情報入力画面で各種情報を入力します。

ポイント
・ QRコードリーダを使用して車両情報を入力することができます。
詳細説明は、「QRコードリーダを使用する場合」を参照してください。

＜入力が必要な情報＞
★が付いている項目は、入力が必須です。

★	登録番号	車検証の登録番号を入力、またはプルダウンから選択します。 乗用車は「自動車登録番号又は車両番号」、軽自動車は「車両番号」と表記されています。
★	初度登録年月	車検証の初度登録年月をプルダウンから選択します。 乗用車は「初度登録年月」、軽自動車は「初度検査年月」と表記されています。
★	車台番号	車検証の車台番号を入力します。
★	原動機の型式	車検証の原動機の型式を入力します。 （入力欄の右側にあるボタンをクリックすると、入力例が表示されます。）
★	燃料の種類／電気	車検証の燃料の種類をプルダウンから選択します。 ハイブリッド車の場合は、「ガソリン（ハイブリッド車）」を選択してください。
	型式指定番号	車検証の型式指定番号を入力します。
	類別区分番号	車検証の類別区分番号を入力します。
	オプション	車検証のオプションの内容を入力します。
	改造内容	車検証の改造の内容を入力します。
★	ブランド	ブランド名をプルダウンから選択します。 車両が国内メーカー乗用車の場合は「国内（乗用）」、海外メーカー乗用車の場合は「海外（乗用）」、大型車の場合は「大型」のプルダウンから選択してください。
★	車名	車名をプルダウンから選択します。
★	車両型式	車両型式をプルダウンから選択します。 選択候補が1つの場合は自動で選択されます。
★	エンジン型式	エンジン型式をプルダウンから選択します。 選択候補が1つの場合は自動で選択されます。
★	オプション1	オプション項目をプルダウンから選択します。 選択候補が1つの場合は自動で選択されます。選択不要の場合もあります。
★	オプション2	オプション項目をプルダウンから選択します。 選択候補が1つの場合は自動で選択されます。選択不要の場合もあります。
★	オプション3	オプション項目をプルダウンから選択します。 選択候補が1つの場合は自動で選択されます。選択不要の場合もあります。
★	年式、駆動方式など	年式、駆動方式、その他表示された項目を選択します。 選択候補が1つの場合は自動で選択されます。表示されない場合もあります。
	レポート向け車名	レポートに表示する車名を入力します。 デフォルトでは選択した車名がそのまま表示されます。

国内メーカー乗用車を登録する場合

車両情報入力画面

● 車両情報入力画面で「国内(乗用)」をクリックし、プルダウンからブランドを選択します。

車両情報入力画面

● 車名、車両型式、エンジン型式、オプションなどを順に選択し、レポート向け車名を入力します。
車両により選択不要の項目があります。

ポイント

・ 選択したいブランドがない場合は「その他」を選択し、ブランド(表示用)、レポート向け車名を入力します。
入力した内容がそのままレポートに記載されます。

海外メーカー乗用車を登録する場合

車両情報入力画面

● 車両情報入力画面で「海外（乗用）」をクリックし、プルダウンからブランドを選択します。

車両情報入力画面

● 車名をプルダウンから選択し、レポート向け車名を入力します。
選択したい車名がない場合は「その他」を選択します。

ポイント

・ 選択したいブランドがない場合は「その他」を選択し、ブランド（表示用）、レポート向け車名を入力します。
入力した内容がそのままレポートに記載されます。

大型車を登録する場合

車両情報入力画面

● 車両情報入力画面で「大型」をクリックし、プルダウンからブランドを選択します。

車両情報入力画面

● 車名をプルダウンから選択し、レポート向け車名を入力します。
選択したい車名がない場合は「その他」を選択します。

ポイント

・ 選択したいブランドがない場合は「大型その他」を選択し、ブランド（表示用）、レポート向け車名を入力します。入力した内容がそのままレポートに記載されます。

車両情報入力画面（入力後）

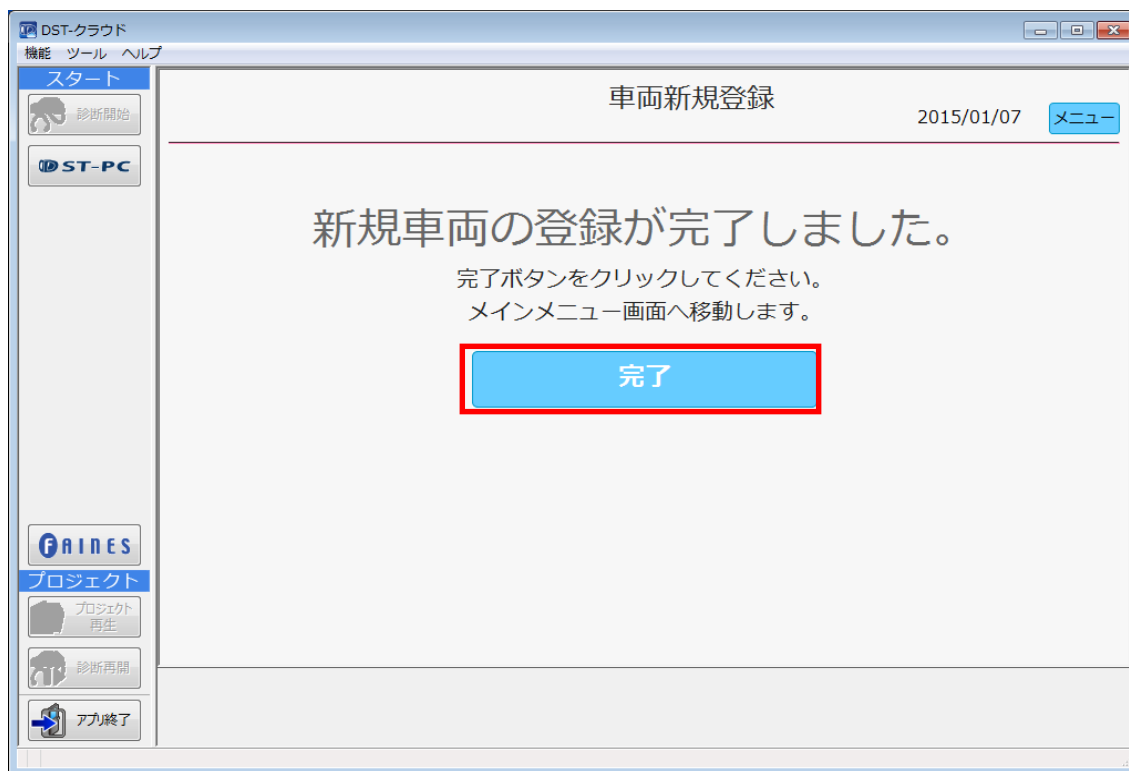
● 車両情報入力画面で各種情報を入力した後、「確認」をクリックします。
登録情報確認画面が表示されます。

登録情報確認画面

● 登録情報確認画面で内容を確認した後、「登録」をクリックします。
　登録完了画面が表示されます。

ポイント

・ 登録情報に間違いや不足している情報などがあった場合は、「修正」をクリックして再度入力を行ってください。
・ 特に「登録番号」と「車台番号」は車両を特定する為の重要な項目になりますので、正しく入力されていることをしっかりと確認してください。

登録完了画面

● 登録完了画面で「完了」をクリックします。
メインメニュー画面が表示されます。

メインメニュー画面

QRコードリーダを使用する場合

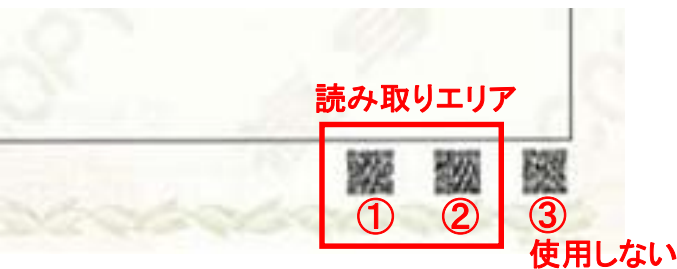
市販されているQRコードリーダを利用して、車検証の情報をQRコードから読み取ることができます。

ポイント

・ QRコードリーダの操作については、ご使用になる製品の取扱説明書などを参照してください。
・ 現在動作確認ができている機種は、以下になります。
◆デンソーウェーブ製　GT10Q
◆ハネウエル製　Xenon1900
◆オプトエレクトロニクス製　OPI-3601
◆ユニテック製　MS842

● 車検証（普通自動車用、または軽自動車用）を用意します。

普通自動車の車検証右下のQRコード表示部分
8つのQRコードが表示されているタイプ
※車検証によっては一番左のQRコードが表示されていない場合もあります。

軽自動車の車検証右下のQRコード表示部分
3つのQRコードが表示されているタイプ

＜読み取り可能な情報＞

	普通自動車		軽自動車	
	読み取り可否	読み取りエリア	読み取り可否	読み取りエリア
登録番号	○	②	○	②
初度登録年月	○	①	○	①
車台番号	○	②	○	②
原動機の型式	○	②	○	②
燃料の種類／電気	×	—	×	—
型式指定番号	○	①	○	①
類別区分番号	○	①	○	①
オプション	×	—	×	—
改造内容	×	—	×	—

車両情報入力画面

● 車両情報入力画面で「QRコードリーダ」をクリックします。
　車両情報取得の入力エリアにカーソルが表示されます。

● QRコードリーダで車検証右下のQRコードを読み取ります。
　車両情報取得の入力エリアにQRコードから読み取った情報が表示されます。

ポイント

・ 読み取りエリア①を読み取った後、半角のスラッシュ「/」を手入力してください。
　その後、読み取りエリア②を読み取ってください。
　普通自動車用車検証の読み取りエリア①(3つのQRコード)と読み取りエリア②(2つのQRコード)のQRコードは、それぞれQRコードをまとめて読み取る必要があります。
　QRコードリーダの操作については、ご使用になる製品の取扱説明書などを参照してください。

車両情報入力画面（QRコード読み取り後）

ポイント

- キーボードモードで直接QRコードを読み取って自動的に入力する以外に、一旦テキストエディタ（Windows標準アプリケーションの「メモ帳」など）に読み取った情報を貼り付けておき、車両情報取得の入力エリアに後から貼り付けることもできます。
  その場合は、テキストエディタで読み取った情報をコピーした後、車両情報入力画面の車両情報取得の入力エリア上で右クリックして、メニュー内の「貼り付け」をクリックしてください。
  貼り付けのショートカット（Ctrl＋V）は使用できません。

● 車両情報入力画面の「反映」をクリックします。
車両情報の各項目にQRコードから読み取った情報が表示されます。

車両情報入力画面（普通自動車用車検証の場合）

ポイント

・ 自動的に入力されなかった項目は手入力してください。

4-2. 車両情報の更新

既に登録されている車両情報を編集して、ウェブサーバーに登録されている情報を更新します。

メインメニュー画面

● メインメニュー画面で「車両登録」をクリックします。
車両情報管理画面が表示されます。

車両情報管理画面

● 車両情報管理画面で「車両情報更新」をクリックします。
　車両検索画面が表示されます。

ポイント
- 車両一覧には「最近使った車両」が表示されます。
- ウェブサーバーに登録されている車両を検索条件で絞り込んで検索することができます。
  操作方法は「車両検索方法」を参照してください。

車両検索画面

● 車両検索画面で変更したい車両情報が表示されている行をクリックします。
車両情報入力画面が表示されます。

ポイント
- 操作方法は「4-1. 車両情報の新規登録」と同様です。
- お客様が車両を登録された後で、ウェブサーバの車両リストが更新された場合、該当車両選択時に車両情報更新の案内画面が表示されます。
その場合は、「車両情報更新」をクリックして、情報の更新を行ってください。

車両情報更新の案内画面

車両検索方法

車両検索画面でウェブサーバーに登録されている車両情報から車両を検索します。

車両検索画面

● 車両検索画面で検索条件を入力して①「検索」をクリックします。
　条件検索した車両一覧が表示されます。

車両検索画面（条件検索した車両一覧）

● 車両検索画面で②「最近使った車両」をクリックします。
　最近使った車両一覧が表示されます。

車両検索画面（最近使った車両一覧）

● 車両検索画面で③「新規車両」をクリックします。
車両情報入力画面が表示されます。

車両情報入力画面

ポイント

・ 操作方法は「4-1. 車両情報の新規登録」と同様です。

4−3. 車両情報の削除

ウェブサーバーに登録されている車両情報を削除します。
車両情報を削除すると、DST−クラウドのウェブサーバーに保管されている該当車両の各種レポート（カルテ管理で参照可能なデータ）も同時に削除されますので、ご注意ください。

メインメニュー画面

● メインメニュー画面で「車両登録」をクリックします。
車両情報管理画面が表示されます。

車両情報管理画面

● 車両情報管理画面で「車両情報削除」をクリックします。
車両検索画面が表示されます。

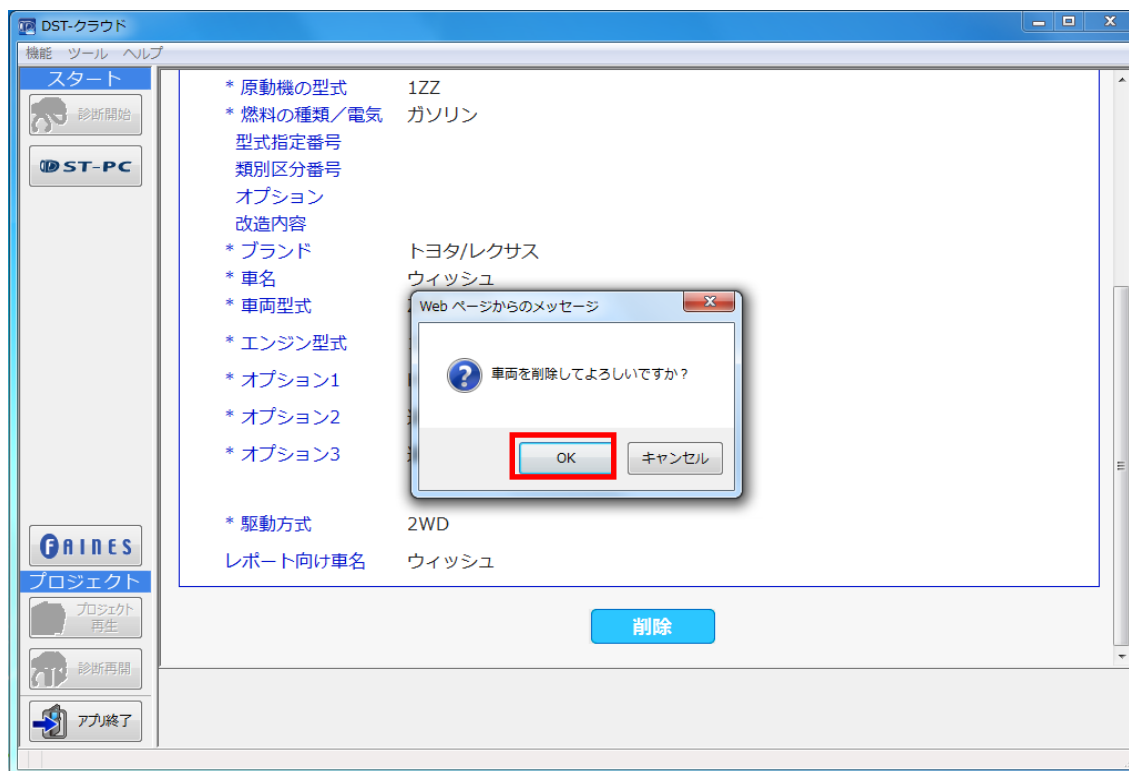
ポイント
・ 車両一覧には「最近使った車両」が表示されます。
・ ウェブサーバーに登録されている車両を検索条件で絞り込んで検索することができます。
操作方法は「車両検索方法」を参照してください。

車両検索画面

● 車両検索画面で削除したい車両情報が表示されている行をクリックします。
車両情報削除画面が表示されます。

車両情報削除画面

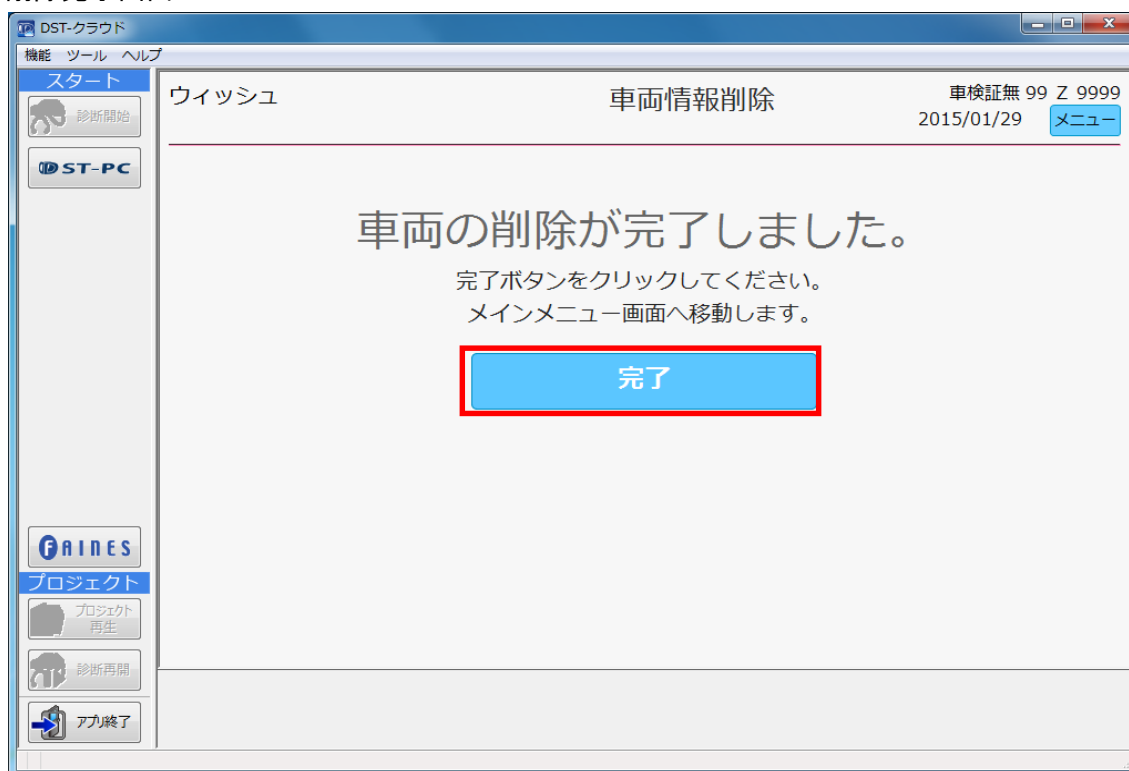
● 車両情報削除画面で「削除」をクリックします。
車両情報削除確認画面が表示されます。

車両情報削除確認画面

● 車両情報削除確認画面で「OK」をクリックします。
　削除完了画面が表示されます。

削除完了画面

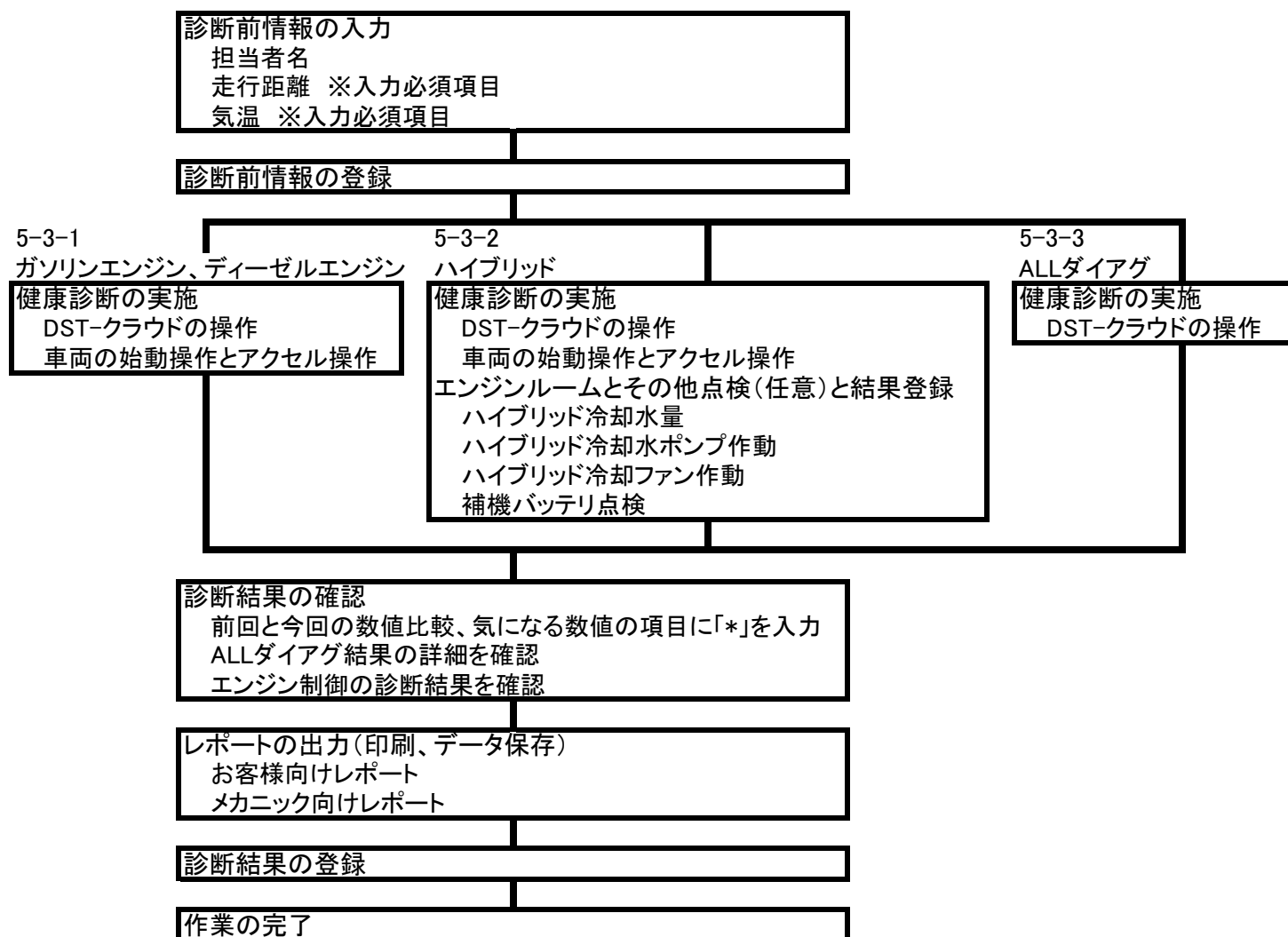
● 削除完了画面で「完了」をクリックします。
　メインメニュー画面が表示されます。

メインメニュー画面

DST-クラウド
機能 ツール ヘルプ
スタート
診断開始
DST-PC
FAINES
プロジェクト
プロジェクト再生
診断再開
アプリ終了
メインメニュー
2015/01/12
メニュー
前回ログイン日時：2015/01/09 13:23:00
車両登録
健康診断
電子点検簿
修理支援
カルテ管理
自社情報
店舗検索

5. 車両の健康診断

画面の指示に従って始動操作とアクセル操作を行うことで、車両の制御データを自動的に取得し、参考値(ある条件下での正常値)との比較により診断結果を判定します。
診断結果はレポートとして見易く表示することができ、出力(印刷、データ保存)することもできます。
また、診断結果のデータはウェブサーバーに保管され、カルテ管理機能でいつでも確認することができます。

5-1. 作業の流れ

各健康診断を使用する際の標準的な作業の流れを説明します。

ポイント
・「担当者名」は自社情報更新で登録した担当者から選択することができます。

5-2. 診断前情報の入力

健康診断を実施する前に、必要な情報を入力します。

メインメニュー画面

● メインメニュー画面で「健康診断」をクリックします。
　車両健康診断画面が表示されます。

車両健康診断画面

● 車両健康診断画面で目的の項目をクリックします。
車両検索画面が表示されます。

ポイント

・ 車両一覧には「最近使った車両」が表示されます。
・ ウェブサーバーに登録されている車両を検索条件で絞り込んで検索することができます。
操作方法は「車両検索方法」(P.65)を参照してください。

車両検索画面

● 車両検索画面で健康診断を実施する車両情報が表示されている行をクリックします。
　情報入力画面が表示されます。

ポイント

・ 各健康診断の対象車両のみが表示されます。
　検索しても目的の車両が表示されない場合は、車両情報(「原動機の型式」と「燃料の種類/電気」)を確認し、誤入力がある場合は車両情報を修正して登録情報を更新してください。

情報入力画面

ポイント

・ 作業途中のデータがある場合は、確認画面が表示されます。
　操作方法は「作業の再開」(P.64)を参照してください。

● 情報入力画面で各種情報(担当者名、走行距離、気温)を入力します。

情報入力画面(入力後)

● 情報入力画面で各種情報を入力した後、「確認」をクリックします。
　登録情報確認画面が表示されます。

登録情報確認画面

● 登録情報確認画面で内容を確認した後、「登録」をクリックします。
登録完了画面が表示されます。

ポイント

- 登録情報に間違いや不足している情報などがあった場合は、「修正」をクリックして再度入力を行ってください。

登録完了画面

● 登録完了画面で「診断開始」をクリックします。
健康診断画面が表示されます。

ポイント

・ 作業を中断して、後から作業を再開することができます。
操作方法は「作業の中断（情報登録後）」（P.68）を参照してください。

健康診断画面

ポイント

・ 以降の操作方法は「5-3. 健康診断の実施」を参照してください。

作業の再開

車両検索画面で選択した車両に作業途中のデータがある場合は、診断を途中から再開することができます。

● 車両検索画面で健康診断を実施する車両情報が表示されている行をクリックします。
作業途中のデータがある場合は、確認画面が表示されます。

確認画面

● 確認画面で「診断継続」をクリックします。
作業途中の画面が表示されます。

ポイント
・ 新たに診断を開始する場合は、「新規診断開始」をクリックしてください。
「新規診断開始」をクリックすると、作業途中のデータは破棄されます。

● 作業を再開します。

車両検索方法

車両検索画面でウェブサーバーに登録されている車両情報から車両を検索します。

車両検索画面

● 車両検索画面で検索条件を入力して①「検索」をクリックします。
　条件検索した車両一覧が表示されます。

車両検索画面（条件検索した車両一覧）

● 車両検索画面で②「最近使った車両」をクリックします。
最近使った車両一覧が表示されます。

車両検索画面（最近使った車両一覧）

● 車両検索画面で③「作業中の車両」をクリックします。
作業中の車両一覧が表示されます。

車両検索画面（作業中の車両一覧）

● 車両検索画面で④「新規車両」をクリックします。
　車両情報入力画面が表示されます。

車両情報入力画面

ポイント

・ 操作方法は「4. 車両情報管理」の「4-1. 車両情報の新規登録」と同様です。

作業の中断（情報登録後）

作業を途中で中断して、後から再開することができます。

ポイント

・ 情報入力画面で入力した各種情報を登録した後、または健康診断が完了して健康診断レポート作成入力画面が表示された後に作業を中断することができます。
ここでは、情報入力画面で入力した各種情報を登録した後に作業を中断する際の操作を説明します。

登録完了画面

● 登録完了画面で「一時保存」をクリックします。
メインメニュー画面が表示されます。

メインメニュー画面

ポイント

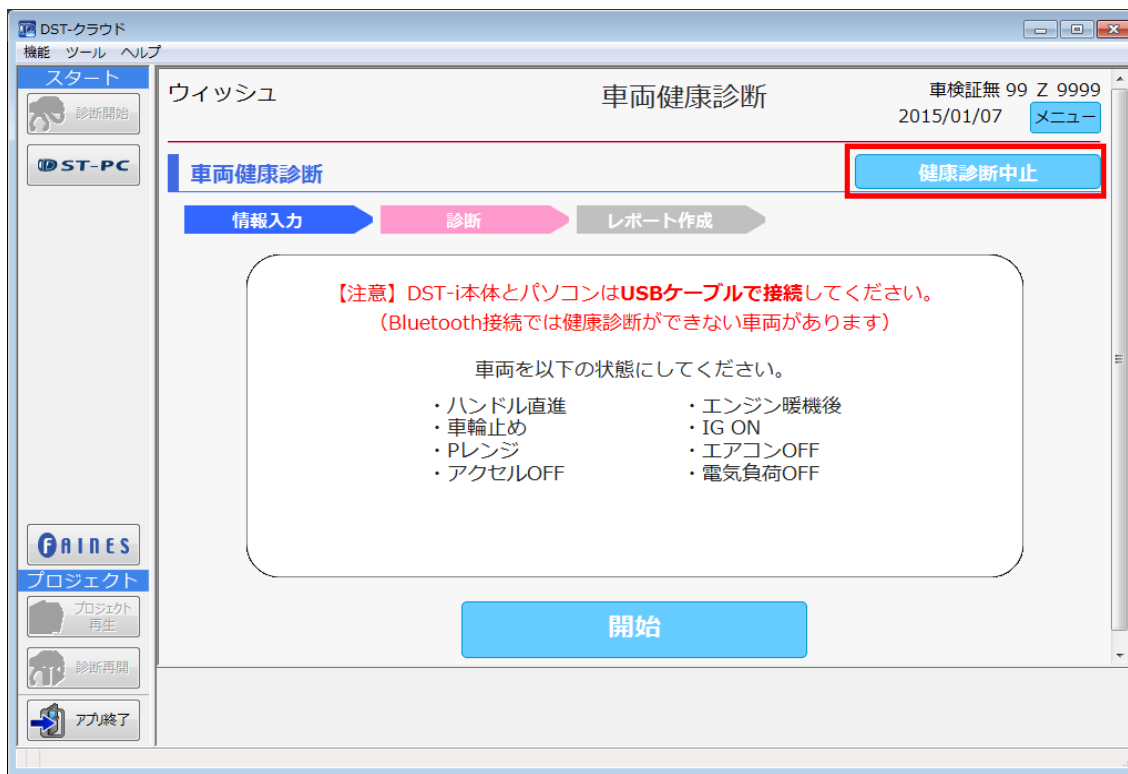
・ 後から作業を再開することができます。
操作方法は「作業の再開」(P.64)を参照してください。

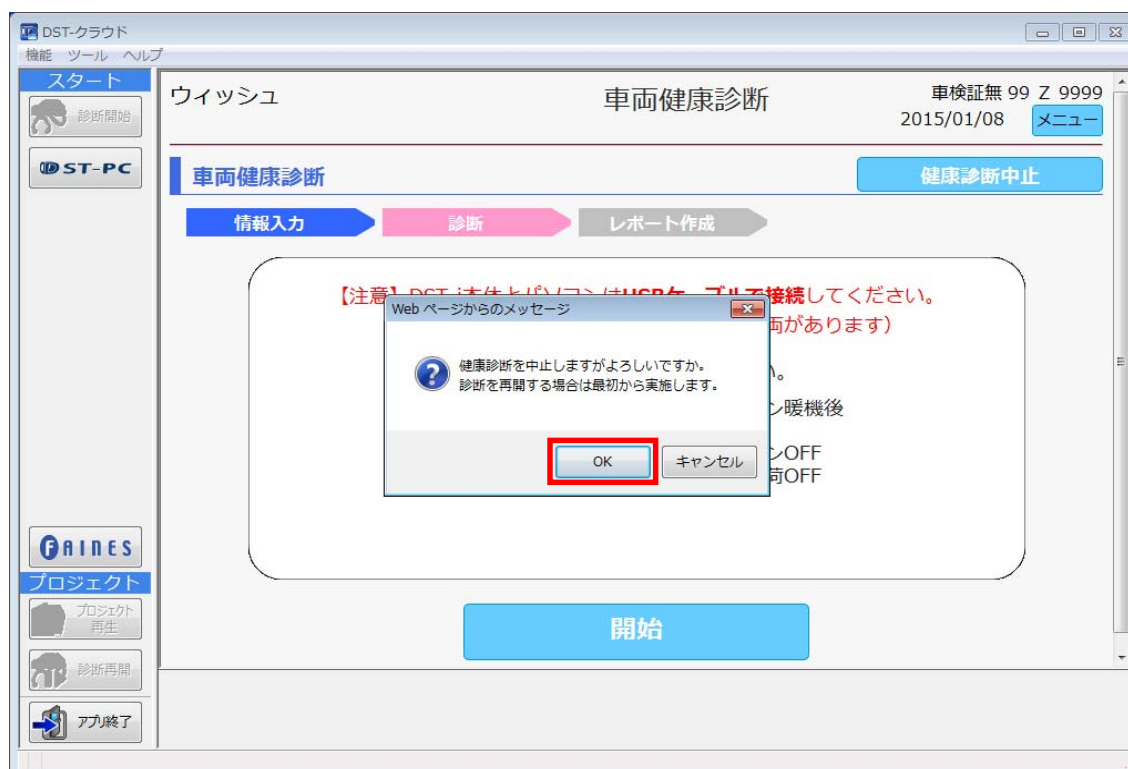
作業の中断（健康診断開始後）

健康診断開始後に作業を途中で中断することができます。

ポイント

・ 計測途中のデータは破棄され、初めからの診断となります。

健康診断途中画面

● 健康診断途中画面で「健康診断中止」をクリックします。
　健康診断中止確認画面が表示されます。

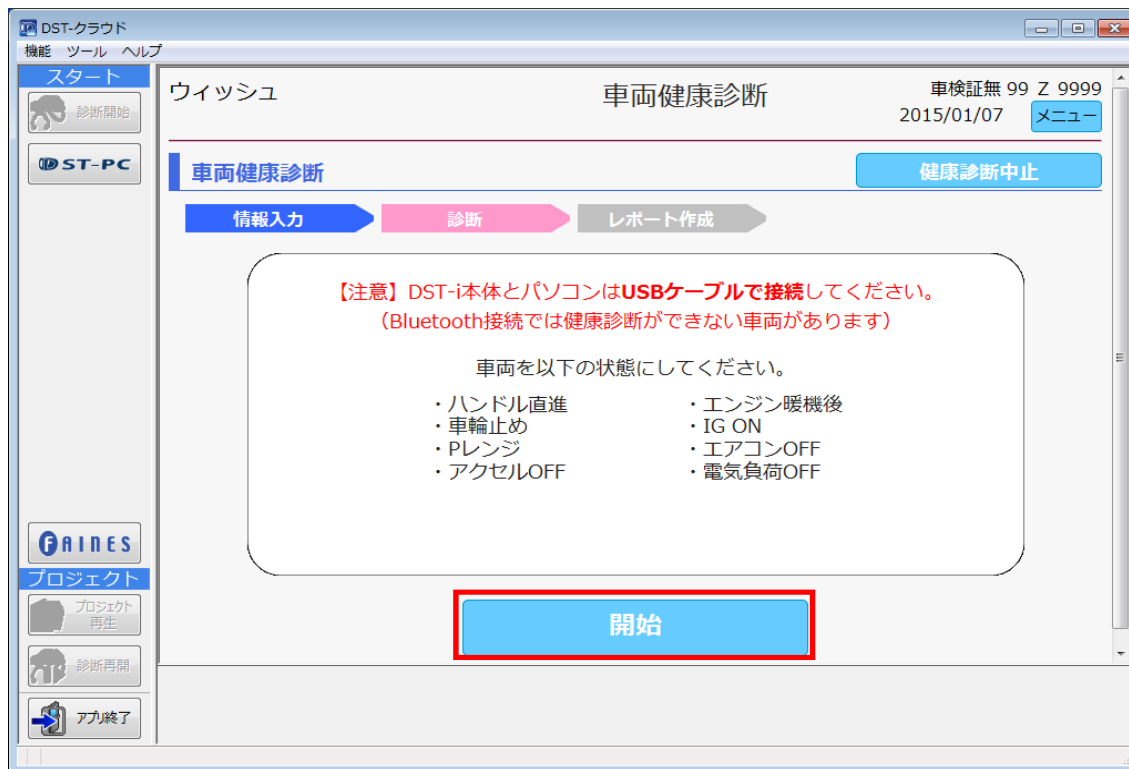
健康診断中止確認画面

● 健康診断中止確認画面で「OK」をクリックします。
　メインメニュー画面が表示されます。

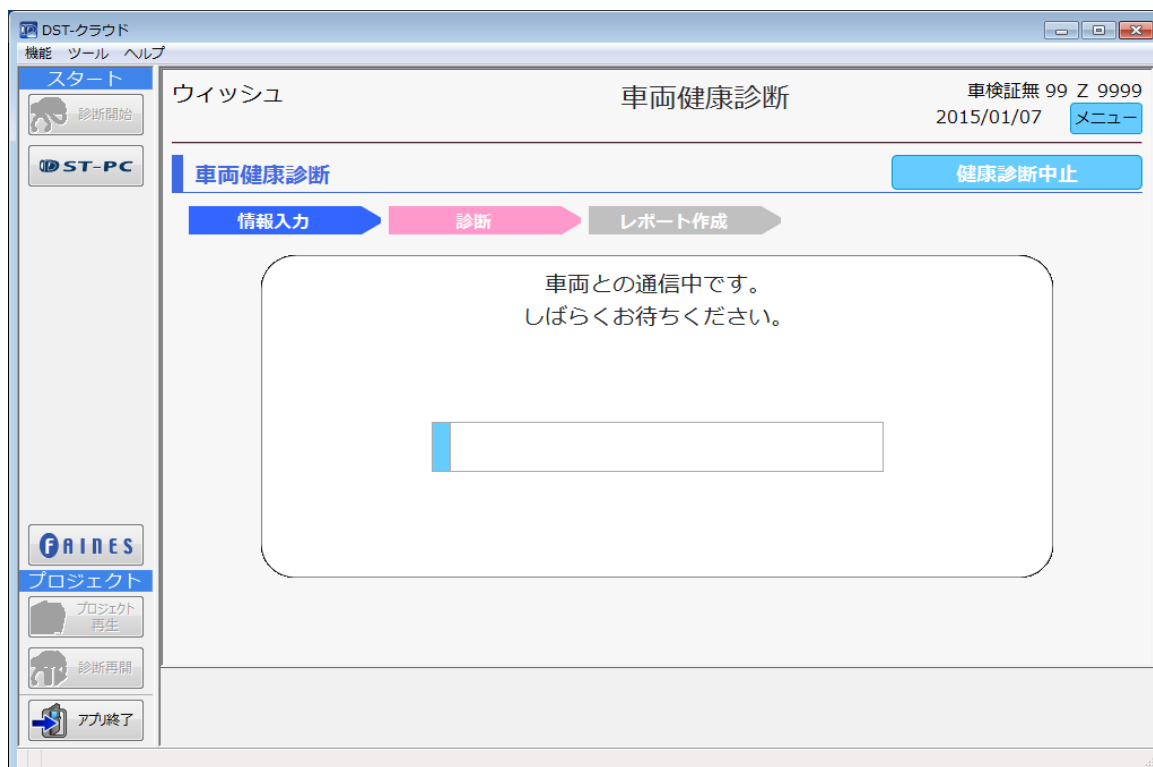
メインメニュー画面

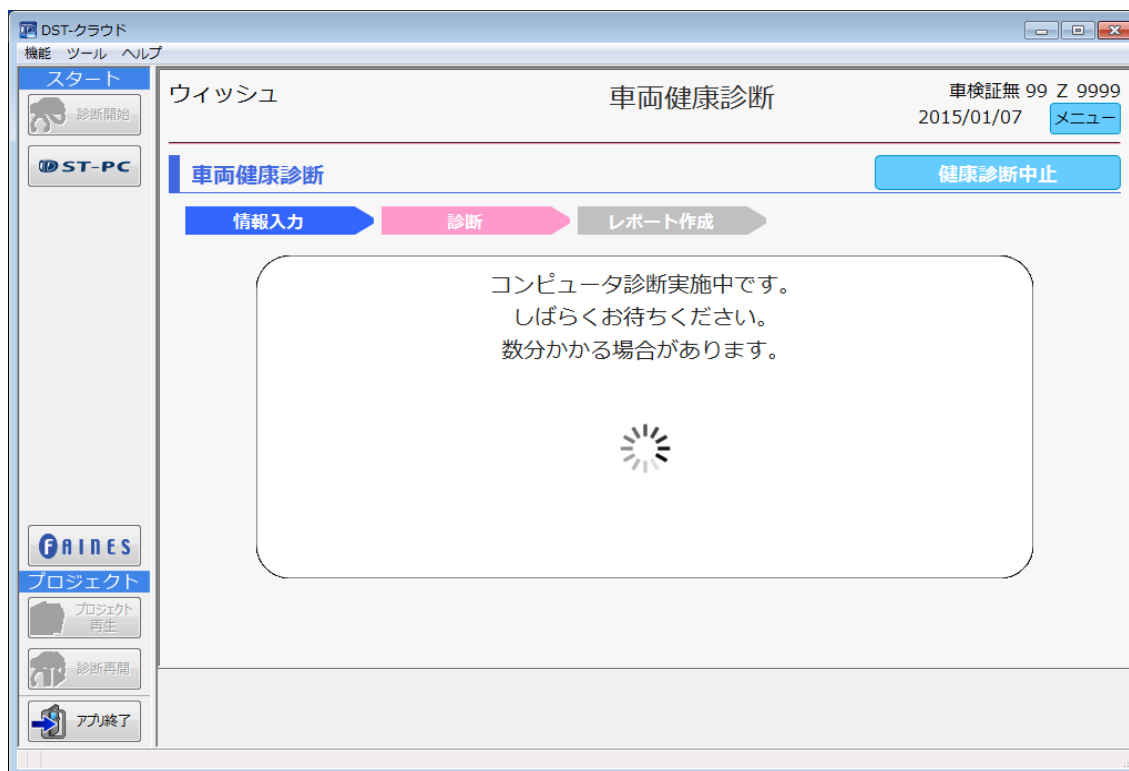
5-3. 健康診断の実施

車両の健康診断を実施します。

5-3-1. ガソリンエンジン健康診断
ディーゼルエンジン健康診断

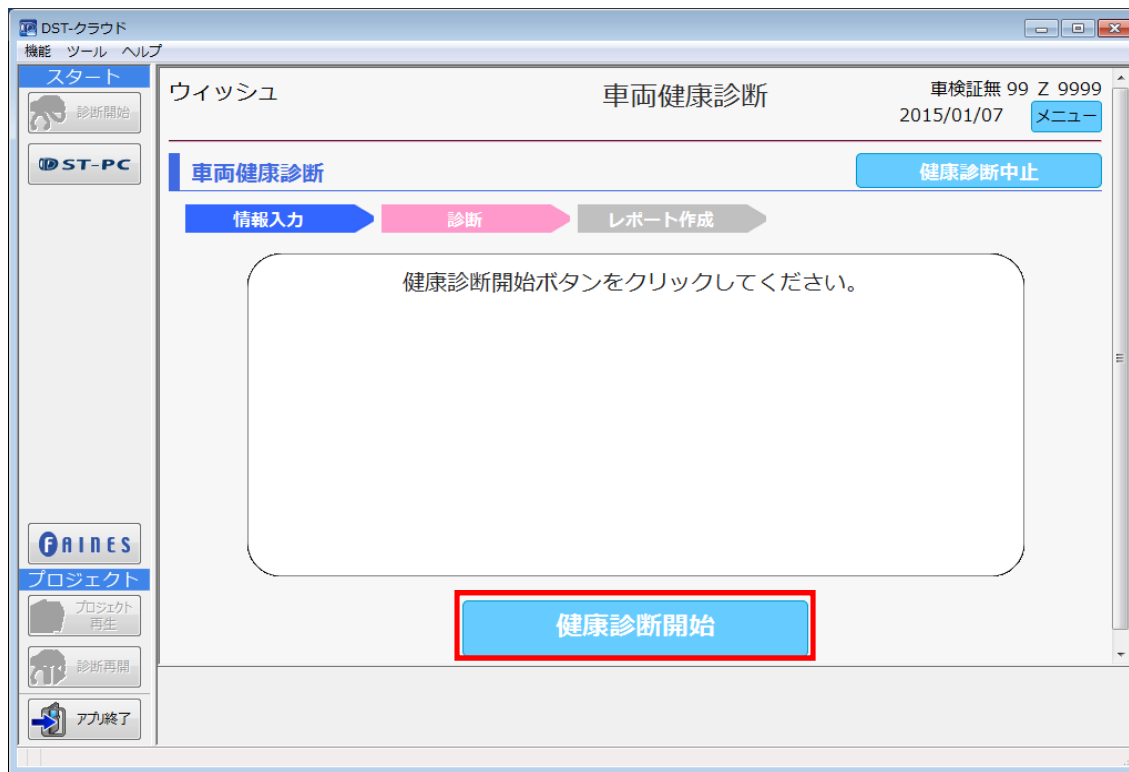
健康診断画面

● 健康診断画面で「開始」をクリックします。
　通信中画面が表示されます。画面が切り替わるまで、しばらくお待ちください。

通信中画面

ALLダイアグ実施画面が表示されます。画面が切り替わるまで、しばらくお待ちください。

ALLダイアグ実施画面

健康診断開始画面が表示されます。

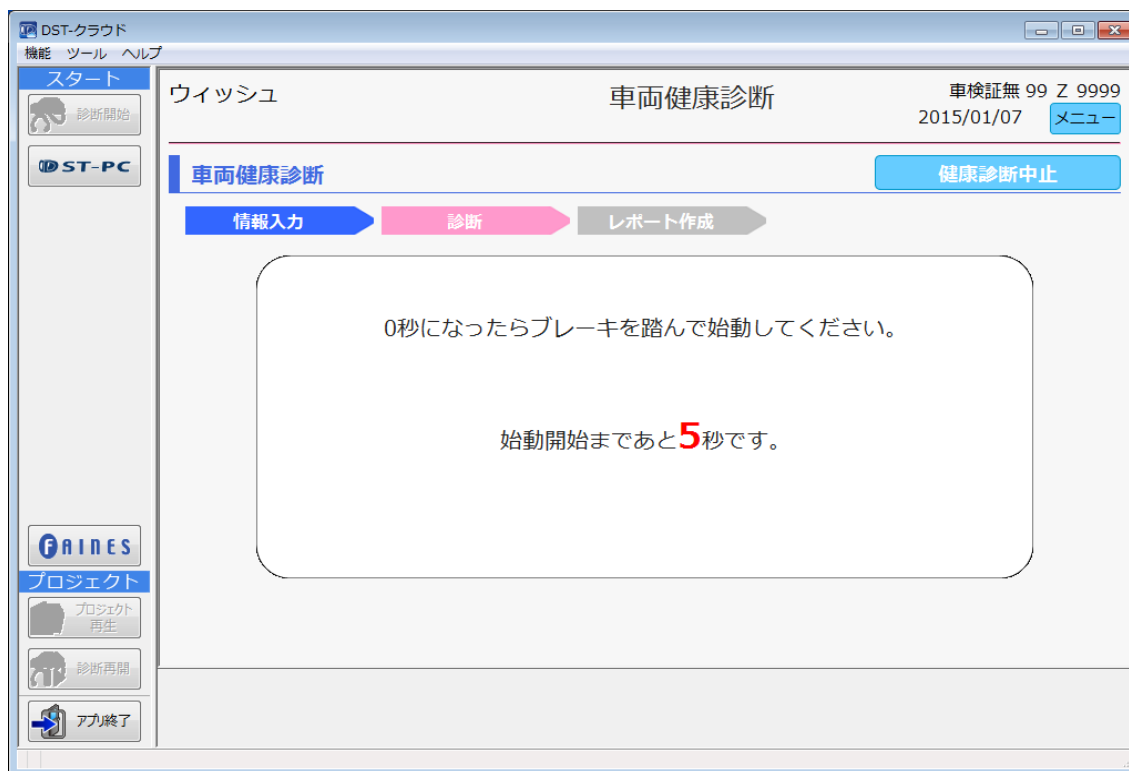
ポイント

- エンジン水温が規定値以下の場合は暖機を求められますので、画面の指示に従って暖機してください。
- ALLダイアグでエンジン系の故障コード（現在またはペンディング）が検出された場合は、エンジンを保護する為、以降のエンジン詳細診断が中止されます。ただし、診断レポートはALLダイアグの結果を表示します。

健康診断開始画面

● 健康診断開始画面で「健康診断開始」をクリックします。
カウントダウン画面が表示されます。

ポイント

・ 以降は画面の指示に従って、始動操作またはアクセル操作を行ってください。

カウントダウン画面

●カウントダウンの表示が｢0秒｣になった時点で、ブレーキを踏んでエンジンを始動します。
データ取得中画面が表示されます。画面が切り替わるまで、しばらくお待ちください。

ポイント

・マニュアル車の場合は、クラッチを踏まないとエンジンが始動しないこともありますので、あらかじめ確認しておいてください。
・データ取得中画面ではアイドリング時のデータを取得していますので、アクセルペダルを踏まずにお待ちください。

データ取得中画面

アクセル操作指示画面が表示されます。

アクセル操作指示画面

●アクセルペダルを操作しながら、画面の指示に従ってエンジン回転数を調整します。
　指示通りにエンジン回転数を調整した後、アクセル操作指示画面で「測定開始」をクリックします。
　カウントダウン画面が表示されます。

ポイント

・ 長時間放置すると途中でログアウトする場合があります。
　健康診断開始画面で「健康診断開始」をクリックした後、アクセル操作指示画面の「測定開始」をクリックするまでに3分以上経過すると自動的にログアウトされます。その場合はもう一度初めから健康診断を実施してください。

カウントダウン画面

● カウントダウンの表示が「0秒」になった時点で、アクセルペダルを放します。
アクセル操作指示画面が表示されます。画面が切り替わるまで、しばらくお待ちください。

ポイント

・ ディーゼルエンジン健康診断の場合、「アクセル全開条件」の計測はありません。
健康診断レポート作成入力画面（P.80）が表示されます。画面が切り替わるまでしばらくお待ちください。

アクセル操作指示画面

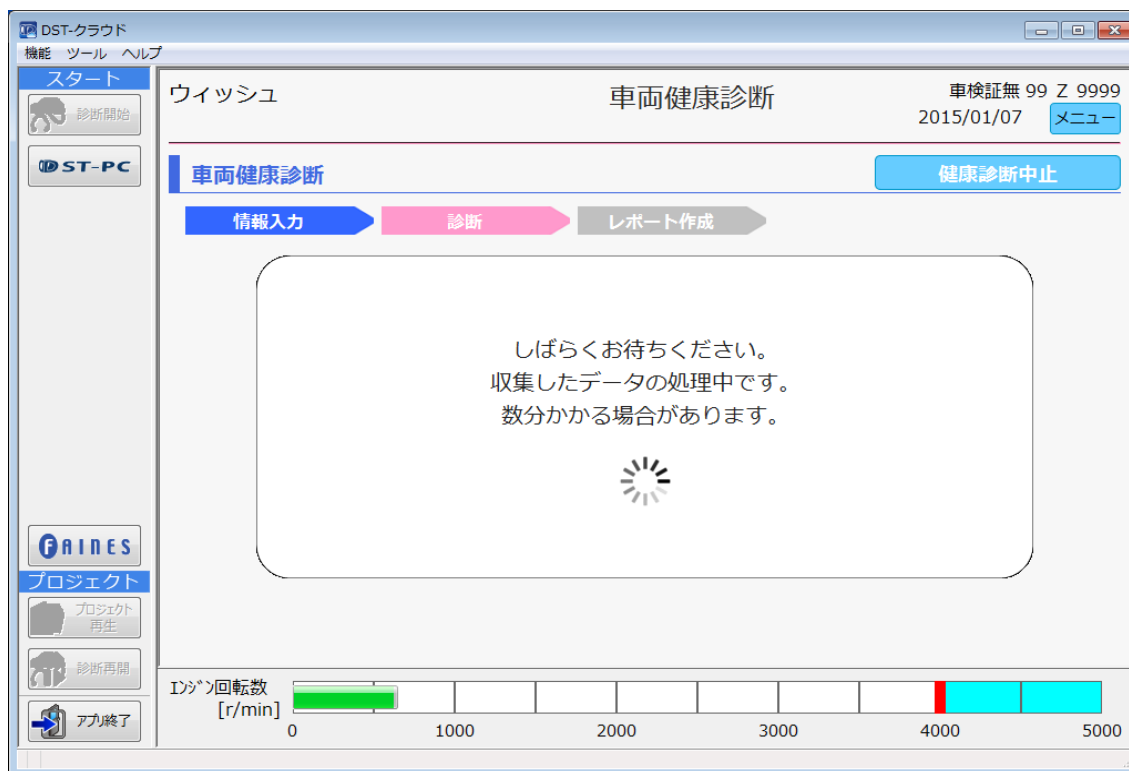
カウントダウン画面が表示されます。

カウントダウン画面

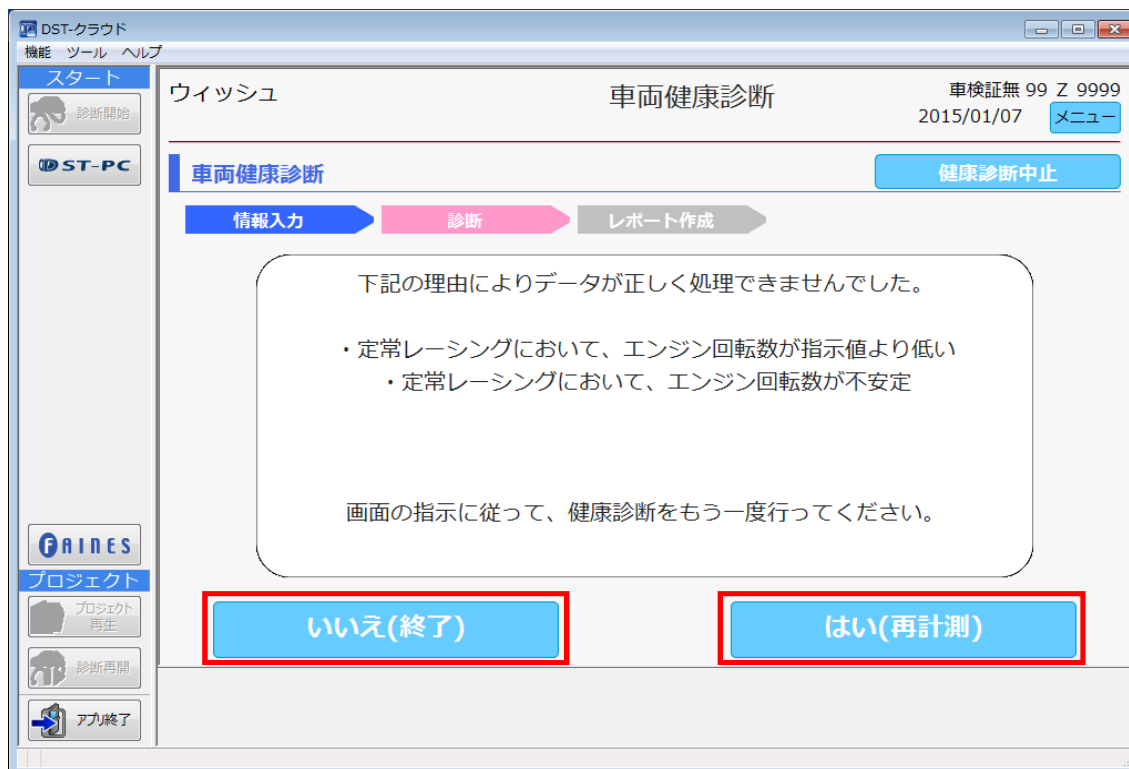
●カウントダウンの表示が「0秒」になった時点で、アクセルペダルを全開まで踏み込んで、画面の指示に従ってエンジン回転数を調整します。その後、素早くアクセルペダルを放します。
アクセル操作指示画面が表示されます。画面が切り替わるまで、しばらくお待ちください。

アクセル操作指示画面

●もう一度アクセル全開条件の測定を行います。
カウントダウンに合わせてアクセルペダルの操作を行ってください。
データ処理中画面が表示されます。画面が切り替わるまで、しばらくお待ちください。

データ処理中画面

ポイント

・ データが正しく処理されなかった場合は、再計測確認画面が表示され、その項目だけ再計測を行うことができます。
「はい(再計測)」をクリックすると、再計測画面が表示されます。
「いいえ(終了)」をクリックすると、正しく処理されたデータのみで診断結果を表示します。

再計測確認画面

再計測が必要ない場合、または再計測確認画面で「いいえ(終了)」をクリックした場合は、健康診断終了画面が表示されます。

健康診断終了画面

●エンジンを停止した後、健康診断終了画面で「終了」をクリックします。
健康診断レポート作成入力画面が表示されます。

健康診断レポート作成入力画面

ポイント

・ 作業を中断して、後から作業を再開することができます。
操作方法は「作業の中断(健康診断完了後)」(P.81)を参照してください。

作業の中断（健康診断完了後）

作業を途中で中断して、後から再開することができます。

ポイント

・情報入力画面で入力した各種情報を登録した後、または健康診断が完了して健康診断レポート作成入力画面が表示された後に作業を中断することができます。
　ここでは、健康診断が完了して健康診断レポート作成入力画面が表示された後に作業を中断する際の操作を説明します。

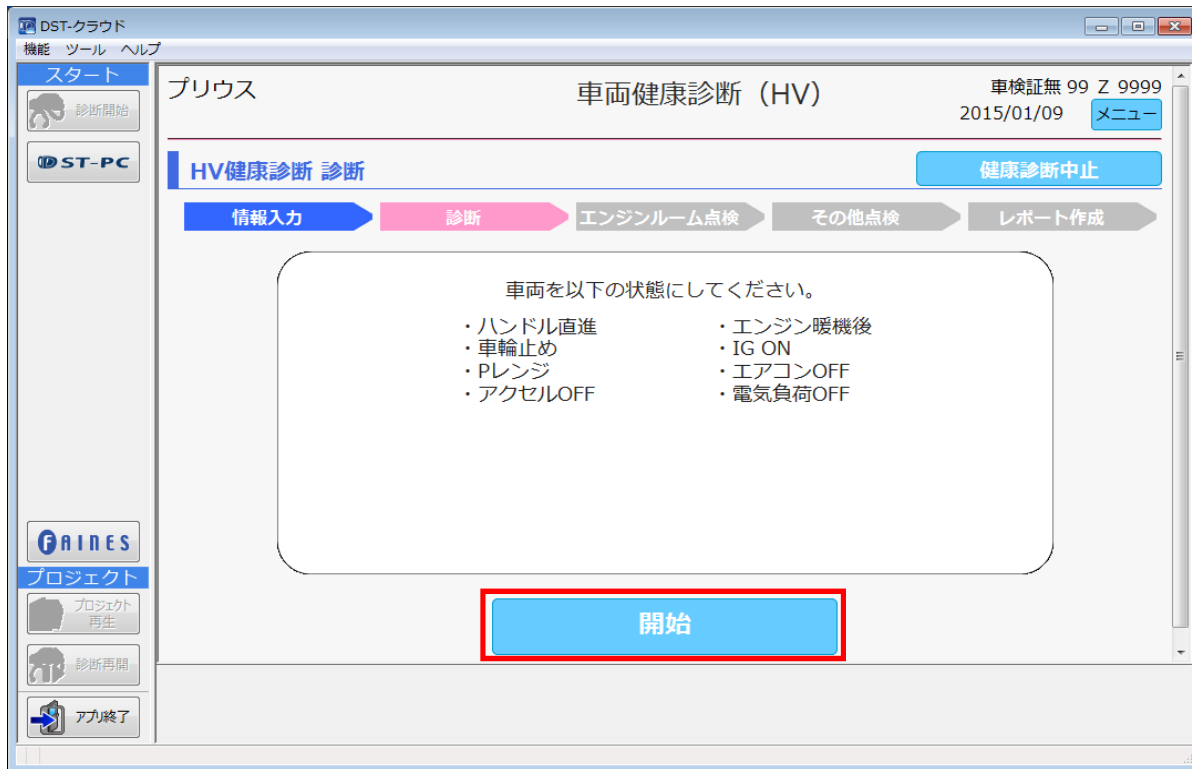
健康診断レポート作成入力画面

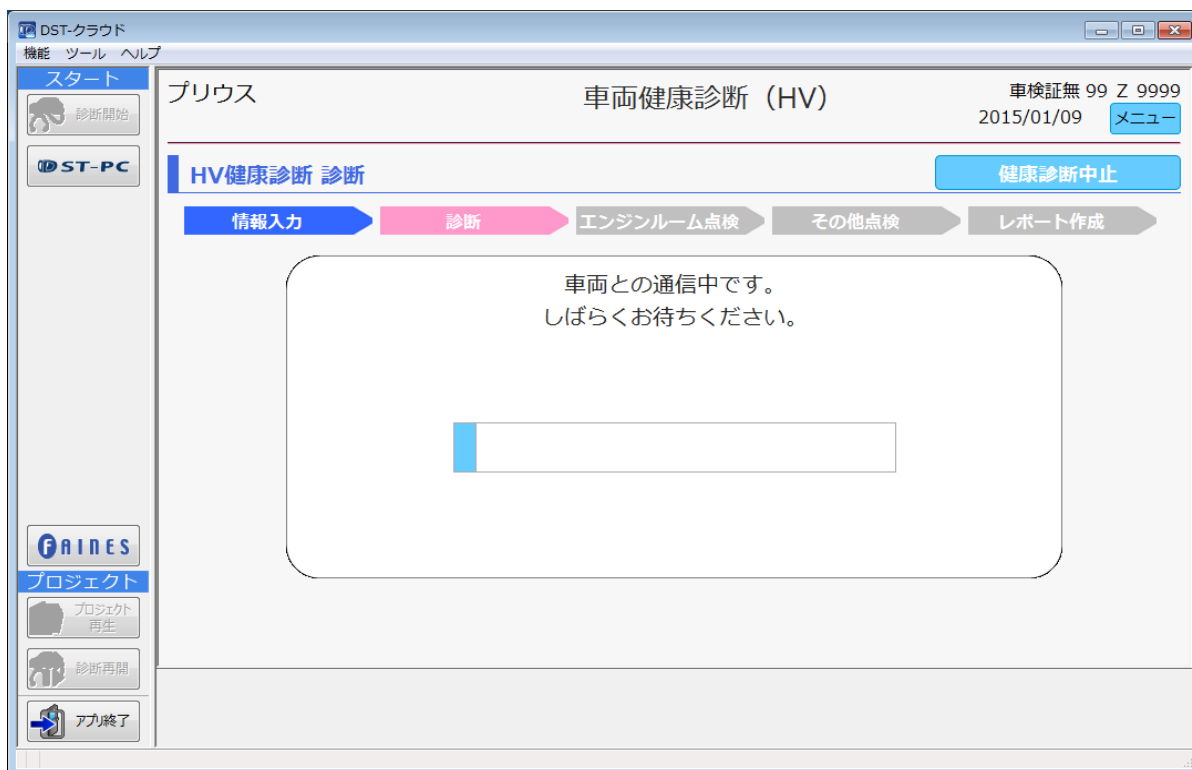
● 健康診断レポート作成入力画面で「キャンセル」をクリックします。
　メインメニュー画面が表示されます。

ポイント

・「キャンセル」をクリックして作業を中断すると、健康診断レポート作成入力画面で入力していた情報はクリアされます。作業再開時に健康診断レポート作成入力画面は、健康診断完了後のデフォルト状態に戻ります。
・後から作業を再開することができます。
　操作方法は「作業の再開」（P.64）を参照してください。

5-3-2. ハイブリッド健康診断

健康診断画面

● 健康診断画面で「開始」をクリックします。
通信中画面が表示されます。画面が切り替わるまで、しばらくお待ちください。

通信中画面

ALLダイアグ実施画面が表示されます。画面が切り替わるまで、しばらくお待ちください。

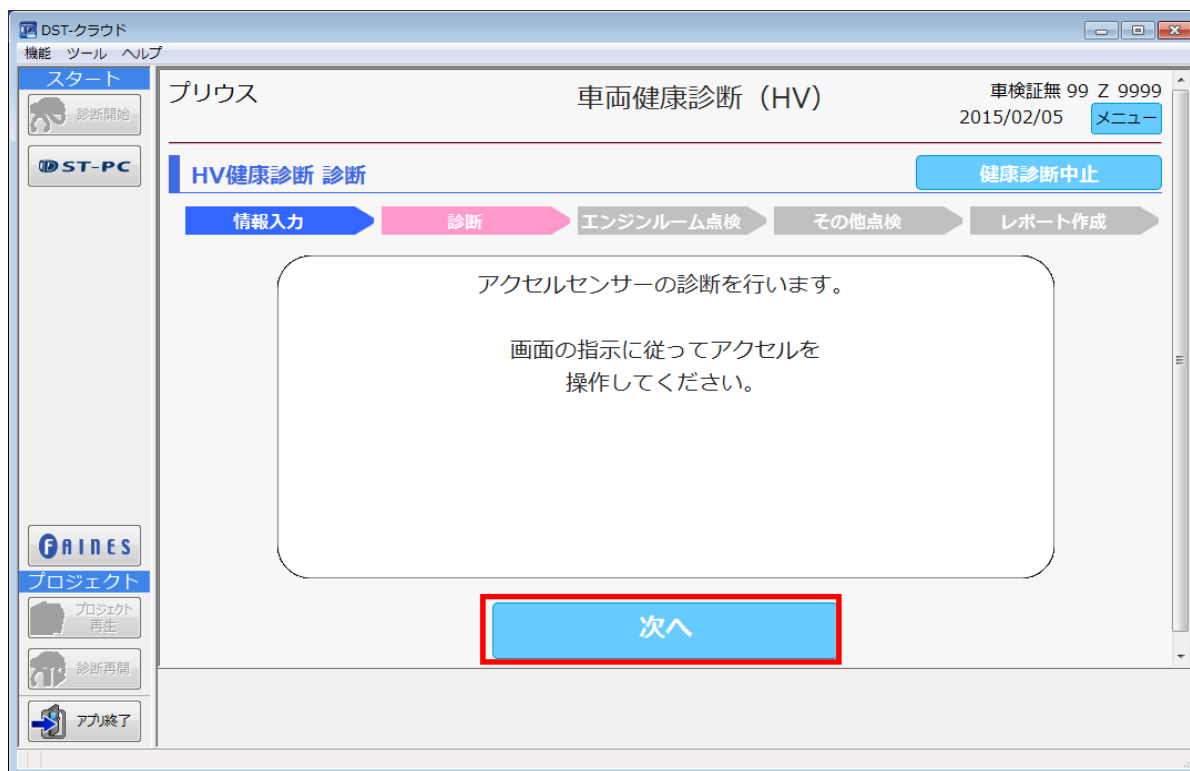
ALLダイアグ実施画面

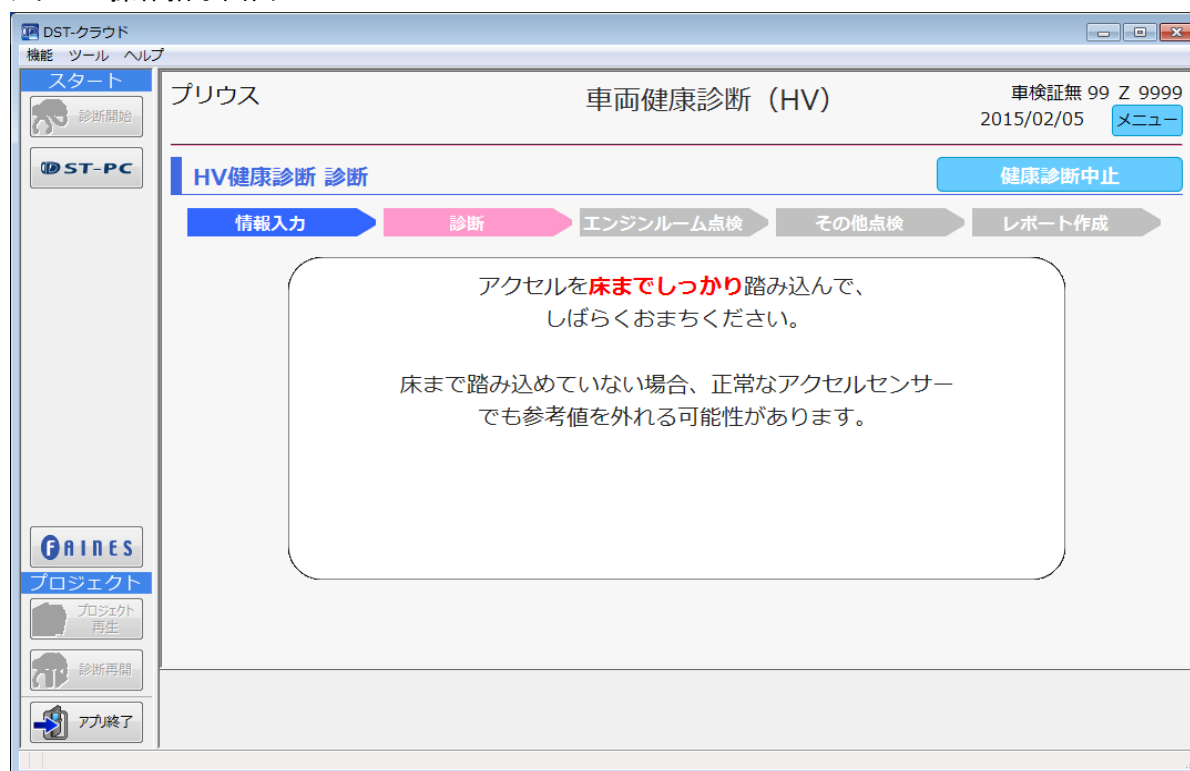
ALLダイアグ実施中です。画面が切り替わるまで、しばらくお待ちください。

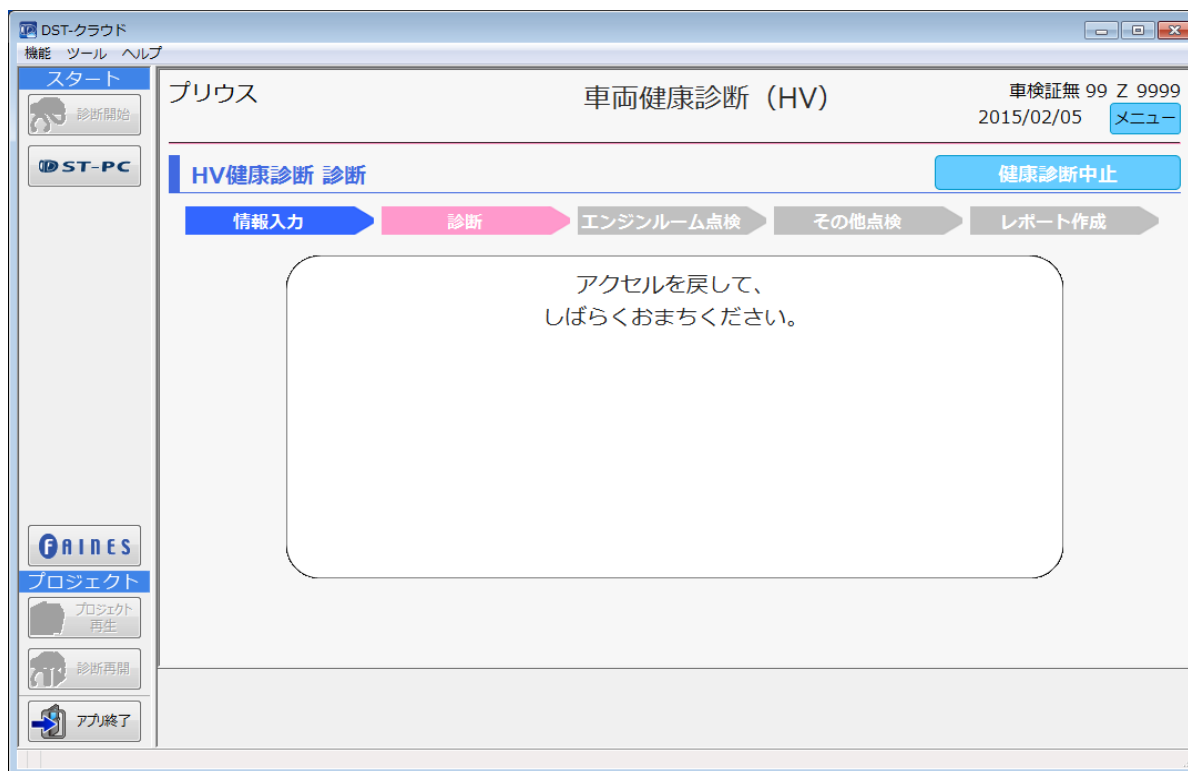
ポイント

・ ALLダイアグで故障コード（現在またはペンディング）が検出された場合は、エンジンおよびハイブリッドシステムを保護する為、以降のエンジン詳細診断が中止されます。ただし、診断レポートはALLダイアグの結果を表示します。

● ALLダイアグ実施後に表示される画面を確認します。
次ページのアクセルセンサー診断開始画面が表示された場合は、自動で整備モードに移行するタイプの車両になります。
アクセルセンサー診断開始画面とは異なる画面が表示された場合は、手動で整備モードに移行させるタイプの車両になります。P.86以降を参照してください。

アクセルセンサー診断開始画面

●アクセルセンサー診断開始画面で「次へ」をクリックします。
　アクセル操作指示画面が表示され、アクセルセンサーの診断が開始されます。

アクセル操作指示画面

●アクセルペダルを踏み込みます。
　アクセル操作指示画面が表示されます。画面が切り替わるまで、しばらくお待ちください。

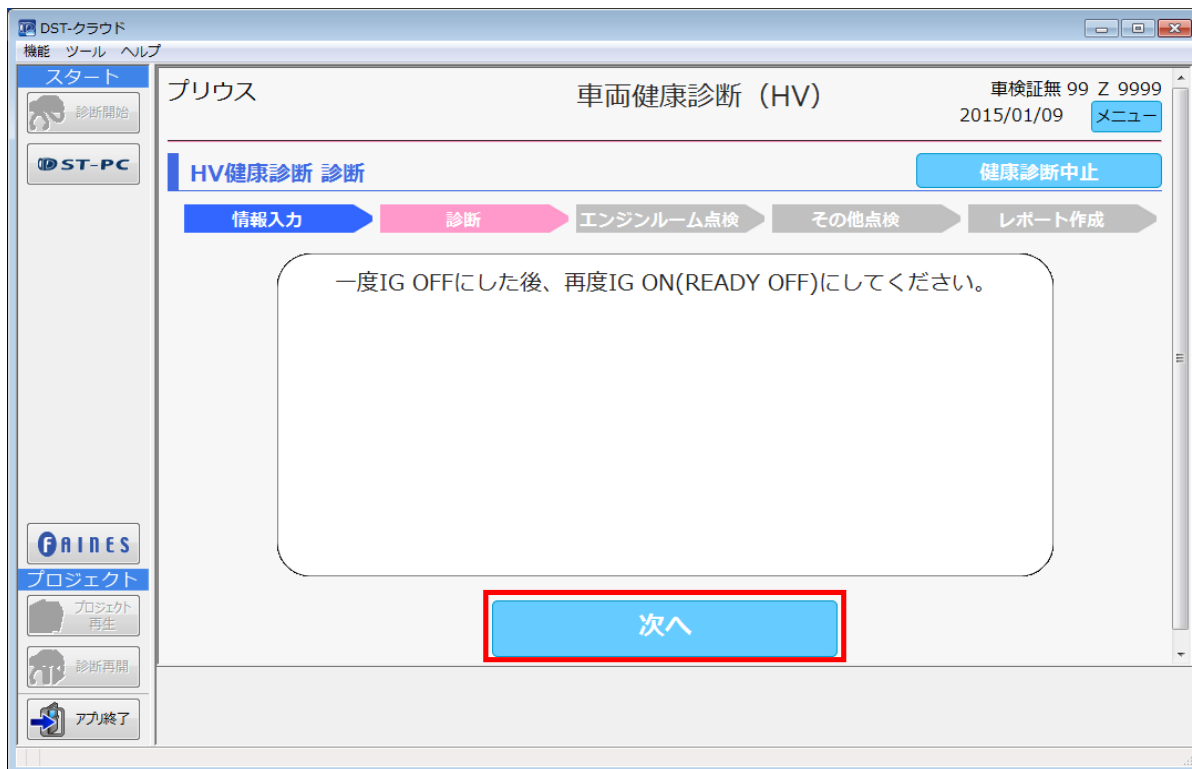
アクセル操作指示画面

●アクセルペダルを放します。
整備モード移行画面が表示されます。画面が切り替わるまで、しばらくお待ちください。

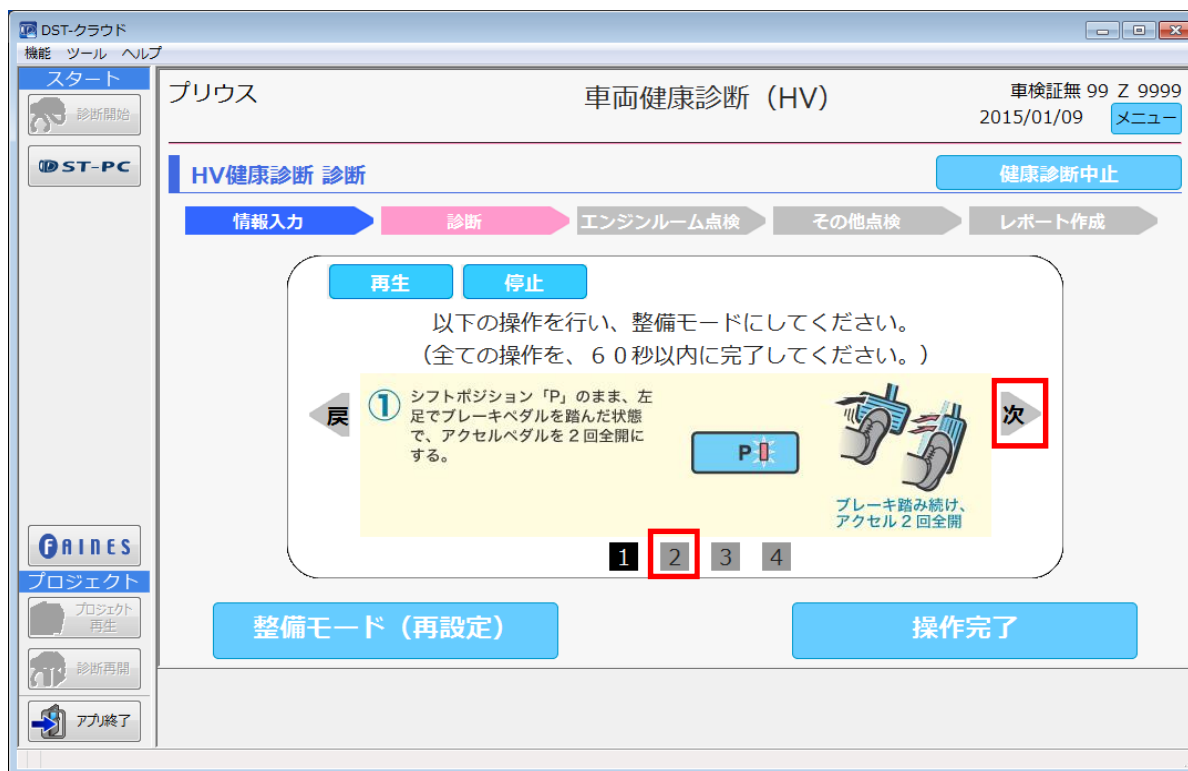
ポイント
・アクセル開度の変化が確認できなかった場合は、再度アクセルセンサー診断が開始されます。

整備モード移行画面

●整備モード移行画面で「次へ」をクリックします。
自動的に整備モードに移行し、エンジン始動指示画面が表示されます。
以降の操作はP.90以降を参照してください。

手動で整備モードに移行させる操作手順

整備モード移行開始画面

● 整備モード移行開始画面で画面の指示に従い操作した後、「次へ」をクリックします。
整備モード移行操作画面が表示されます。

整備モード移行操作画面

● 整備モード移行操作画面で画面の指示に従い操作します。

ポイント

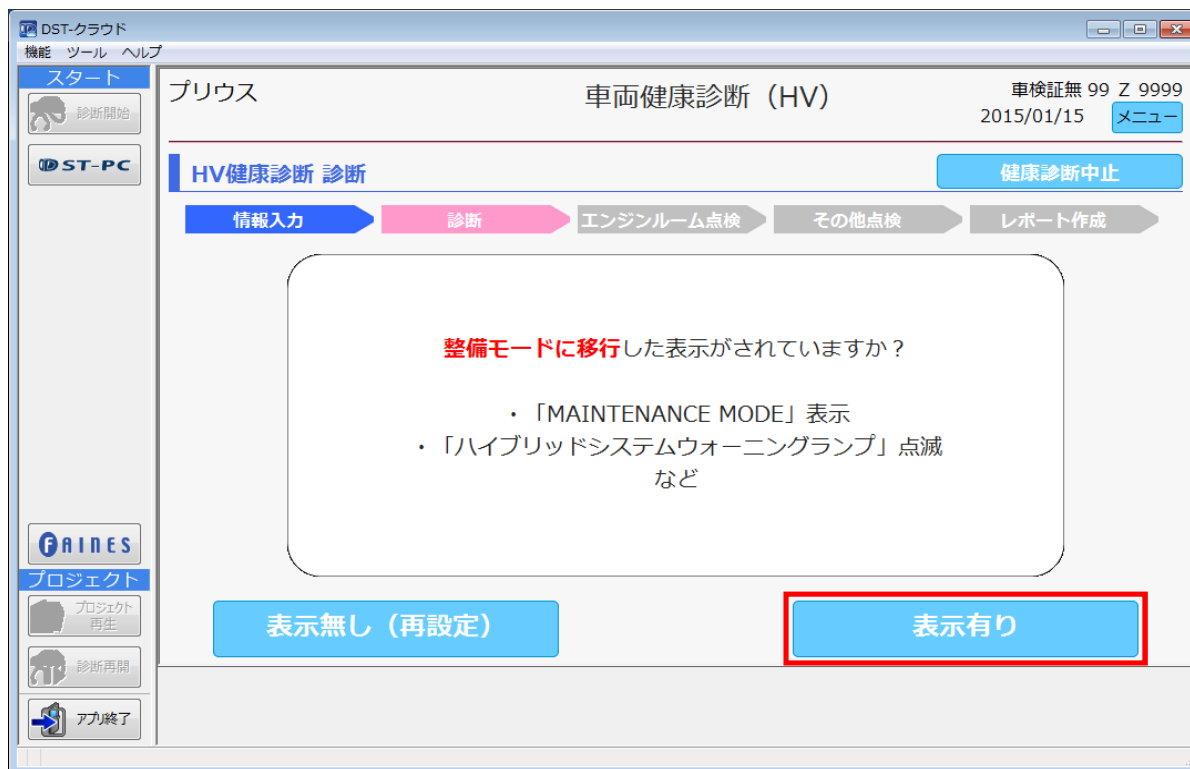
- 操作画面は全部で4枚あります。「次」または「戻」をクリックして画面を移動し、全ての操作を行います。
- 「1」「2」「3」「4」をクリックしても、画面を移動することができます。また、「再生」をクリックすると自動で次の画面に移動し、「停止」をクリックすることで停止します。
- 整備モードに移行できなかった場合は、「整備モード（再設定）」をクリックして、再操作してください。

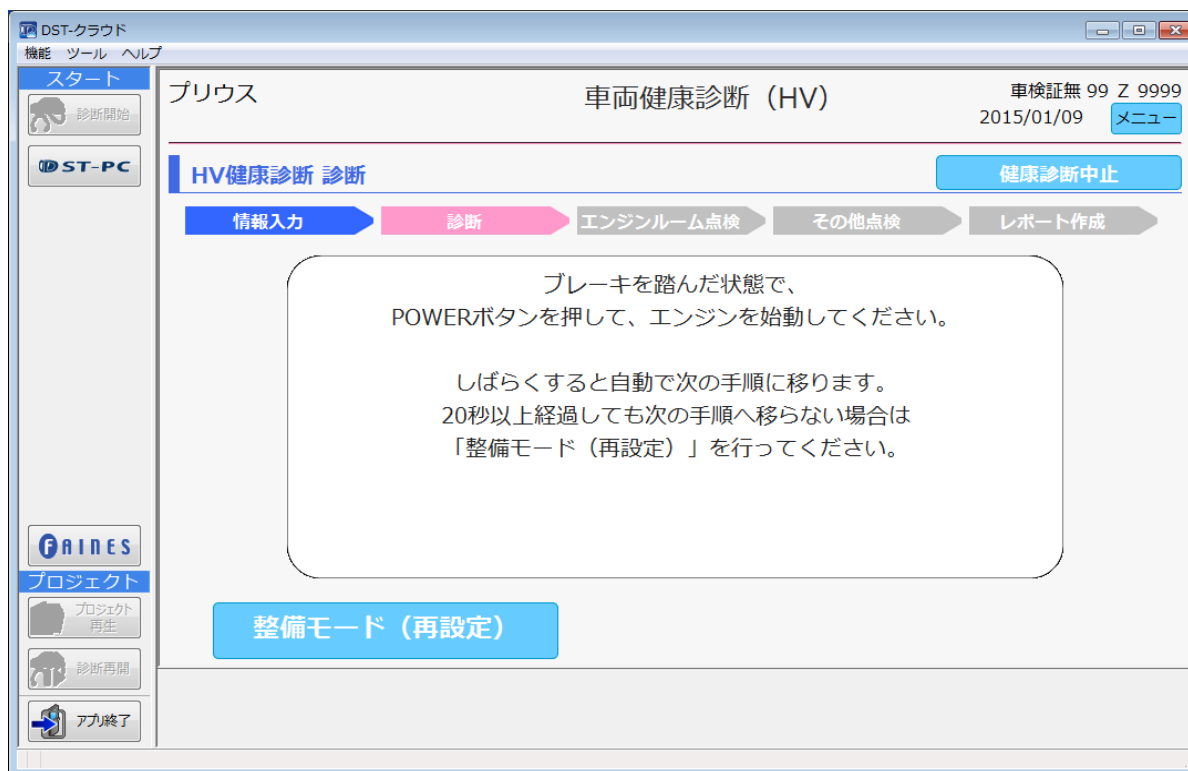
整備モード移行操作画面

整備モード移行操作画面

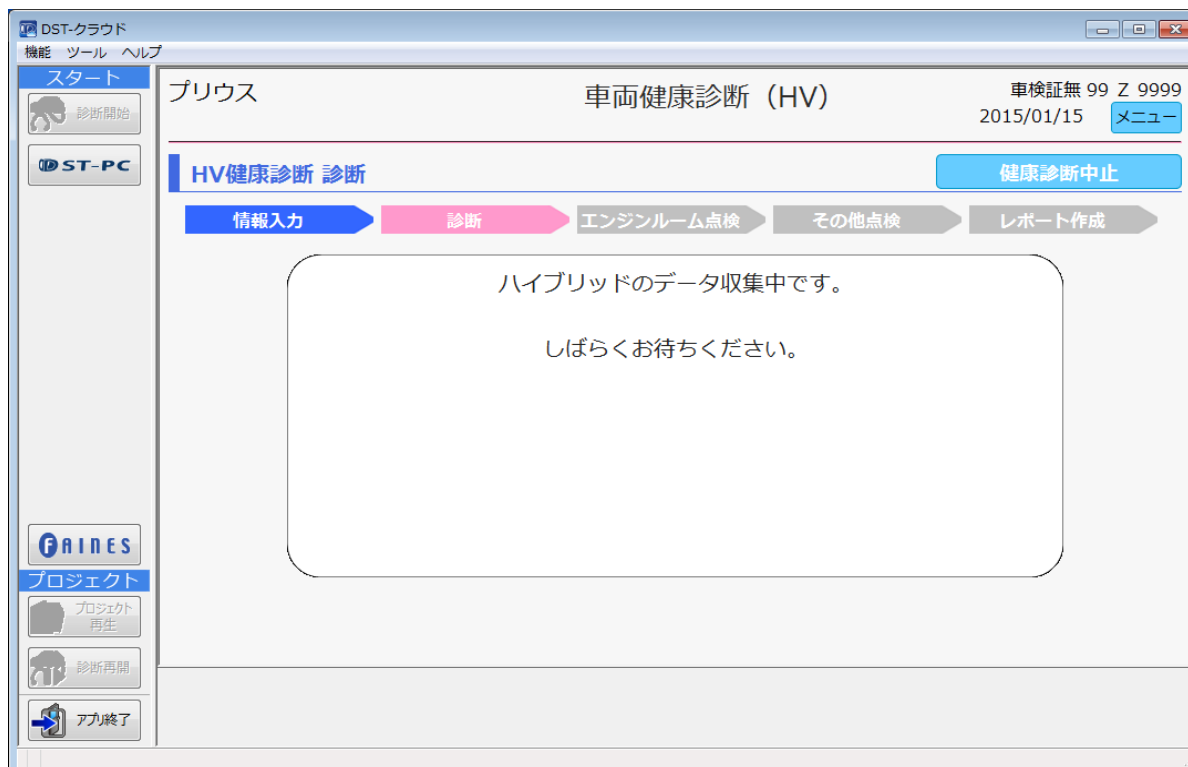
整備モード移行操作画面

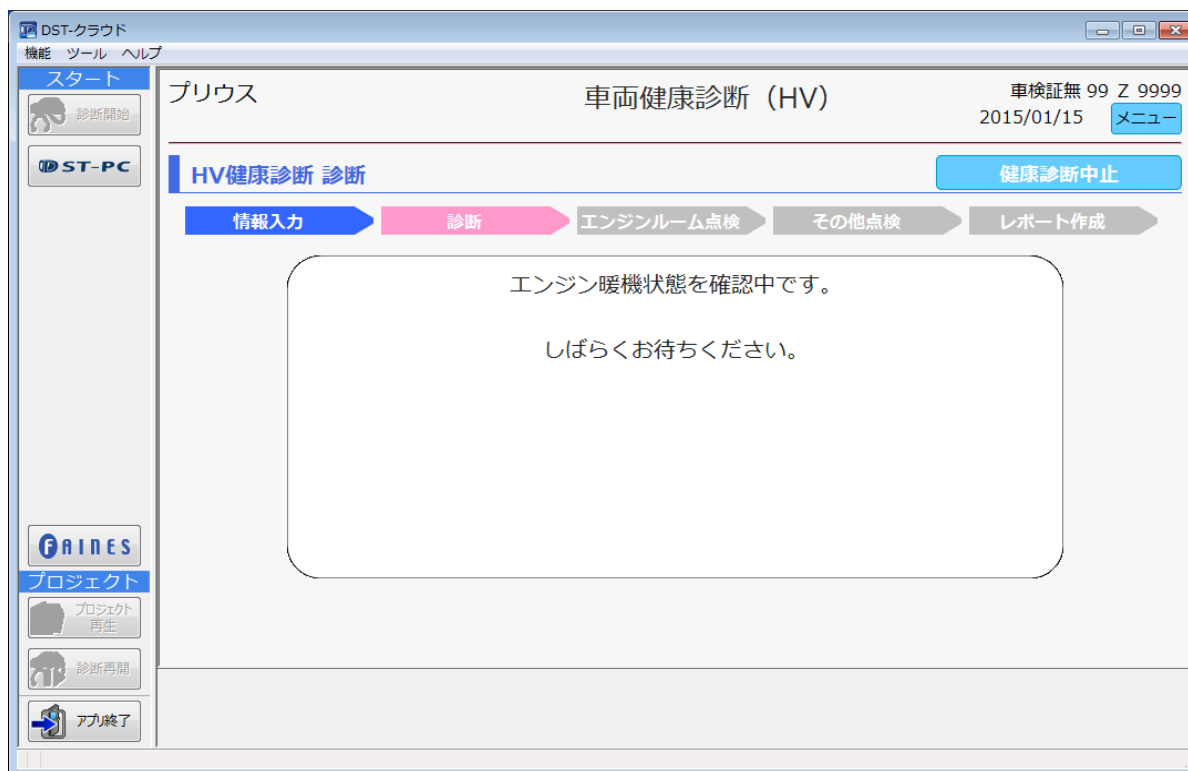
● 整備モード移行操作画面で画面の指示に従い操作した後、「操作完了」をクリックします。
整備モード移行確認画面が表示されます。

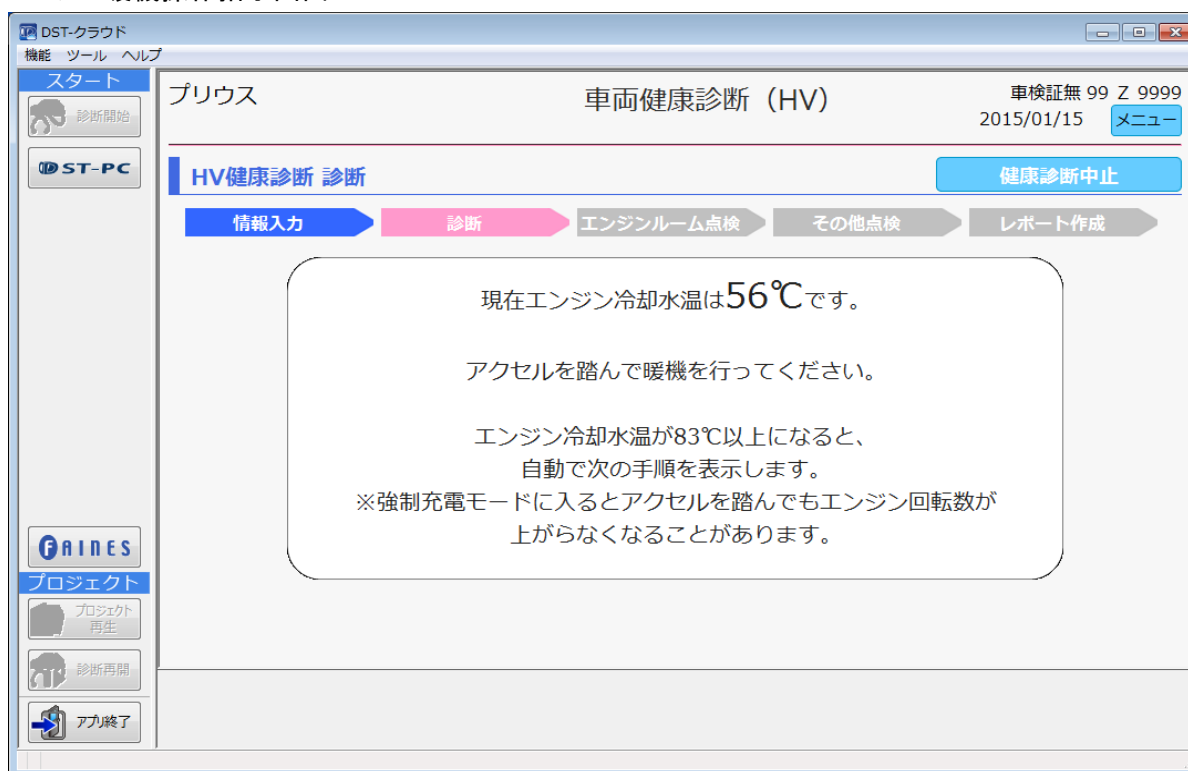
整備モード移行確認画面

● 整備モードに移行した表示がされていることを確認後、「表示有り」をクリックします。
エンジン始動指示画面が表示されます。

エンジン始動指示画面

●ブレーキを踏んだ状態でエンジンを始動します。
　ハイブリッド関係データ収集画面が表示されます。画面が切り替わるまで、しばらくお待ちください。

ポイント
・ エンジンが始動しない場合は、「整備モード（再設定）」をクリックしてください。

ハイブリッド関係データ収集画面

エンジン暖機状態確認画面が表示されます。画面が切り替わるまで、しばらくお待ちください。

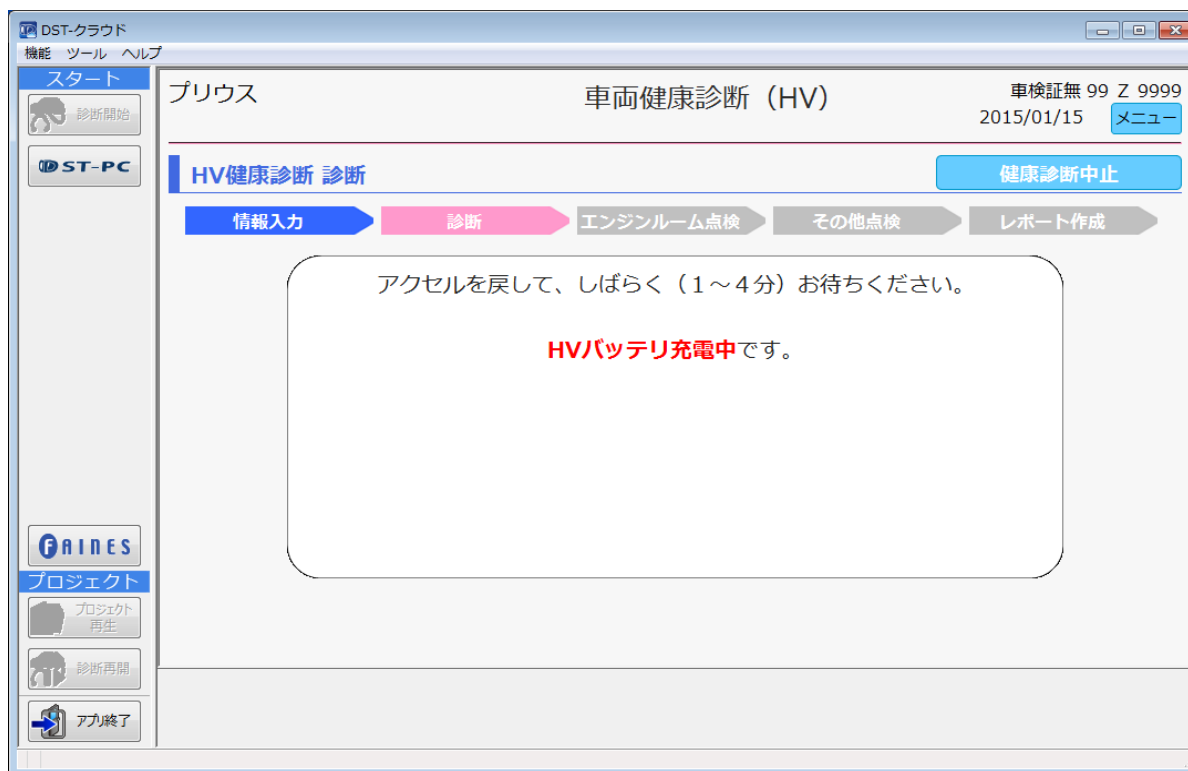
エンジン暖機状態確認画面

エンジン暖機状態を確認中です。
エンジン冷却水温が83℃以下の場合、エンジン暖機操作指示画面が表示されます。

エンジン暖機操作指示画面

●エンジンの暖機を行います。
画面が切り替わるまで、しばらくお待ちください。

ポイント

- ハイブリッドバッテリの状態によっては、車両が充電モードに移行します。
  この場合はアクセル操作をしてもエンジン回転数が上がりません。

ハイブリッドバッテリの充電状態を確認中です。
充電が必要な場合、ハイブリッドバッテリ充電中画面が表示されます。

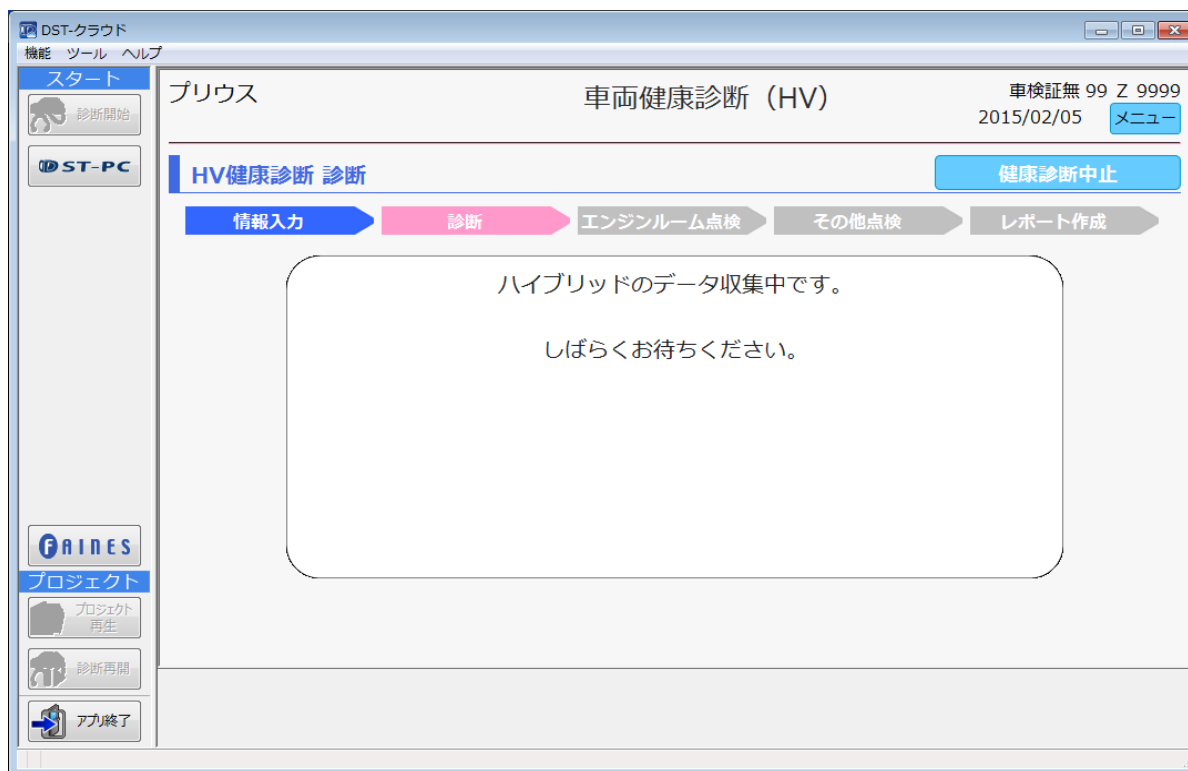
ハイブリッドバッテリ充電中画面

充電モードに移行してハイブリッドバッテリを充電しています。
画面が切り替わるまで、しばらくお待ちください。

エンジンデータ収集画面が表示されます。画面が切り替わるまで、しばらくお待ちください。

エンジンデータ収集画面

ハイブリッドデータ収集画面が表示されます。画面が切り替わるまで、しばらくお待ちください。

ポイント
- データ収集画面ではアイドリング時のデータを取得しています。
  アクセルペダルを踏まずにお待ちください。

ハイブリッドデータ収集画面

アクセル操作指示画面が表示されます。画面が切り替わるまで、しばらくお待ちください。

アクセル操作指示画面

● アクセルペダルを全開まで踏み込みます。
自動的に計測が始まり、カウントダウン画面が表示されます。画面が切り替わるまで、しばらくお待ちください。

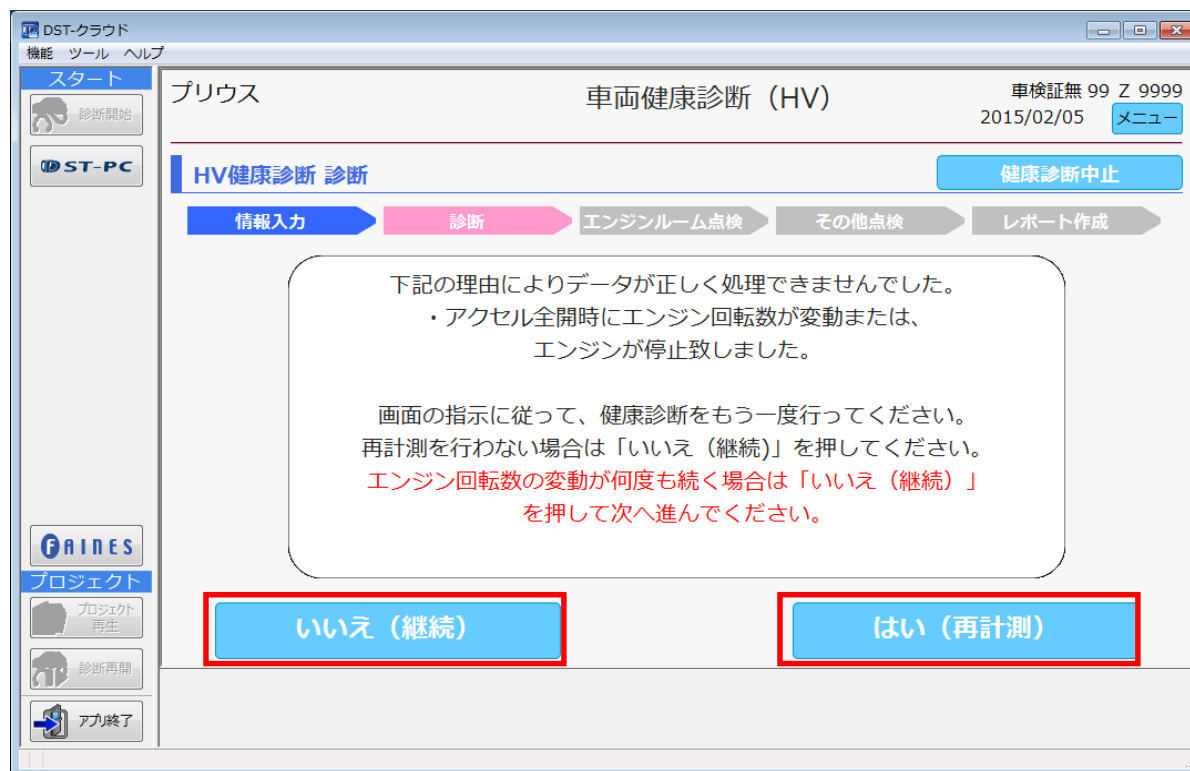
ポイント
・ 長時間放置すると途中でログアウトする場合があります。
その場合はもう一度初めから健康診断を実施してください。

カウントダウン画面

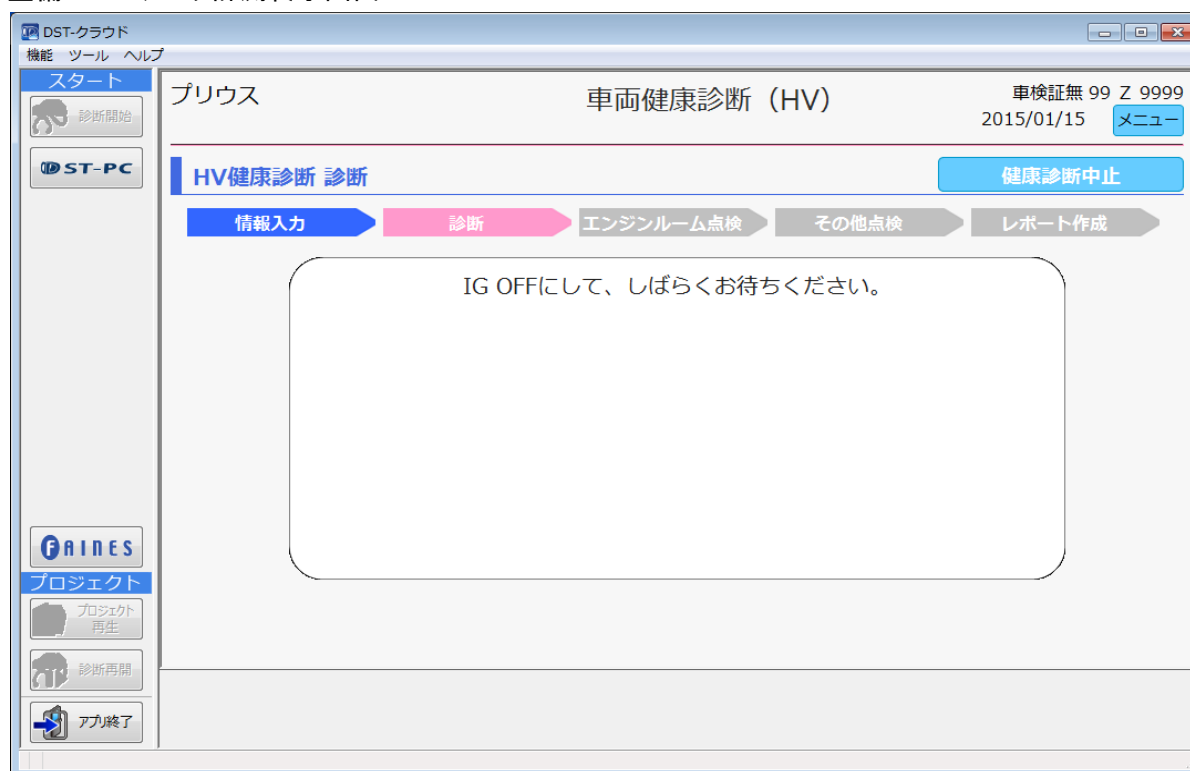
● カウントダウンが終わるまで、アクセルペダルを踏み続けます。
　アクセル操作指示画面が表示されます。

アクセル操作指示画面

● アクセルペダルを放します。
　整備モードデータ計測終了画面が表示されます。画面が切り替わるまで、しばらくお待ちください。

再計測確認画面

ポイント

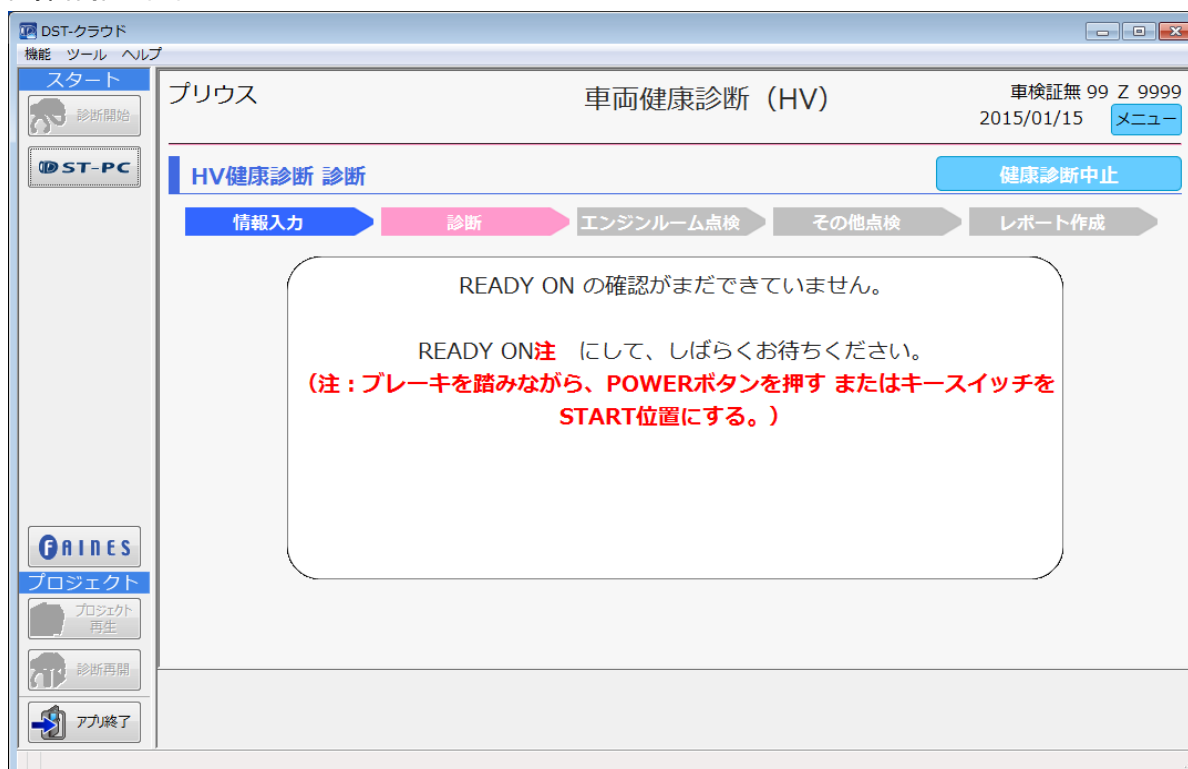
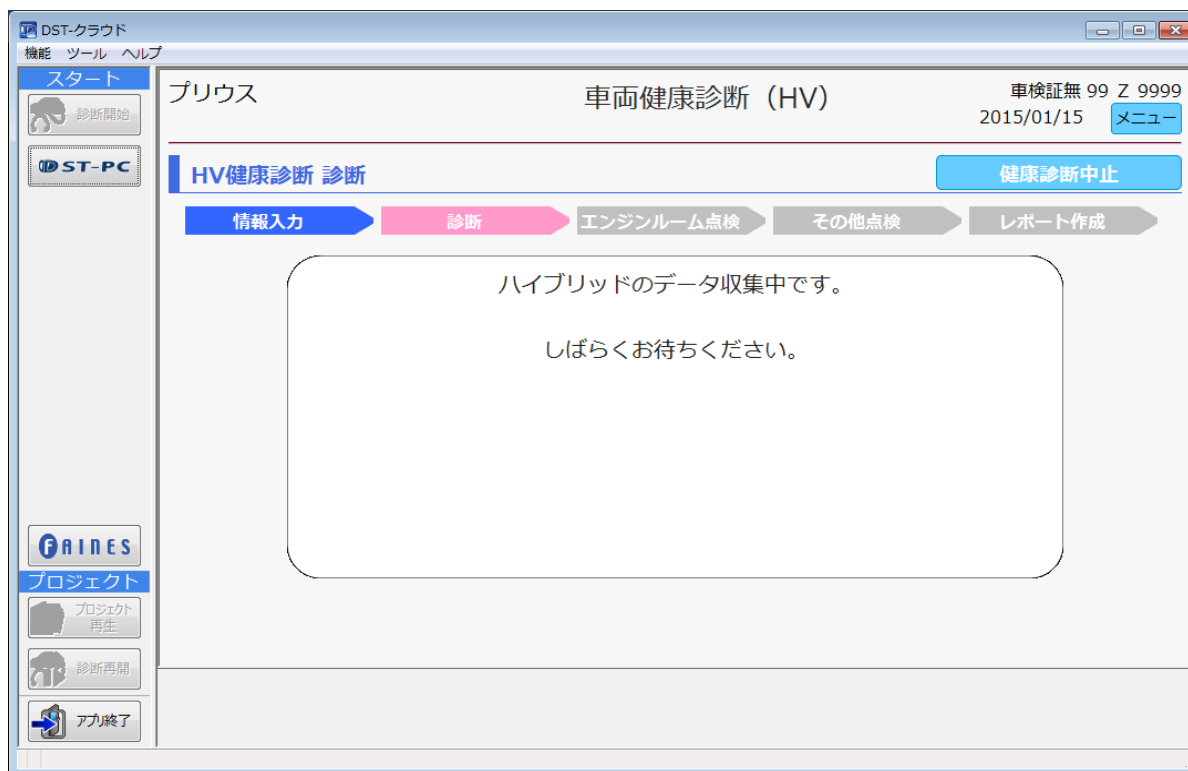
- データが正しく処理されなかった場合は、再計測確認画面が表示されます。
  「はい（再計測）」をクリックすると、再計測画面が表示されます。
  「いいえ（継続）」をクリックすると、次の計測に移行します。その場合は、正しく処理されたデータのみで診断結果を表示します。
- 車両によっては何度再計測を行ってもデータが正しく処理できない場合があります。
  その場合は「いいえ（継続）」をクリックして、次の計測に移行してください。

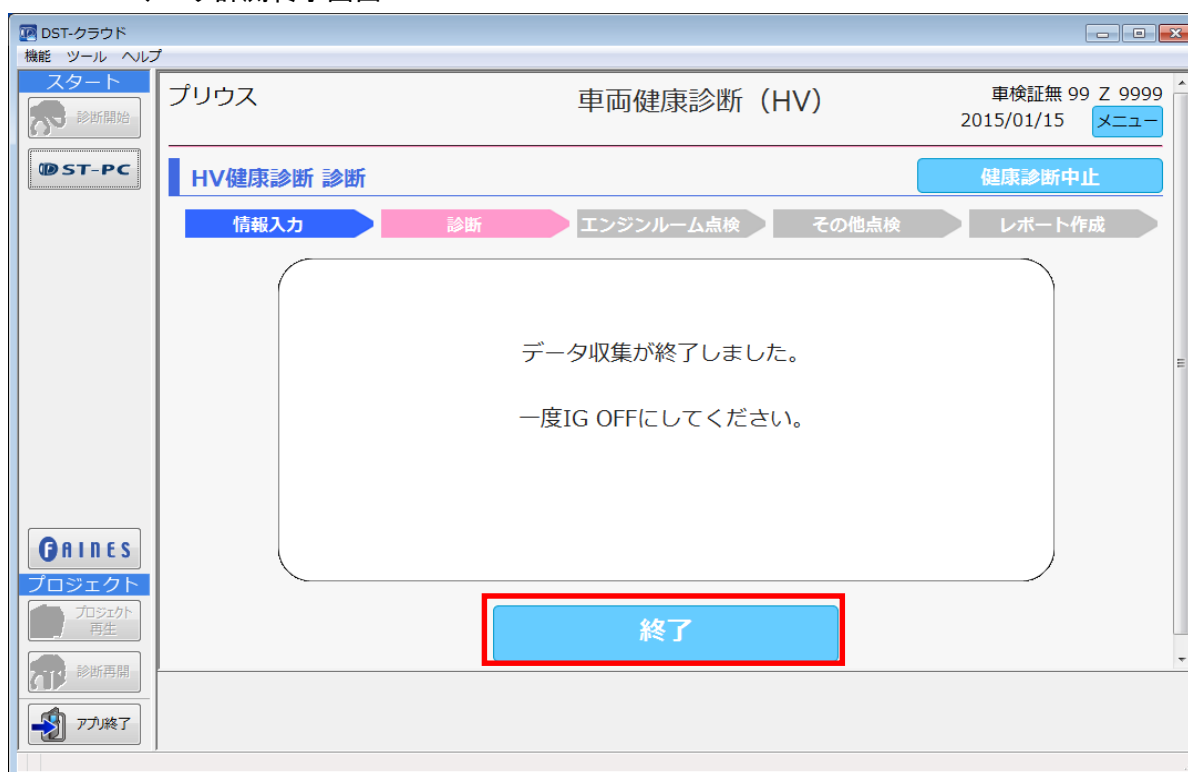
整備モードデータ計測終了画面

●IG OFFにします。
READY ON移行画面が表示されます。画面が切り替わるまで、しばらくお待ちください。

READY ON移行画面

● READY ONにします。
ハイブリッドデータ収集画面が表示されます。画面が切り替わるまで、しばらくお待ちください。

ポイント
・ しばらくしてもREADY ONが確認できなかった場合は、再操作指示画面が表示されます。

再操作指示画面

ハイブリッドデータ収集画面

READY ONデータ計測終了画面が表示されます。画面が切り替わるまで、しばらくお待ちください。

READY ONデータ計測終了画面

●IG OFFにします。その後、READY ONデータ計測終了画面で「終了」をクリックします。
ハイブリッド冷却水量の確認画面が表示されます。

ポイント

・ 以降の点検は任意項目となります。
点検を実施しない場合は「未実施」を選択し、「登録」をクリックしてください。

ハイブリッド冷却水量の確認画面

DST-クラウド
機能 ツール ヘルプ
スタート
診断開始
ST-PC
プリウス
車両健
HV健康診断 エンジンルーム点検入力
情報入力
診断
エンジンル
本点検は必須ではありません。点検を実施し
エンジンルーム
ハイブリッド冷却水量
点検方法
未実施
○
×
ハイブリッド冷却水ポンプ
点検方法
冷却水ポンプON
未実施
○
×
FAINES
プロジェクト
プロジェクト再生
診断再開
アプリ終了
一時保存
登録

ハイブリッド冷却水量の確認
インバータリザーブタンク
確認方法
冷却水量が FULL と LOW の間にあるかを確認する。
FULL
LOW
戻
次
1
閉じる

● ハイブリッド冷却水の点検を行います。
　点検方法を確認する場合は、「点検方法」をクリックします。画面に点検方法が表示されます。

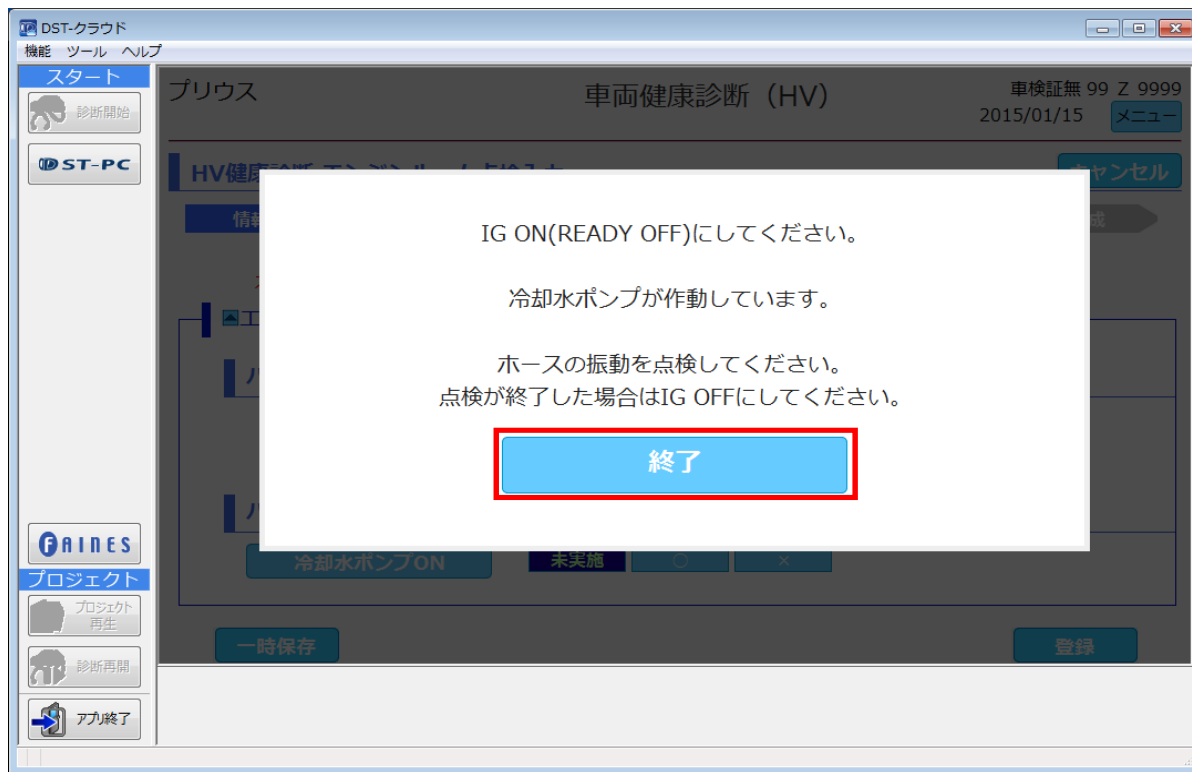
エンジンルーム点検画面

● ハイブリッド冷却水の点検結果を○×で判定します。

ハイブリッド冷却水ポンプの作動確認画面

● ハイブリッド冷却水ポンプの点検を行います。
点検方法を確認する場合は、「点検方法」をクリックします。画面に点検方法が表示されます。

ハイブリッド冷却水ポンプON画面

● ハイブリッド冷却水ポンプON画面で「冷却水ポンプON」をクリックします。
IG ON指示画面が表示されます。

IG ON指示画面

●IG ON（READY OFF）にします。
冷却水ポンプを作動させています。この間に冷却水ポンプの作動点検を行ってください。

ポイント
・冷却水ポンプが作動してから60秒経過すると、冷却水ポンプが自動で停止します。
・もう一度冷却水ポンプを作動させる場合は、エンジンルーム点検画面で「冷却水ポンプON」をクリックしてください。

●点検が終了した後、
IG OFFにします。その後、IG ON指示画面で「終了」をクリックします。
エンジンルーム点検画面が表示されます。

エンジンルーム点検画面

● ハイブリッド冷却水ポンプの点検結果を○×で判定します。

● エンジンルーム点検画面で「登録」をクリックします。
点検結果登録確認画面が表示されます。

点検結果登録確認画面

● 点検結果登録確認画面で「OK」をクリックします。
　ハイブリッド冷却ファンの作動確認画面が表示されます。

ハイブリッド冷却ファンの作動確認画面

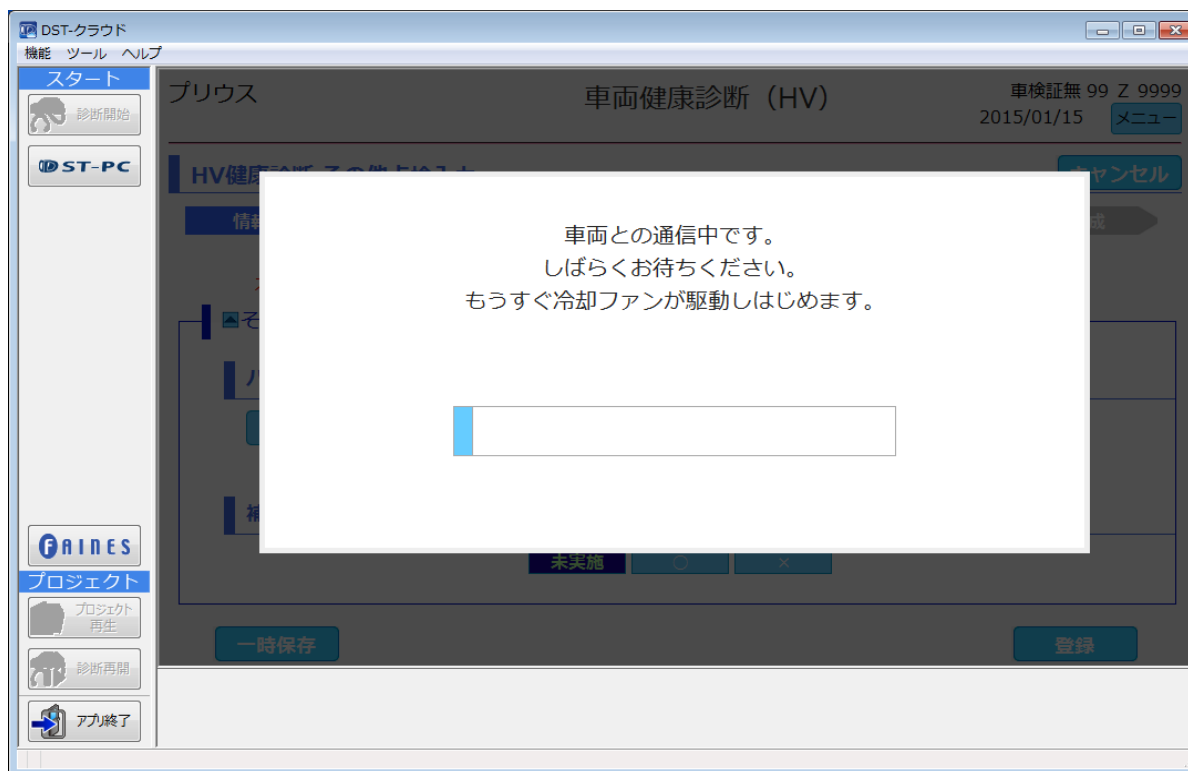
● ハイブリッド冷却ファンの点検を行います。
　点検方法を確認する場合は、「点検方法」をクリックします。画面に点検方法が表示されます。

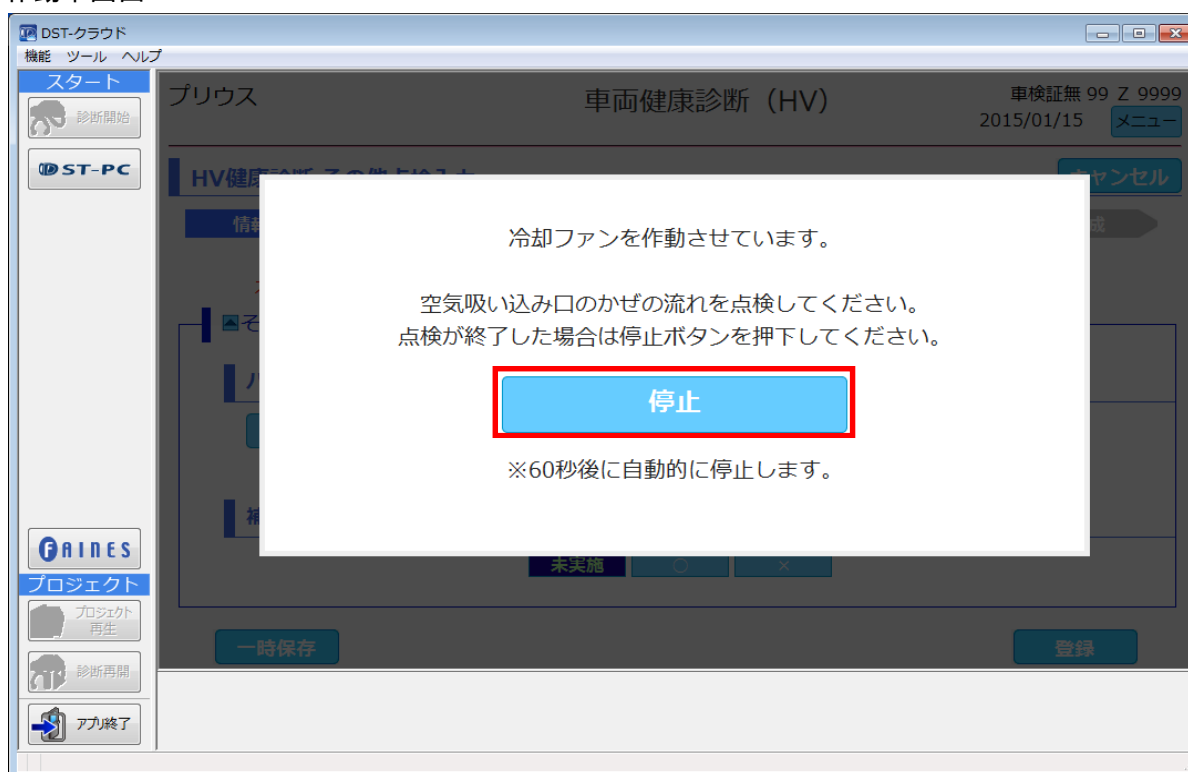
ハイブリッド冷却ファンON画面

● ハイブリッド冷却ファンON画面で「ファン駆動ON」をクリックします。
IG ON指示画面が表示されます。

IG ON指示画面

●IG ON（READY OFF）にします。その後、IG ON指示画面で「開始」をクリックします。
通信中画面が表示されます。

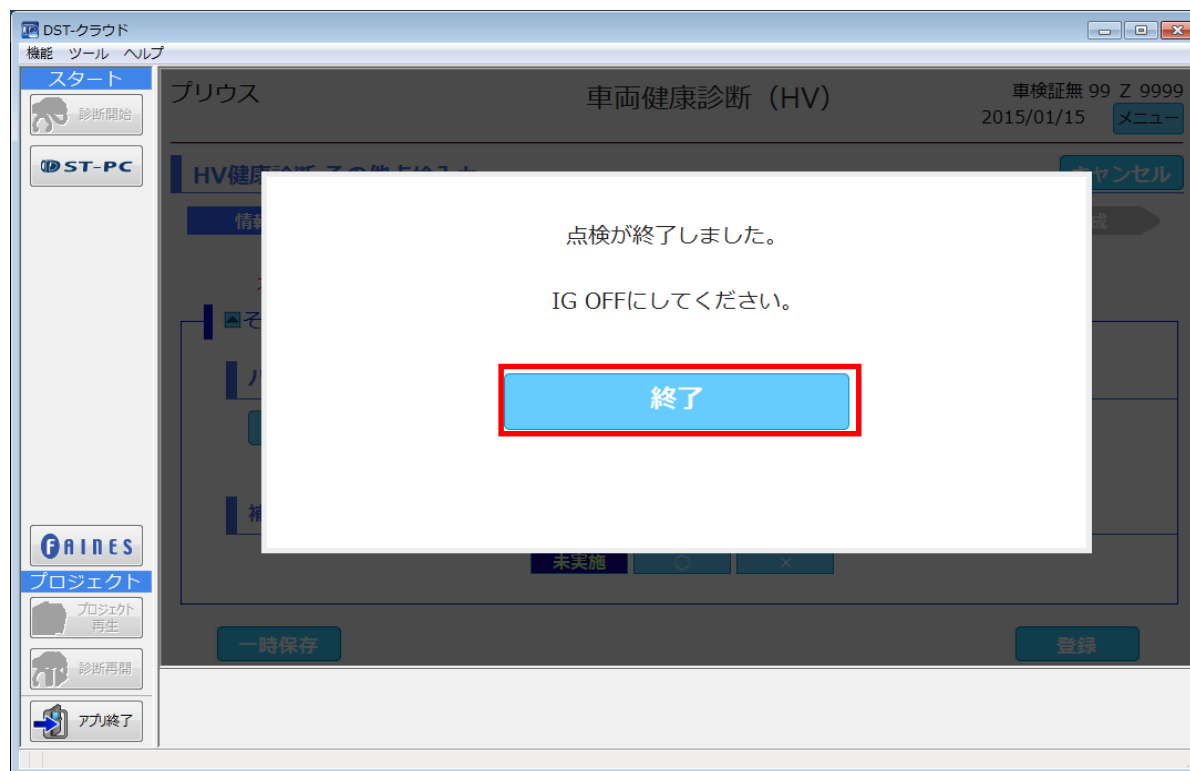
通信中画面

車両との通信を行っています。画面が切り替わるまで、しばらくお待ちください。

作動中画面

冷却ファンを作動させています。この間に冷却ファンの作動点検を行ってください。

● 点検が終了した後、作動中画面で「停止」をクリックします。
　点検終了画面が表示されます。

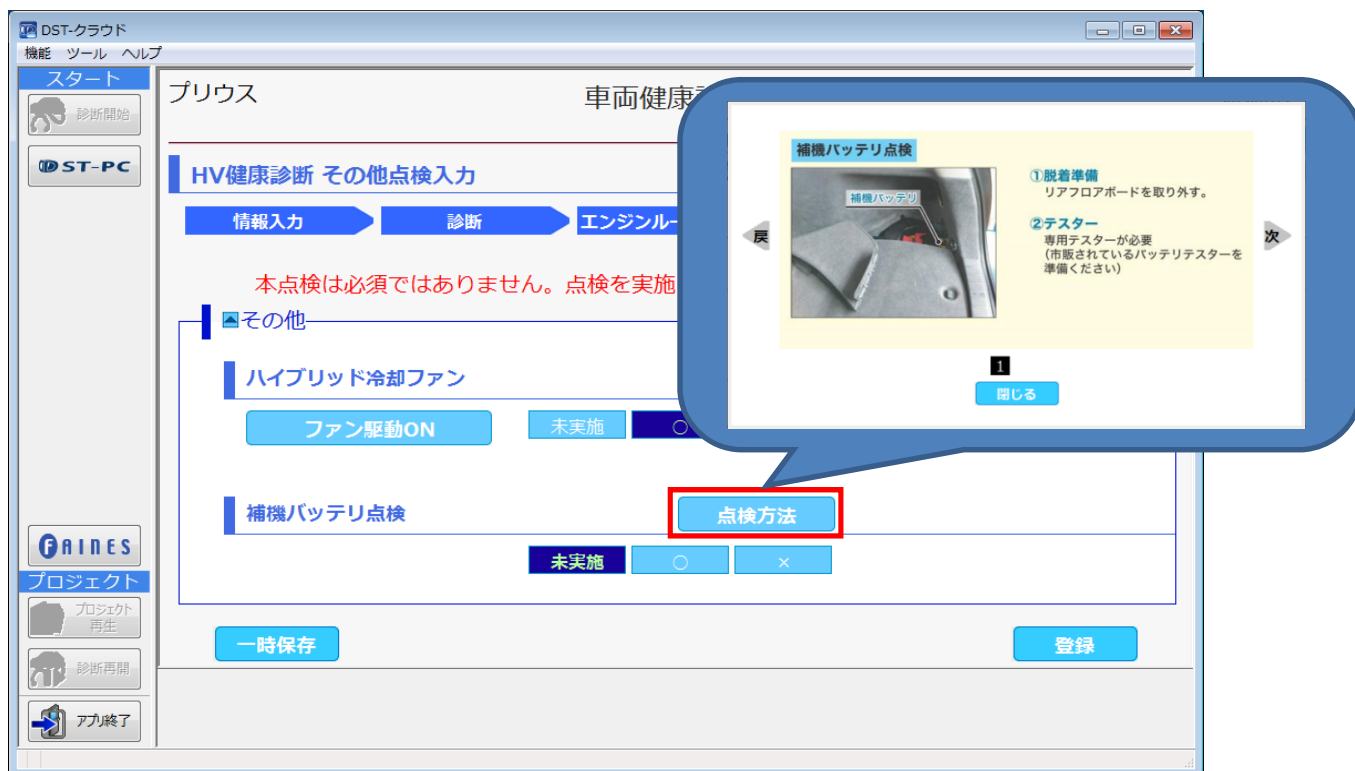
ポイント

・ 冷却ファンが作動してから60秒経過すると、冷却ファンが自動で停止します。
　もう一度冷却ファンを作動させる場合は、その他点検画面で「ファン駆動ON」をクリックしてください。

点検終了画面

●IG OFFにします。その後、点検終了画面で「終了」をクリックします。
その他点検画面が表示されます。

その他点検画面

●ハイブリッド冷却ファンの点検結果を○×で判定します。

補機バッテリ点検画面

● 補機バッテリの点検を行います。
　点検方法を確認する場合は、「点検方法」をクリックします。画面に点検方法が表示されます。

補機バッテリ点検画面

● 補機バッテリの点検結果を○×で判定します。

● 補機バッテリ点検画面で「登録」をクリックします。
　点検結果登録確認画面が表示されます。

点検結果登録確認画面

● 点検結果登録確認画面で「OK」をクリックします。
　健康診断レポート作成入力画面が表示されます。

健康診断レポート作成入力画面

ポイント
・ 作業を中断して、後から作業を再開することができます。
　操作方法は「作業の中断（健康診断完了後）」（P.108）を参照してください。

作業の中断（健康診断完了後）

作業を途中で中断して、後から再開することができます。

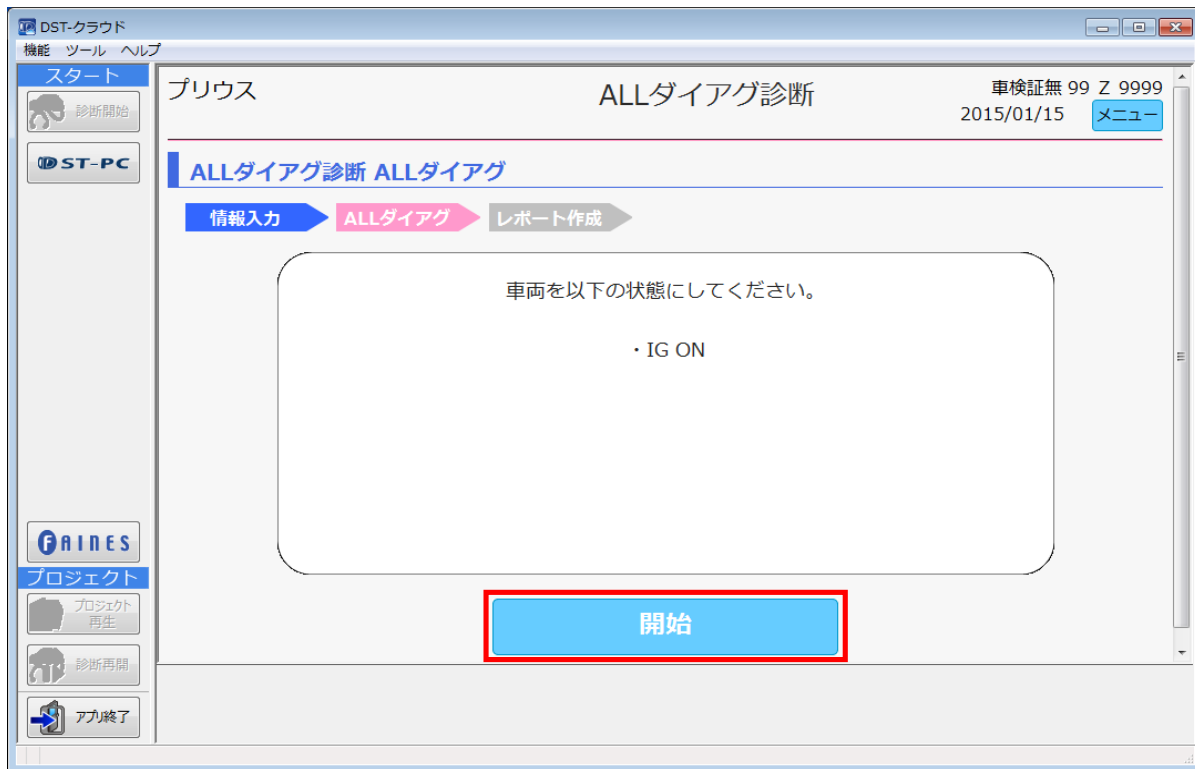
ポイント
- 情報入力画面で入力した各種情報を登録した後、または健康診断が完了して健康診断レポート作成入力画面が表示された後に作業を中断することができます。
  ここでは、健康診断が完了して健康診断レポート作成入力画面が表示された後に作業を中断する際の操作を説明します。

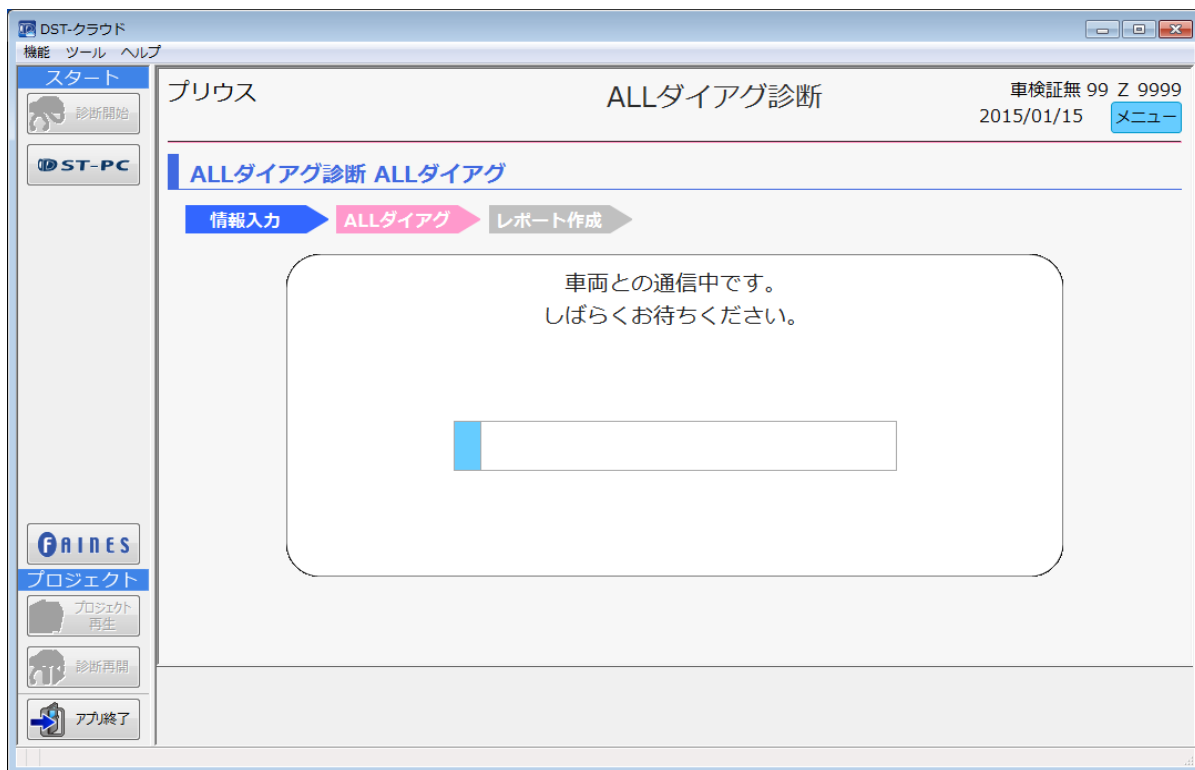
健康診断レポート作成入力画面

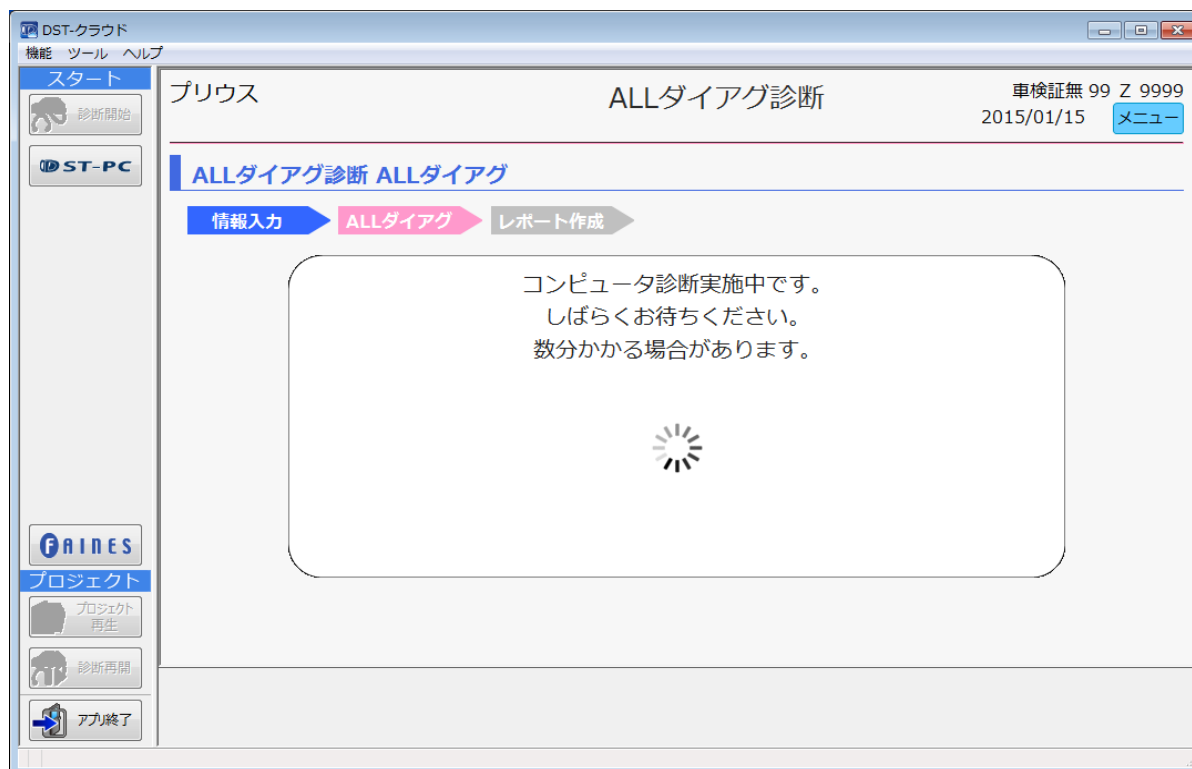
● 健康診断レポート作成入力画面で「キャンセル」をクリックします。
　メインメニュー画面が表示されます。

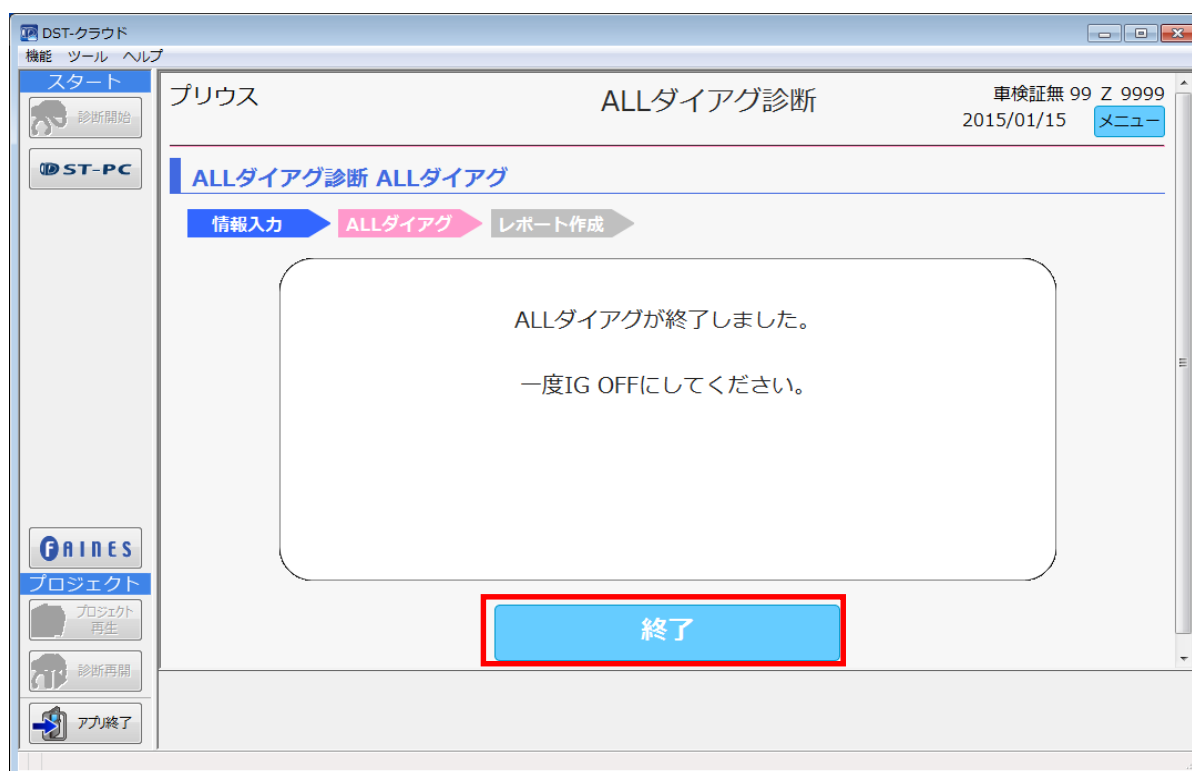
ポイント
- 「キャンセル」をクリックして作業を中断すると、健康診断レポート作成入力画面で入力していた情報はクリアされます。作業再開時に健康診断レポート作成入力画面は、健康診断完了後のデフォルト状態に戻ります。
- 後から作業を再開することができます。
  操作方法は「作業の再開」（P.64）を参照してください。

5-3-3. ALLダイアグ健康診断

健康診断画面

● 健康診断画面で「開始」をクリックします。
　通信中画面が表示されます。画面が切り替わるまで、しばらくお待ちください。

通信中画面

ALLダイアグ実施画面が表示されます。画面が切り替わるまで、しばらくお待ちください。

ALLダイアグ実施画面

ALLダイアグ終了画面が表示されます。画面が切り替わるまで、しばらくお待ちください。

ALLダイアグ終了画面

●IG OFFにします。
ALLダイアグ終了画面で「終了」をクリックします。
健康診断レポート作成入力画面が表示されます。

健康診断レポート作成入力画面

ポイント

- 作業を中断して、後から作業を再開することができます。
  操作方法は「作業の中断（健康診断完了後）」(P.108)を参照してください。

作業の中断（健康診断完了後）

作業を途中で中断して、後から再開することができます。

ポイント

・ 情報入力画面で入力した各種情報を登録した後、または健康診断が完了して健康診断レポート作成入力画面が表示された後に作業を中断することができます。
ここでは、健康診断が完了して健康診断レポート作成入力画面が表示された後に作業を中断する際の操作を説明します。

健康診断レポート作成入力画面

● 健康診断レポート作成入力画面で「キャンセル」をクリックします。
メインメニュー画面が表示されます。

ポイント

・ 「キャンセル」をクリックして作業を中断すると、健康診断レポート作成入力画面で入力していた情報はクリアされます。作業再開時に健康診断レポート作成入力画面は、健康診断完了後のデフォルト状態に戻ります。
・ 後から作業を再開することができます。
操作方法は「作業の再開」（P.64）を参照してください。

5-4. 診断結果の確認と登録

健康診断の結果を確認して、データをウェブサーバーへ登録します。

健康診断レポート作成入力画面

ポイント

・ 情報名（車両情報、実施情報など）の左側のボタンをクリックすると、表示／非表示を切り替えることができます。
表示状態では矢印が上向きとなり、非表示状態では矢印が下向きとなります。

● 健康診断レポート作成入力画面で診断実施情報（診断日、担当者名）を入力します。

健康診断レポート作成入力画面

ポイント

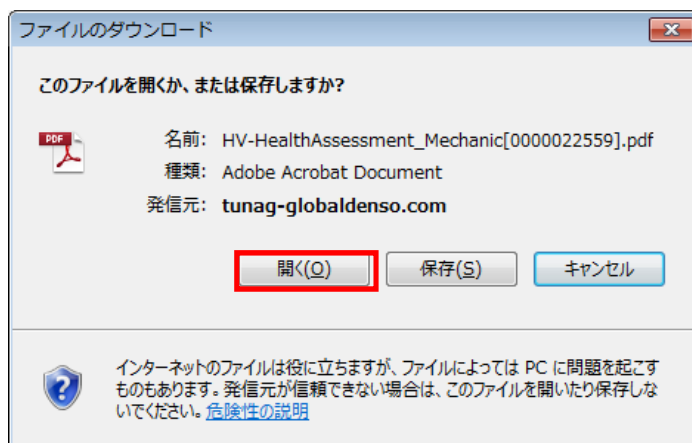
- 診断結果の数値で、前回と今回の数値比較や参考値との比較で、気になる値があった場合、「*」マークを付けておくと、後で確認する場合やレポートにも反映されますので、ご活用ください。
  デフォルトでは参考値から外れた値に「*」マークが付いています。

● 健康診断レポート作成入力画面でコンピュータ診断の「詳細」をクリックします。
　ALLダイアグ結果詳細表示画面が表示されます。

ALLダイアグ結果詳細表示画面

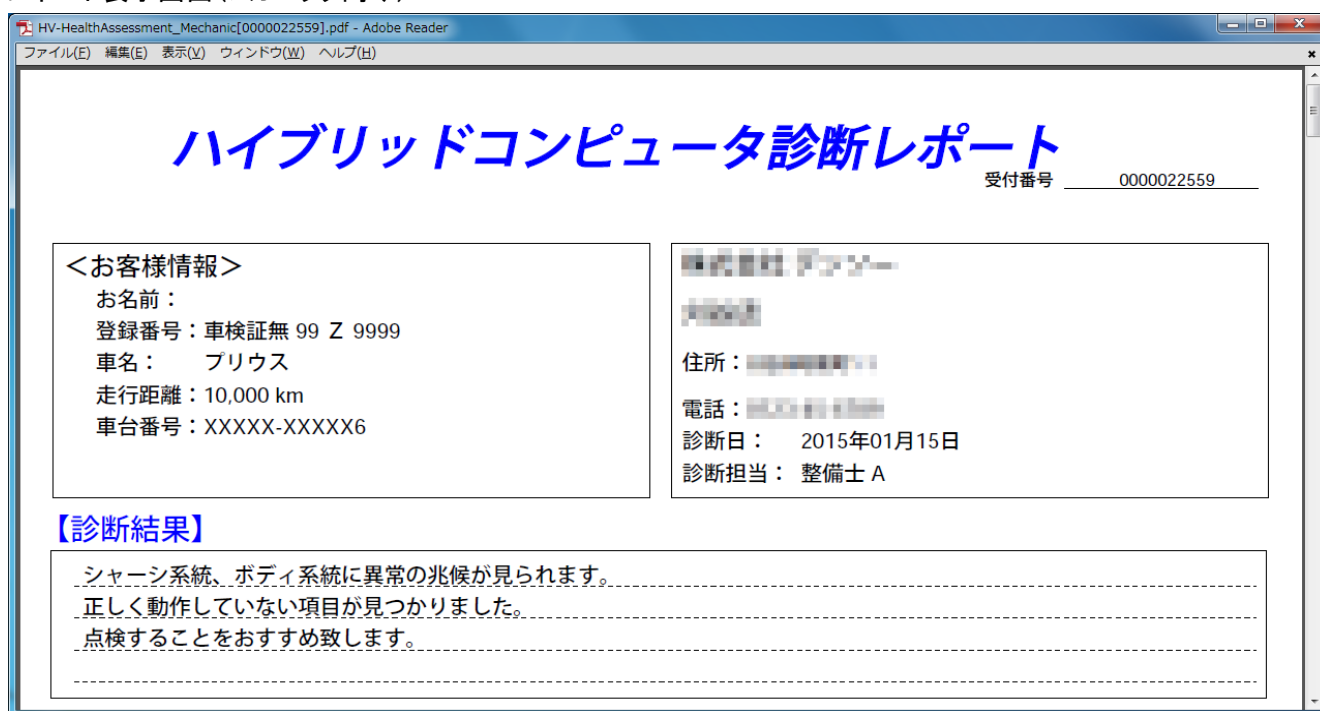
● ALLダイアグ結果詳細表示画面で「戻る」をクリックします。
　健康診断レポート作成入力画面に戻ります。

健康診断レポート作成入力画面

● 健康診断レポート作成入力画面でメカニックレポートの「印刷プレビュー」をクリックします。
ファイルのダウンロード画面が表示されます。

ファイルのダウンロード画面

● ファイルのダウンロード画面で「開く」をクリックします。
レポート表示画面が表示されます。

ポイント

・「保存」をクリックすると、レポートのPDFファイルをパソコンに保存することができます。

レポート表示画面（メカニック向け）

● レポート表示画面でメカニック向けの診断結果を確認します。

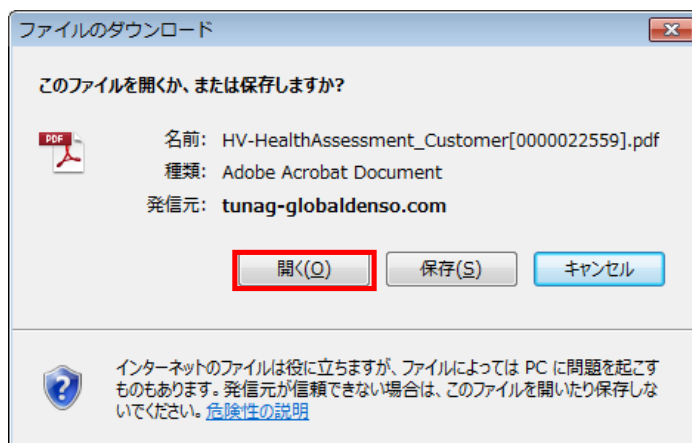
ポイント

・ レポートを印刷することができます。
印刷方法については、PDFファイルを閲覧しているアプリケーションの取扱説明書などを参照してください。
プリンターの設定方法については、ご使用になる製品の取扱説明書などを参照してください。

健康診断レポート作成入力画面

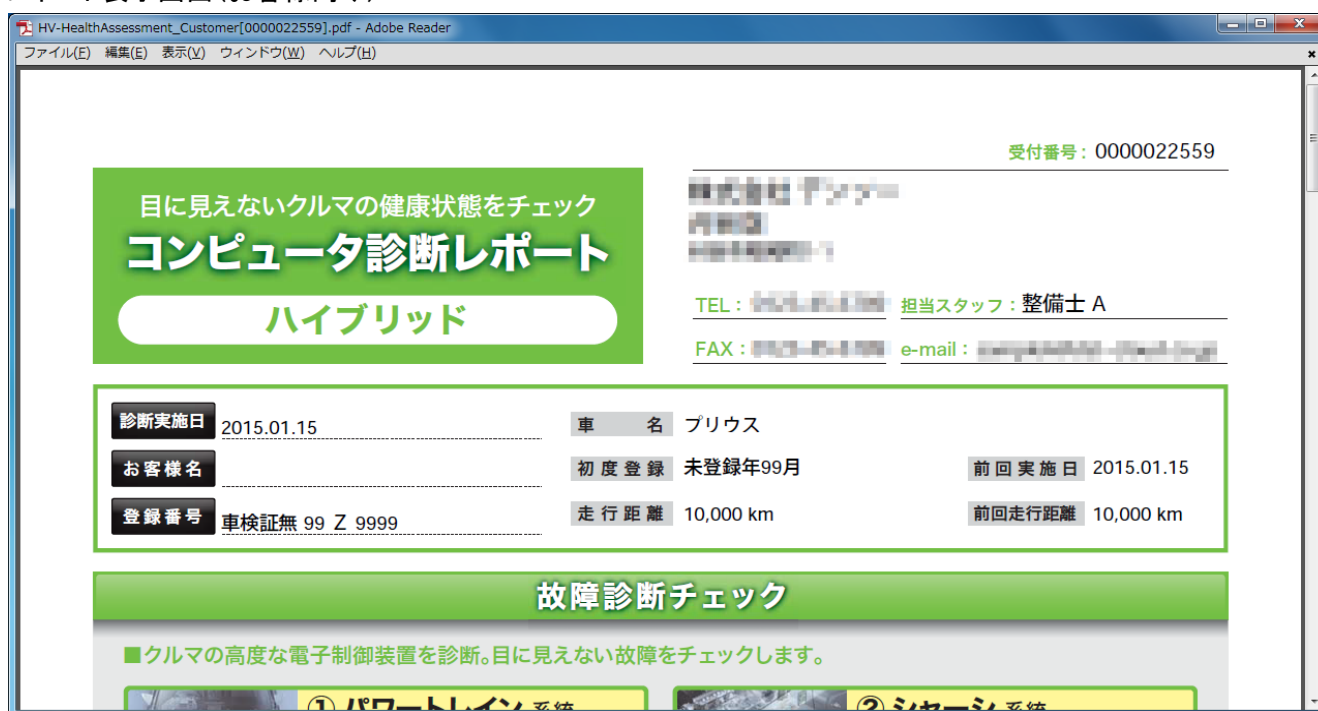
● 健康診断レポート作成入力画面のお客様診断レポートのお客様名入力欄にお客様名を入力します。
　診断結果のレポートにお客様名を印字する場合は「印字する」、印字しない場合は「印字しない」を選択します。

健康診断レポート作成入力画面

● 健康診断レポート作成入力画面でお客様診断レポートの「印刷プレビュー」をクリックします。
　ファイルのダウンロード画面が表示されます。

ファイルのダウンロード画面

● ファイルのダウンロード画面で「開く」をクリックします。
レポート表示画面が表示されます。

ポイント

・「保存」をクリックすると、レポートのPDFファイルをパソコンに保存することができます。

レポート表示画面(お客様向け)

● レポート表示画面でお客様向けの診断結果を確認します。

ポイント

・レポートを印刷することができます。
印刷方法については、PDFファイルを閲覧しているアプリケーションの取扱説明書などを参照してください。
プリンターの設定方法については、ご使用になる製品の取扱説明書などを参照してください。

健康診断レポート作成入力画面

● 健康診断レポート作成入力画面で入力および内容を確認した後、「確認」をクリックします。
健康診断レポート作成確認画面が表示されます。

健康診断レポート作成確認画面

ポイント
- レポートを表示して確認することができます。
  操作方法は「レポートを表示して確認する場合」(P.122)を参照してください。

● 健康診断レポート作成確認画面で内容を確認した後、「登録」をクリックします。
登録内容確認画面が表示されます。

ポイント
- 「登録」をクリックして診断結果を登録すると、後で内容を変更することができなくなりますので、レポートの内容に問題がないことをしっかりと確認してから登録してください。

登録内容確認画面

ポイント
- レポートを表示して確認することができます。
  操作方法は「レポートを表示して確認する場合」(P.122)を参照してください。

● 登録内容確認画面で「完了」をクリックします。
メインメニュー画面が表示されます。

メインメニュー画面

レポートを表示して確認する場合

各種レポートを表示します。パソコンにPDFファイルを保存することもできます。
お客様向けレポートとメカニック向けレポートでは、同じ診断結果を元にしていますが、表示される内容は異なります。

ポイント
・ 健康診断レポート作成入力画面または登録内容確認画面からレポートを表示する際の操作を説明します。
画面によってボタン名など操作が異なります。

健康診断レポート作成入力画面

● 健康診断レポート作成入力画面でメカニックレポートの「印刷プレビュー」をクリックします。
ファイルのダウンロード画面が表示されます。

登録内容確認画面

● 登録内容確認画面で「メカニック向けレポート」をクリックします。
　ファイルのダウンロード画面が表示されます。

ファイルのダウンロード画面

● ファイルのダウンロード画面で「開く」をクリックします。
　レポート表示画面が表示されます。

ポイント

・「保存」をクリックすると、レポートのPDFファイルをパソコンに保存することができます。

レポート表示画面（メカニック向け）

ポイント

・ レポートを印刷することができます。
印刷方法については、PDFファイルを閲覧しているアプリケーションの取扱説明書などを参照してください。
プリンターの設定方法については、ご使用になる製品の取扱説明書などを参照してください。

健康診断レポート作成入力画面

● 健康診断レポート作成入力画面でお客様診断レポートの「印刷プレビュー」をクリックします。
ファイルのダウンロード画面が表示されます。

登録内容確認画面

● 登録内容確認画面で「お客様向けレポート」をクリックします。
　ファイルのダウンロード画面が表示されます。

ファイルのダウンロード画面

● ファイルのダウンロード画面で「開く」をクリックします。
　レポート表示画面が表示されます。

ポイント
・「保存」をクリックすると、レポートのPDFファイルをパソコンに保存することができます。

レポート表示画面（お客様向け）

ポイント

- レポートを印刷することができます。
  印刷方法については、PDFファイルを閲覧しているアプリケーションの取扱説明書などを参照してください。
  プリンターの設定方法については、ご使用になる製品の取扱説明書などを参照してください。

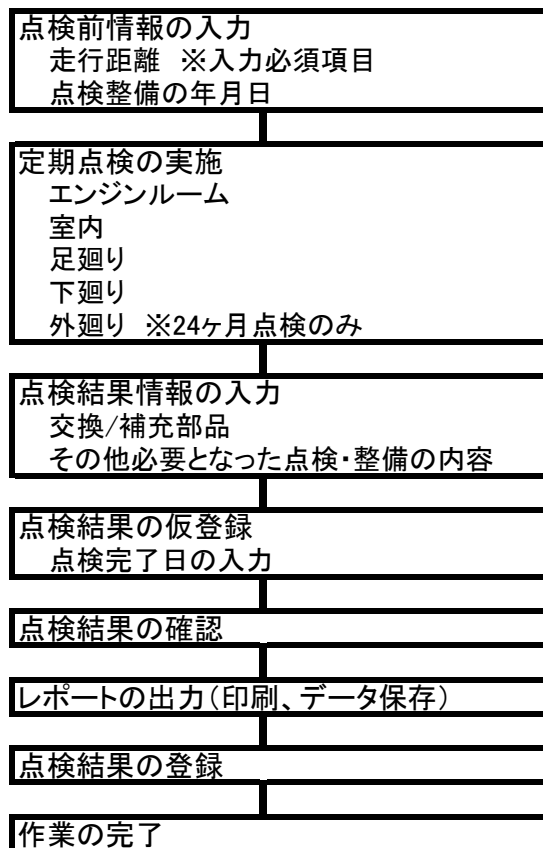
6. 電子点検簿による定期点検

定期点検で必要となる点検項目が種別毎に見易く表示され、項目毎に点検結果を入力していくことで、漏れのない点検を行うことができます。
点検結果はレポートとして見易く表示することができ、出力（印刷、データ保存）することもできます。
また、点検結果のデータはウェブサーバーに保管され、カルテ管理機能でいつでも確認することができます。
点検整備記録簿を印刷後、法律に従い必要事項を記入して、お店にて保存してください。
法律により1年間あるいは2年間の保存が義務付けられています。
必要事項には、以下の入力欄が設けてあります。
◆依頼者の氏名または名称および住所
◆自動車分解整備事業者の氏名又は名称及び事業場の所在地並びに認証番号・指定番号
※自社情報入力画面で登録することができます。
操作方法は「3. 自社情報管理」を参照してください。
◆整備主任者の氏名

ポイント

・ 当機能を使用する際は、車両との接続は必要ありません。
インターネット環境に接続されていれば、いつでも使用することができます。

6-1. 作業の流れ

当機能を使用する際の標準的な作業の流れを説明します。

ポイント

・「点検整備の年月日」は、デフォルトでは作業日が入力されています。

6-2. 点検前情報の入力

点検を実施する前に、必要な情報を入力します。

メインメニュー画面

● メインメニュー画面で「電子点検簿」をクリックします。
　電子点検簿画面が表示されます。

電子点検簿画面

● 電子点検簿画面で「12ヶ月点検」をクリックします。
車両検索画面が表示されます。

ポイント

- 以降の説明では、「12ヶ月点検」を実施する際の操作を説明します。
  「24ヶ月点検」の操作は「12ヶ月点検」と同様です。一部点検項目が異なります。
- 車両一覧には「最近使った車両」が表示されます。
- ウェブサーバーに登録されている車両を検索条件で絞り込んで検索することができます。
  操作方法は「5. 車両の健康診断」「5-2. 診断前情報の入力」の「車両検索方法」を参照してください。

車両検索画面

● 車両検索画面で健康診断を実施する車両情報が表示されている行をクリックします。
情報入力画面が表示されます。

情報入力画面

ポイント
- 作業途中のデータがある場合は、確認画面が表示されます。
  操作方法は「作業の再開」を参照してください。

情報入力画面（入力後）

● 走行距離、点検日を入力した後、「登録」をクリックします。
情報入力確認画面が表示されます。

情報入力確認画面

● 情報入力確認画面で「OK」をクリックします。
登録完了画面が表示されます。

登録完了画面

● 登録完了画面で「エンジンルーム」タブをクリックします。
エンジンルーム点検画面が表示されます。

エンジンルーム点検画面

ポイント
・ 以降の操作方法は「6-3. 定期点検の実施」を参照してください。

作業の再開

車両検索画面で選択した車両に作業途中のデータがある場合は、点検を途中から再開することができます。

● 車両検索画面で定期点検を実施する車両情報が表示されている行をクリックします。
　作業途中のデータがある場合は、確認画面が表示されます。

確認画面

● 確認画面で「点検継続」をクリックします。
　作業途中の画面が表示されます。

ポイント
・ 新たに点検を開始する場合は、「新規点検開始」をクリックしてください。
「新規点検開始」をクリックすると、作業途中のデータは破棄されます。

● 作業を再開します。

6-3. 定期点検の実施

定期点検を実施します。

エンジンルーム点検画面

ポイント

・情報名（パワー・ステアリング、点火装置など）の左側のボタンをクリックすると、表示／非表示を切り替えることができます。
表示状態では矢印が上向きとなり、非表示状態では矢印が下向きとなります。

● 項目毎の点検を行い、その結果を結果一覧の中から選択します。
結果一覧にリアルタイムに反映されます。

<結果一覧の説明>

記号	意味	記号	意味
／	該当なし	○&L	分解と給油
レ	点検良好	○&レ	分解と点検良好
×	交換	○&×	分解と交換
A	調整	○&A	分解と調整
C	清掃	○&C	分解と清掃
P	省略	○&△	分解と修理
○	分解	○&T	分解と締付
△	修理		
T	締付		
L	給油		

ポイント

・「記号の意味」をクリックすると、一覧を表示させることができます。

エンジンルーム点検画面（結果選択後）

● エンジンルームの点検を全て完了し、結果を選択した後、「登録」をクリックします。
確認画面が表示されます。

確認画面

● 確認画面で「OK」をクリックします。
登録完了画面が表示されます。

登録完了画面

● 登録完了画面で「室内」タブをクリックします。
室内点検画面が表示されます。

室内点検画面

ポイント
・ 室内点検、足廻り点検、下廻り点検を同様に行ってください。
24ヶ月点検では、下廻り点検の後に外廻り点検を行ってください。

6-4. 点検結果情報の入力と登録

点検完了後に点検結果の情報を入力します。
点検結果のデータをウェブサーバーへ登録します。

下廻り点検画面

● 全ての点検が完了した後、「点検結果情報」タブをクリックします。
　点検結果入力画面が表示されます。

点検結果入力画面

● 点検結果入力画面で交換/補充部品の「追加」をクリックします。
　交換/補充部品の入力欄が表示されます。

点検結果入力画面

点検結果入力画面

● 点検結果入力画面で交換/補充部品、その他必要となった点検･整備の内容を入力後、「登録」をクリックします。
確認画面が表示されます。

確認画面

● 確認画面で「OK」をクリックします。
　登録完了画面が表示されます。

ポイント
・ レポートを表示して確認することができます。
　操作方法は「レポートを表示して確認する場合」を参照してください。

登録完了画面

● 登録完了画面で「結果確認」をクリックします。
　点検完了日入力画面が表示されます。

点検完了日入力画面

● 点検完了日入力画面で点検完了日を入力した後、「OK」をクリックします。
登録内容確認画面が表示されます。

登録内容確認画面

ポイント
・ レポートを表示して確認することができます。
操作方法は「レポートを表示して確認する場合」を参照してください。

登録内容確認画面

● 登録内容確認画面で「点検完了」をクリックします。
　点検完了確認画面が表示されます。

点検完了確認画面

● 点検完了確認画面で「OK」をクリックします。
　メインメニュー画面が表示されます。

メインメニュー画面

DST-クラウド
機能 ツール ヘルプ
スタート
診断開始
ST-PC
メインメニュー
2015/01/12
メニュー
前回ログイン日時：2015/01/09 13:23:00
車両登録
健康診断
電子点検簿
修理支援
カルテ管理
自社情報
店舗検索
FAINES
プロジェクト
プロジェクト再生
診断再開
アプリ終了

レポートを表示して確認する場合

レポート（点検整備記録簿）を表示します。パソコンにPDFファイルを保存することもできます。

ポイント
- 点検結果入力画面または登録内容確認画面からレポートを表示する際の操作を説明します。

点検結果入力画面または登録内容確認画面

● 点検結果入力画面または登録内容確認画面で「印刷プレビュー」をクリックします。
　ファイルのダウンロード画面が表示されます。

ファイルのダウンロード画面

● ファイルのダウンロード画面で「開く」をクリックします。
　レポート表示画面が表示されます。

ポイント
- 「保存」をクリックすると、レポートのPDFファイルをパソコンに保存することができます。

レポート表示画面

12M_Passenger_Inspection[0000022384].pdf - Adobe Reader

ファイル(F)　編集(E)　表示(V)　ウィンドウ(W)　ヘルプ(H)

このドキュメントにはフォームフィールドが含まれています。このフォームに入力したデータは保存できません。
記録を残したい場合は、入力済みのフォームを印刷してください。

既存のフィールドをハイライト表示

No. 0000022384

12ヶ月点検整備記録簿

注　☆：1年間の走行距離が5000km以下の場合は省略可能
★：2年間の走行距離が10000km以下の場合は省略可能

分解整備記録簿
12ヶ月□ ／ 24ヶ月□ ＋ □

該当なし	／	点検良好	レ	交換	×	調整	A	清掃	C
省略	P	分解	○	修理	△	締付	T	給油	L

依頼者の氏名または名称および住所
氏名または名称
住所

自動車登録番号または車両番号
車台番号 XXXX-XXXX5
分解整備時の総走行距離 13,000 km

自家用乗用車等　別表第6

エンジンルーム

パワー・ステアリング
- ベルトの緩み、損傷
- 取付けの緩み★
- オイルの漏れ
- オイルの量

点火装置
- スパーク・プラグの状態 ☆
  (白金プラグ、イリジウム・プラグは点検省略可)
- 点火時期
- ディストリビュータのキャップの状態

バッテリ、電気配線
- バッテリ・ターミナル部の緩み、腐食
- 電気配線の接続部の緩み、損傷

エンジン
- 排気ガスの色
- CO、HCの濃度
- エア・クリーナ・エレメントの状態 ☆
  (汚れ、詰まり、損傷)

冷却装置
- ファン・ベルトの緩み、損傷
- 冷却水の漏れ

燃料装置
- 燃料漏れ

ばい煙、悪臭のあるガス、有害なガス等の発散防止装置

・ブローバイ・ガス還元装置
- メターリング・バルブの状態
- 配管の損傷

・燃料蒸発ガス排出抑止装置
- 配管等の損傷
- チェック・バルブの機能
- チャコール・キャニスタの詰まり、損傷

・一酸化炭素等発散防止装置
- 触媒等の排出ガス減少装置の取付けの緩み、損傷
- 二次空気供給装置の機能
- 排気ガス再循環装置の機能
- 減速時排気ガス減少装置の機能
- 配管の損傷、取付状態

室内

ハンドル
- 操作具合
- 遊び、がた

ブレーキ・ペダル
- 遊び
- 踏み込んだときの床板とのすき間
- ブレーキの効き具合

パーキング・ブレーキ・レバー(ペダル)
- 引きしろ(踏みしろ)
- パーキング・ブレーキの効き具合

クラッチ・ペダル
- 遊び
- 切れたときの床板とのすき間

足廻り

かじ取り車輪
- ホイール・アライメント ★

ショック・アブソーバ
- 損傷、オイルの漏れ

サスペンション
- 取付部、連結部の緩み、がた
- 各部の損傷

ホイール
- タイヤの空気圧 ☆
- タイヤの亀裂、損傷 ☆
- タイヤの溝の深さ、異常摩耗 ☆
- スペア・タイヤの空気圧
- ナット、ボルトの緩み ☆
- フロント・ホイール・ベアリングのがた ★
- リヤ・ホイール・ベアリングのがた ★

ブレーキ・ディスク、ドラム
- ディスクとパッドとのすき間 ☆
- ブレーキ・パッドの摩耗 ☆
- ディスクの摩耗、損傷
- ドラムとライニングとのすき間 ☆
- ブレーキ・シューの摺動部分、ライニングの摩耗 ☆
- ドラムの摩耗、損傷

ブレーキのマスタ・シリンダ、ホイール・シリンダ、ディスク・キャリパ
- マスタ・シリンダの液漏れ
- ホイール・シリンダの液漏れ
- ディスク・キャリパの液漏れ
- マスタ・シリンダの機能、摩耗、損傷
- ホイール・シリンダの機能、摩耗、損傷
- ディスク・キャリパの機能、摩耗、損傷

下廻り

エンジン
- オイルの漏れ

ステアリング・ギヤ・ボックス
- 取付けの緩み ★

ステアリングのロッド、アーム類
- 緩み、がた、損傷 ★
- ボール・ジョイントのダスト・ブーツの亀裂、損傷

トランスミッション、トランスファ
- オイルの漏れ ☆
- オイルの量 ☆

プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフト
- 連結部の緩み ☆
- ドライブ・シャフトのユニバーサル・ジョイント部のダスト・ブーツの亀裂、損傷

デファレンシャル
- オイルの漏れ ★
- オイルの量 ★

ブレーキ・ホース、パイプ
- 漏れ、損傷、取付状態

エキゾースト・パイプ、マフラ
- 取付けの緩み、損傷、腐食 ☆
- 遮熱板の取付けの緩み、損傷、腐食 ☆
- マフラの機能

外廻り

フレーム、ボデー
- 緩み、損傷

交換部品等	数量
XXXXX	1
XXXXX	2

その他必要となった点検・整備の内容
XXXXX

タイヤの残溝	前輪	左	mm	右	mm
	後輪	左	mm	右	mm
パッド、ライニングの残厚	前輪	左	mm	右	mm
	後輪	左	mm	右	mm
ブレーキペダル	遊び mm		床板隙間 mm		
クラッチペダル	遊び mm		床板隙間 2 mm		
パーキングブレーキ	引きしろ(踏みしろ)		ノッチ		
CO濃度(アイドリング時) 2.0 %	HC濃度(アイドリング時) 120 ppm				

点検整備の年月日　2015 年　01 月　13 日
整備を完了した年月日　年　月　日
整備主任者の氏名

自動車分解整備事業者の氏名又は名称及び事業場の所在地並びに認証番号
会社名：
店舗名：
住所：
電話番号：
認証番号：
指定番号：

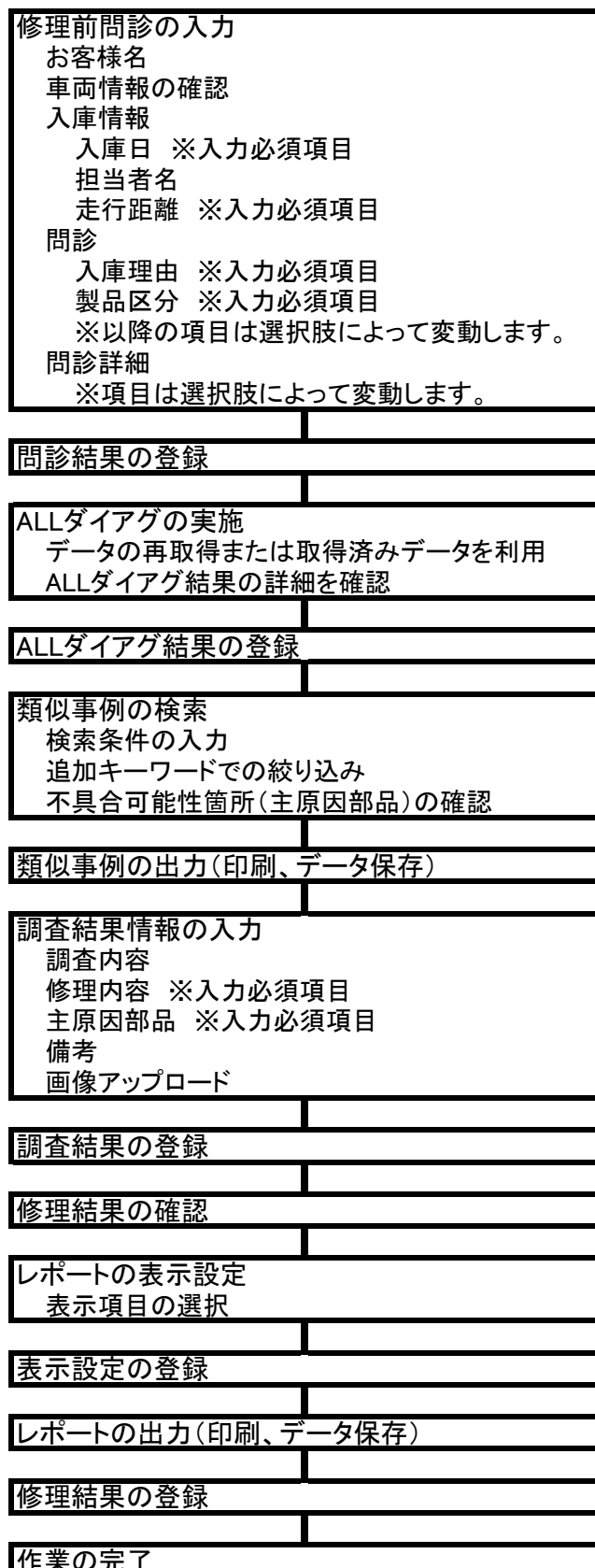
ポイント

- 依頼者の氏名または名称および住所の「氏名または名称」と「住所」は、PDFファイル上で入力して印刷することができます。ただし、DST-クラウドのサーバには入力内容は保存されません。
- 印刷方法については、PDFファイルを閲覧しているアプリケーションの取扱説明書などを参照してください。プリンターの設定方法については、ご使用になる製品の取扱説明書などを参照してください。

7. 修理支援サービスの活用

修理前の問診から修理後の修理内容まとめまで、一連の修理を行う際に使用します。
修理結果はレポートとして見易く表示することができ、出力（印刷、データ保存）することもできます。
また、修理結果のデータはウェブサーバーに保管され、カルテ管理機能でいつでも確認することができます。

7-1. 作業の流れ

当機能を使用する際の標準的な作業の流れを説明します。

ポイント

・「担当者名」は自社情報更新で登録した担当者から選択することができます。

・ 作業を途中で中断して、後から再開することができます。
操作方法は「作業の中断」および「作業の再開」を参照してください。

7-2. 修理前問診の入力

修理を実施する前に、問診の情報を入力します。

メインメニュー画面

● メインメニュー画面で「修理支援」をクリックします。
　修理支援画面が表示されます。

修理支援画面

● 修理支援画面で「修理開始・再開」をクリックします。
　車両検索画面が表示されます。

ポイント

・ 車両一覧には「最近使った車両」が表示されます。
・ ウェブサーバーに登録されている車両を検索条件で絞り込んで検索することができます。
　操作方法は「5. 車両の健康診断」「5-2. 診断前情報の入力」の「車両検索方法」を参照してください。

車両検索画面

● 車両検索画面で修理支援を実施する車両情報が表示されている行をクリックします。
　問診入力画面が表示されます。

問診入力画面

ポイント

・ 作業途中のデータがある場合は、修理中リスト画面が表示されます。
操作方法は「作業の再開」を参照してください。

● 問診入力画面で各種情報を入力します。

＜入力が必要な情報＞
★が付いている項目は、入力が必須です。

お客様名		
	お客様名	お客様の名前を入力します。
車両情報　※登録情報を変更することはできません。		
	車台番号	車台番号を確認することができます。
	ブランド	ブランドを確認することができます。
	車名	車名を確認することができます。
	その他	「詳細」ボタンをクリックすることで表示されます。
入庫情報		
★	入庫日	入庫年月日をプルダウンから選択します。
	担当者名	担当者名をプルダウンから選択します。 自社情報更新で登録した担当者から選択することができます。
★	走行距離	走行距離を入力します。
問診		
★	入庫理由	事故や災害に起因する修理なのかどうかを選択します。
★	製品区分	製品区分をプルダウンから選択します。 適切な選択肢が無い場合は、「その他」を選択してください。
★	主な症状	主な症状をプルダウンから選択します。 適切な選択肢が無い場合は、「その他」を選択してください。
★	詳細	詳細をプルダウンから選択します。 適切な選択肢が無い場合は、「その他」を選択してください。 その場合はコメント入力欄に情報を入力してください。
	他の症状	主な症状の他に別の症状がある場合に選択します。 適切な選択肢が無い場合は、「その他」を選択してください。
	詳細	詳細をプルダウンから選択します。 適切な選択肢が無い場合は、「その他」を選択してください。 その場合はコメント入力欄に情報を入力してください。
問診詳細		
	天候	不具合発生時の天候を一覧から選択します。 適切な選択肢が無い場合は、「その他」を選択してください。 その場合はコメント入力欄に情報を入力してください。
	気温	不具合発生時の気温を一覧から選択します。 適切な選択肢が無い場合は、「その他」を選択してください。
★	頻度	不具合発生の頻度を一覧から選択します。 「日」、「週」、「月」を選択した場合は、発生回数を入力してください。 適切な選択肢が無い場合は、「その他」を選択してください。 その場合はコメント入力欄に情報を入力してください。
	いつから	不具合が発生し始めた時期をを一覧から選択します。 「日前から」、「週間前から」、「ヶ月前から」を選択した場合は、発生時期を入力してください。
	きっかけ	不具合が発生するきっかけとなった事象を一覧から選択します。 「修理後」を選択した場合は、コメント入力欄に修理内容を入力してください。 「用品取り付け後」を選択した場合は、取り付けた用品名を一覧から選択してください。 適切な選択肢が無い場合は、「その他」を選択してください。 その場合はコメント入力欄に情報を入力してください。
	その他	その他に必要な情報がある場合は、コメント入力欄に情報を入力してください。

ポイント

・ 問診詳細に表示される項目は、問診で選択した項目によって異なります。
表示された項目毎に適切な問診結果を選択してください。

問診入力画面

● 問診入力画面で車両情報の「詳細」をクリックします。
　車両情報の詳細が表示されます。

問診入力画面

● 問診項目毎に結果を選択します。

問診入力画面

問診入力画面（入力後）

● 問診入力画面で各種情報を入力した後、「登録」をクリックします。
登録確認画面が表示されます。

登録確認画面

● 登録確認画面で「OK」をクリックします。
　問診入力画面に登録完了メッセージが表示されます。

ポイント
- 登録が完了すると、「問診」タブにレ点が表示されます。
  レ点は作業が完了したことを示します。

問診入力画面

ポイント
- 作業を中断して、後から作業を再開することができます。
  操作方法は「作業の中断」を参照してください。
- 以降の操作方法は「7−3. ALLダイアグの実施」を参照してください。

作業の再開

車両検索画面で選択した車両に作業途中のデータがある場合は、診断を途中から再開することができます。

● 車両検索画面で修理支援を実施する車両情報が表示されている行をクリックします。
作業途中のデータがある場合は、修理中リスト画面が表示されます。

修理中リスト画面

● 修理中リスト画面で作業を再開する修理情報が表示されている行をクリックします。
作業途中の画面が表示されます。

● 作業を再開します。

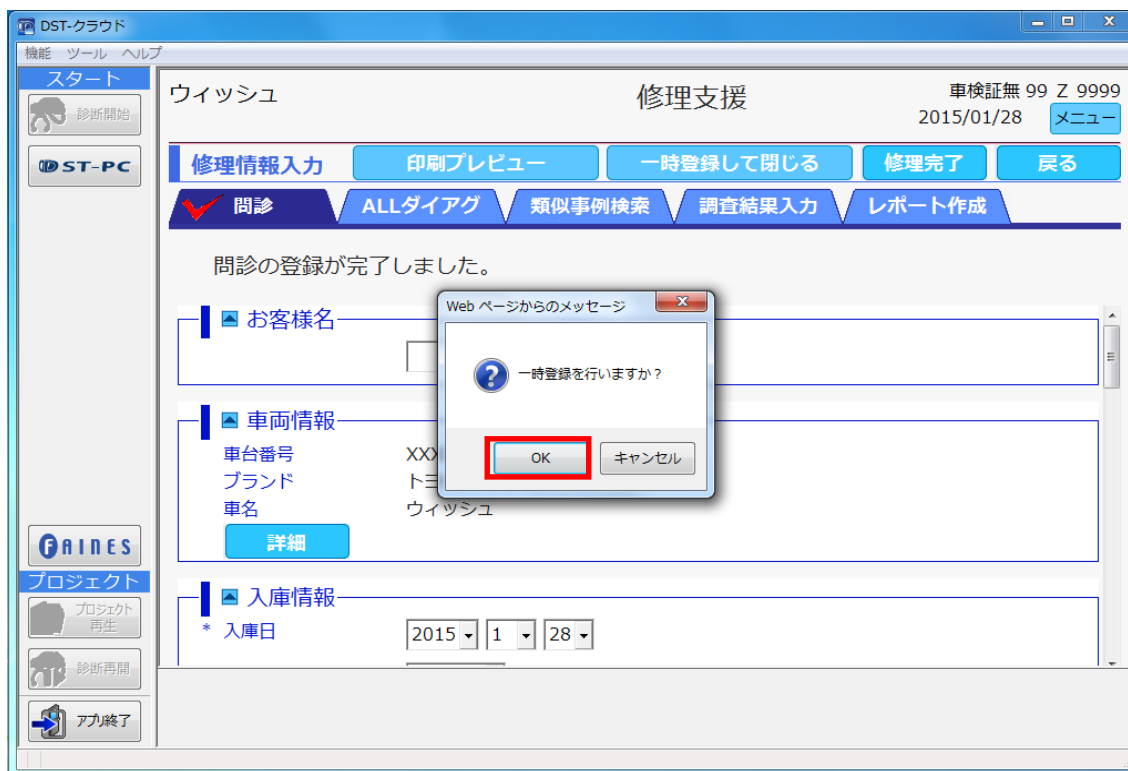
作業の中断

作業を途中で中断して、後から再開することができます。

ポイント
・ 以下の説明では問診入力画面での操作を説明しますが、画面上部に「一時登録して閉じる」ボタンが表示されていれば、どの画面でも同様に操作することができます。

問診入力画面

● 問診入力画面で「一時登録して閉じる」をクリックします。
一時登録確認画面が表示されます。

一時登録確認画面

● 一時登録確認画面で「OK」をクリックします。
　メインメニュー画面が表示されます。

メインメニュー画面

ポイント
・ 後から作業を再開することができます。
　操作方法は「作業の再開」を参照してください。

7-3. ALLダイアグの実施

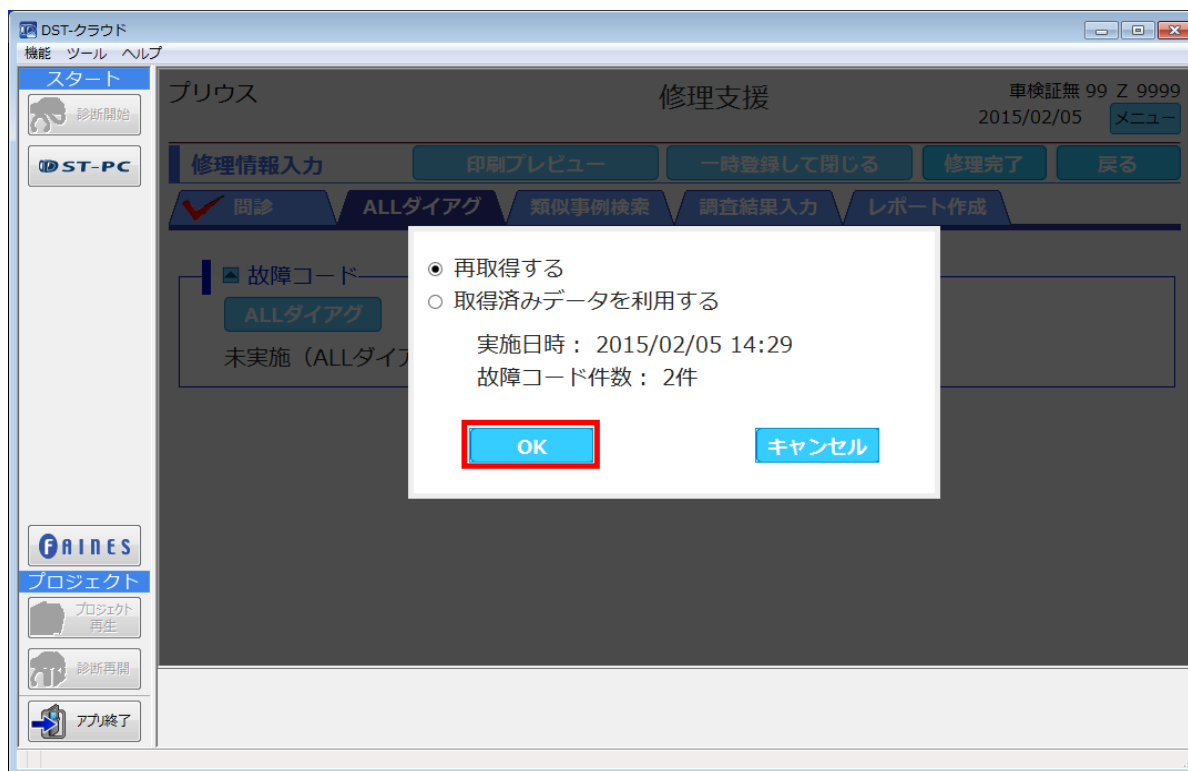
ALLダイアグを実施して、車両のダイアグ検出の状態を確認します。

問診入力画面

● 問診入力画面で「ALLダイアグ」タブをクリックします。
　ALLダイアグ画面が表示されます。

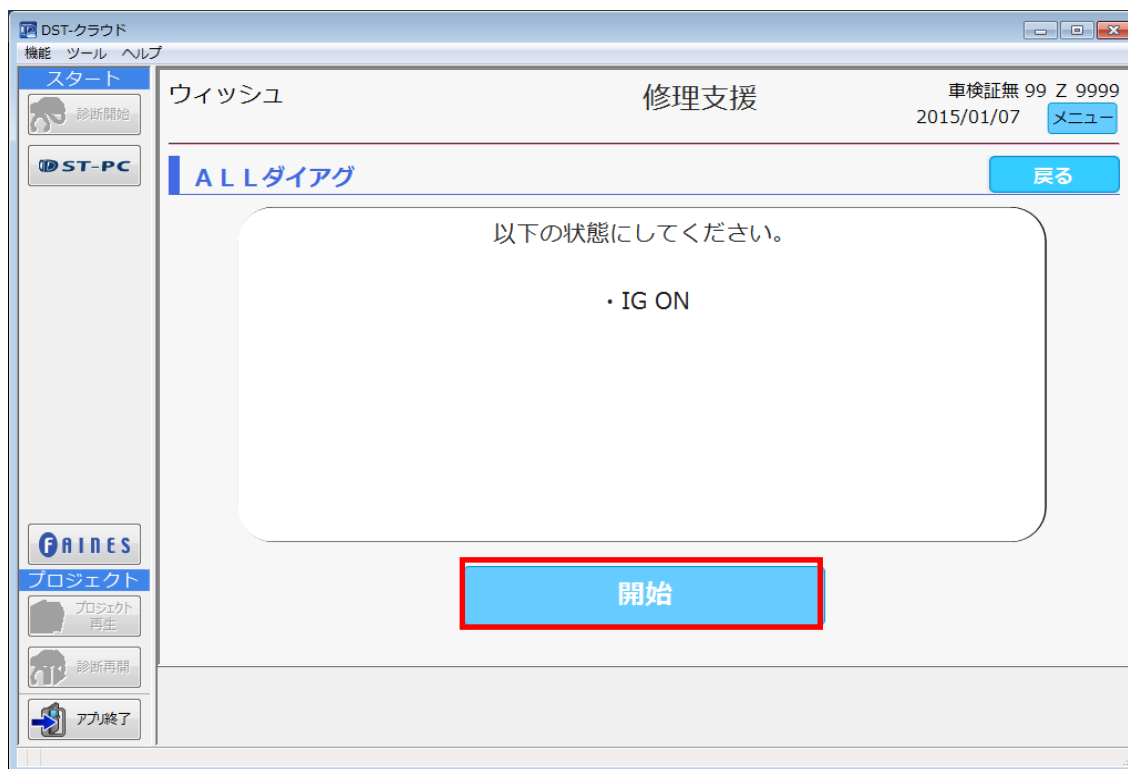
ALLダイアグ画面

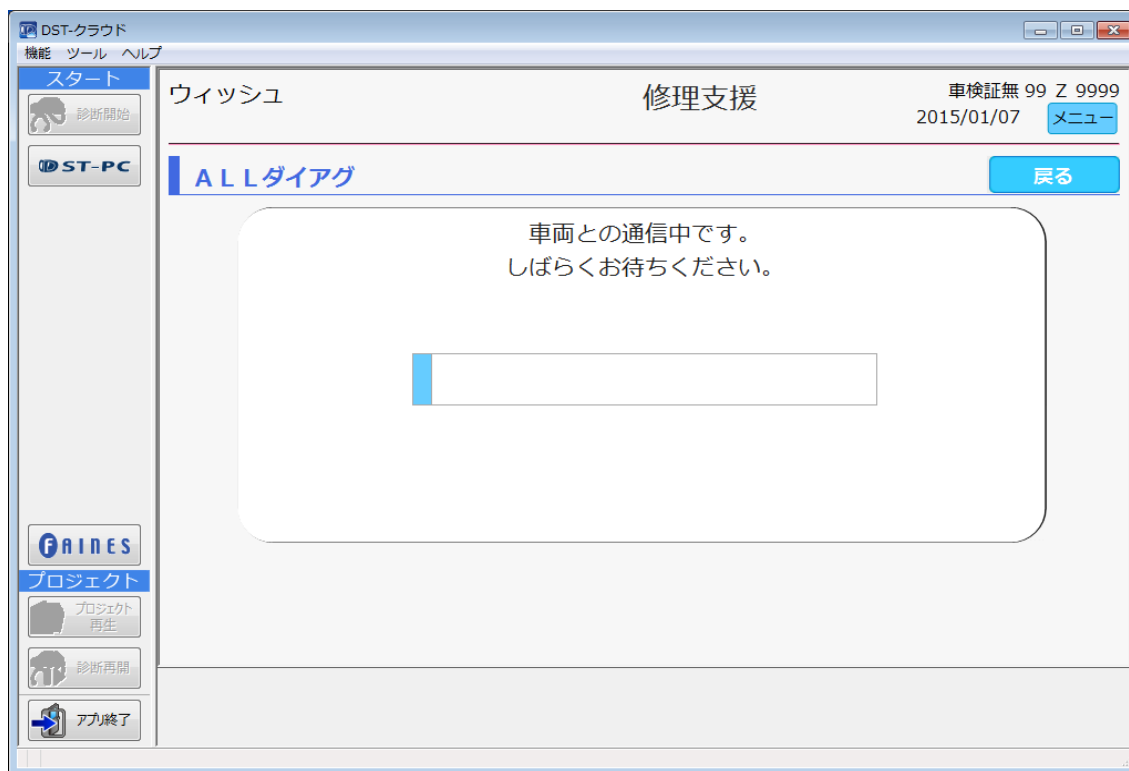
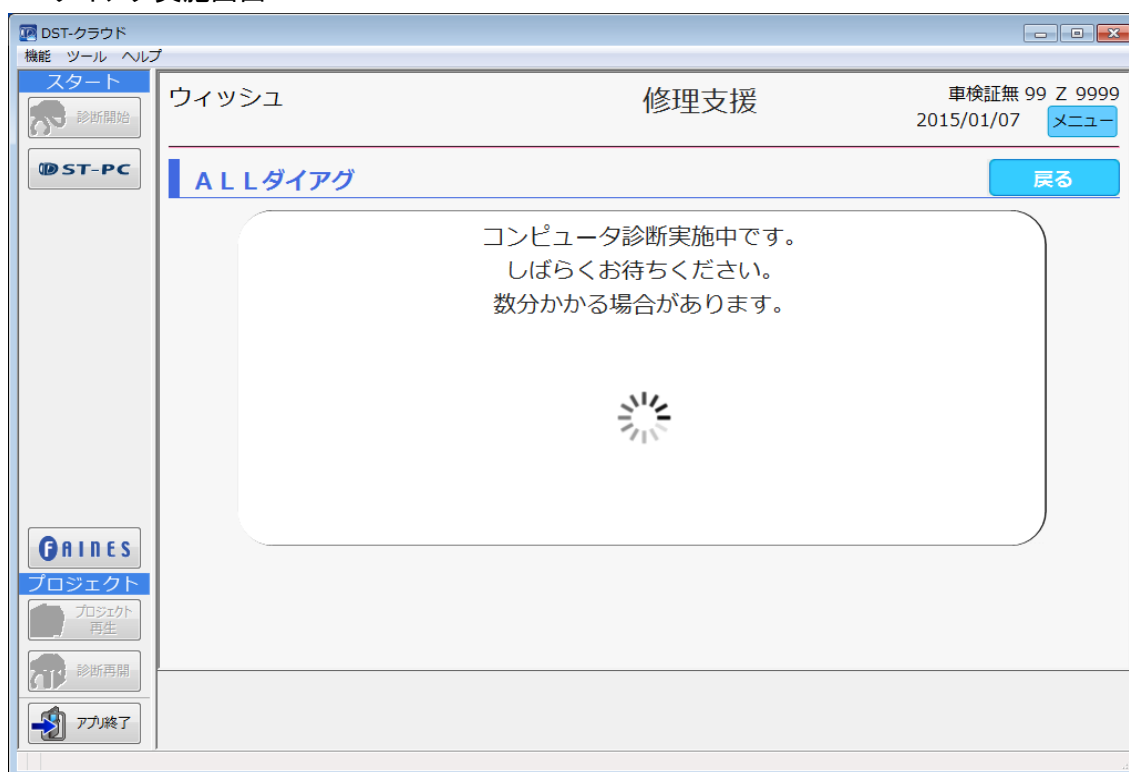
● ALLダイアグ画面で「ALLダイアグ」をクリックします。
　ALLダイアグ実施確認画面が表示されます。

ALLダイアグ実施確認画面

●ALLダイアグ実施確認画面で「再取得する」を選択した後、「OK」をクリックします。
取得準備画面が表示されます。

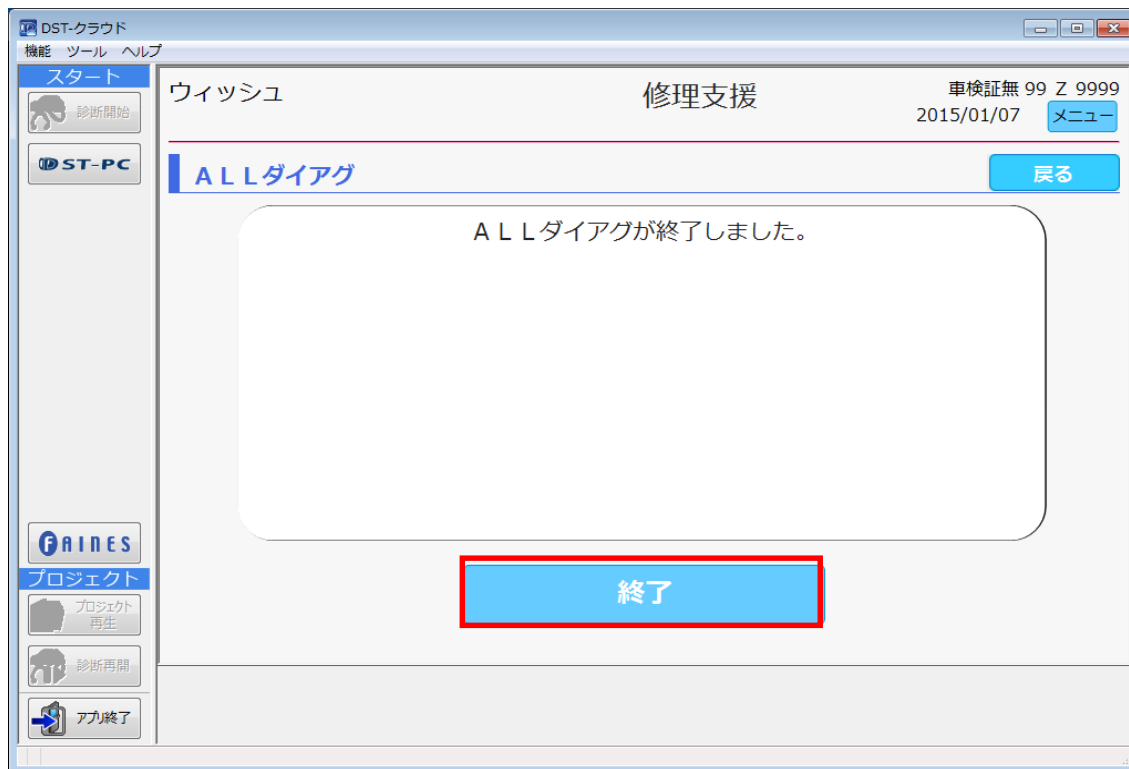
ポイント

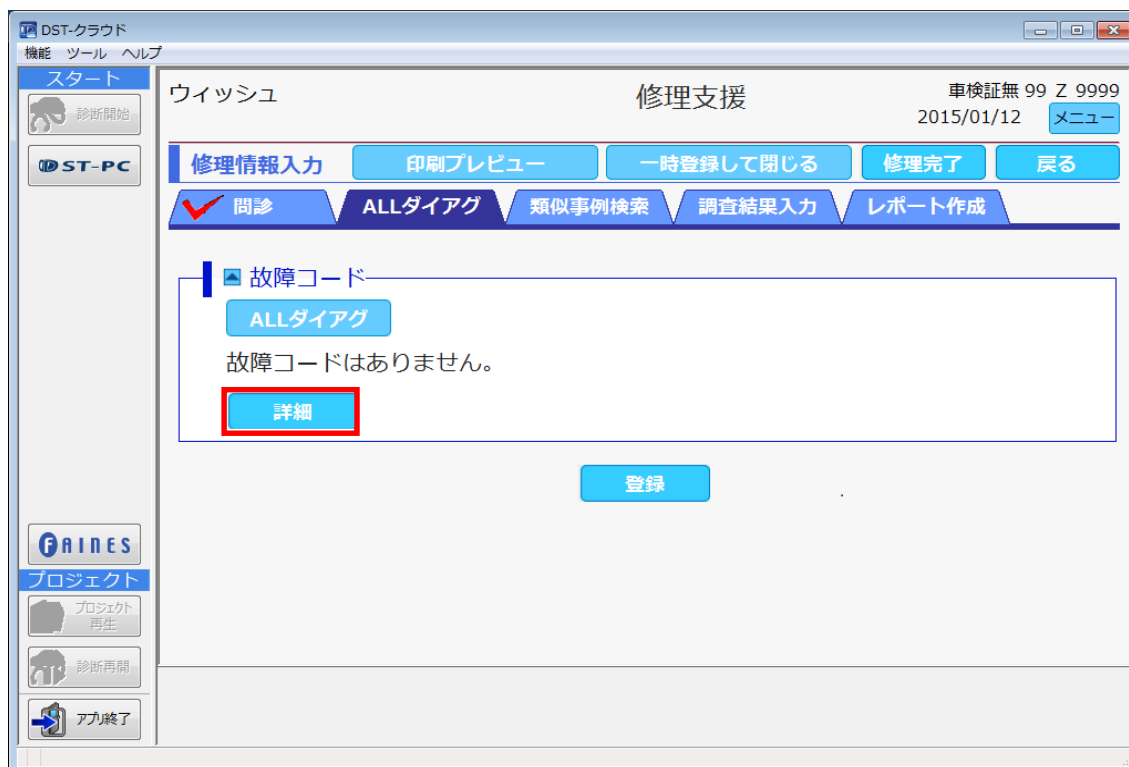
・「取得済みデータを利用する」を選択すると、ALLダイアグを実施せずに作業を進めることができます。
「OK」をクリックした後、ALLダイアグ実施後画面が表示されます。
利用できるデータは、当日取得したデータに限られます。

取得準備画面

●取得準備画面で「開始」をクリックします。
通信中画面が表示されます。画面が切り替わるまで、しばらくお待ちください。

通信中画面

ALLダイアグ実施画面が表示されます。画面が切り替わるまで、しばらくお待ちください。

ALLダイアグ実施画面

ALLダイアグ終了画面が表示されます。

ALLダイアグ終了画面

● ALLダイアグ終了画面で「終了」をクリックします。
　ALLダイアグ実施後画面が表示されます。

ALLダイアグ実施後画面

ポイント

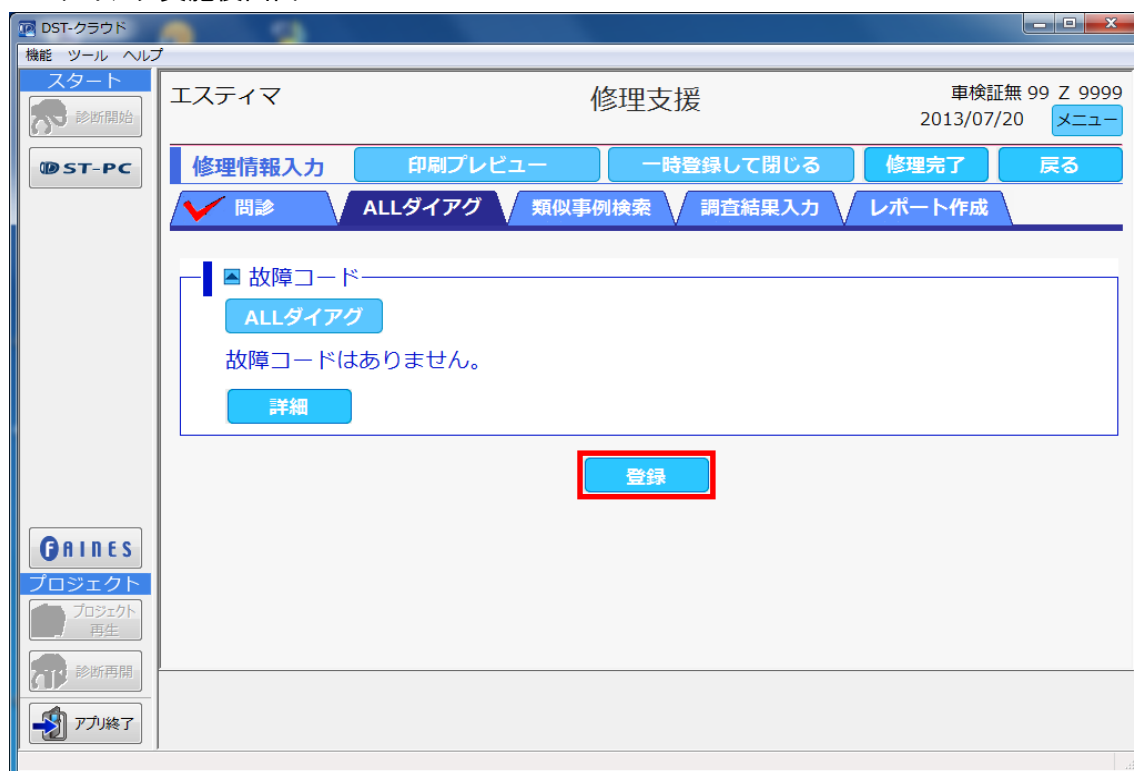
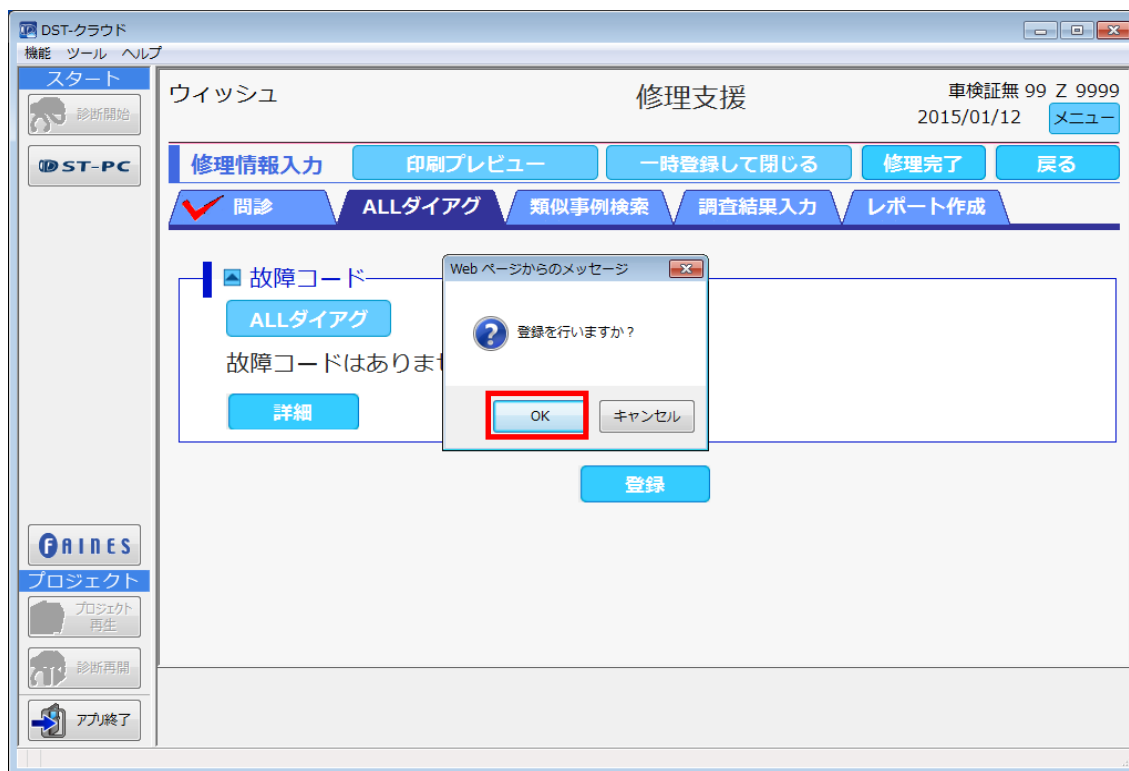
・ALLダイアグ実施後画面に故障コードが表示されていて、表内の故障コードにリンクが貼ってある場合（故障コードが青文字で下線が付いている状態）、故障コードをクリックすると、簡易点検手順書を表示することができます。
操作方法は「簡易点検手順書の表示」を参照してください。

ALLダイアグ実施後画面（故障コードが表示されている場合）

● ALLダイアグ実施後画面で「詳細」をクリックします。
ALLダイアグ結果詳細表示画面が表示されます。

ALLダイアグ結果詳細表示画面

● ALLダイアグ結果詳細表示画面で「戻る」をクリックします。
ALLダイアグ実施後画面に戻ります。

ALLダイアグ実施後画面

● ALLダイアグ実施後画面で「登録」をクリックします。
登録確認画面が表示されます。

登録確認画面

● 登録確認画面で「OK」をクリックします。
ALLダイアグ実施後画面が表示されます。

ポイント
- 登録が完了すると、「ALLダイアグ」タブにレ点が表示されます。
  レ点は作業が完了したことを示します。

ALLダイアグ実施後画面

簡易点検手順書の表示

簡易点検手順書を表示します。パソコンにPDFファイルを保存することもできます。

ALLダイアグ実施後画面（故障コードが表示されている場合）

●ALLダイアグ実施後画面で故障コード表内のリンクの貼られた故障コードをクリックします。
該当故障コードの簡易点検手順書ファイルのダウンロード画面が表示されます。
（簡易点検手順書が用意されている故障コードは限られております、ご了承ください。）

ファイルのダウンロード画面

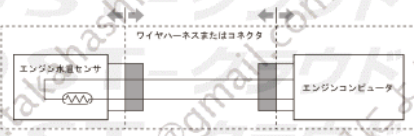
●ファイルのダウンロード画面で「開く」をクリックします。
簡易点検手順書表示画面が表示されます。

ポイント

・「保存」をクリックすると、簡易点検手順書のPDFファイルをパソコンに保存することができます。

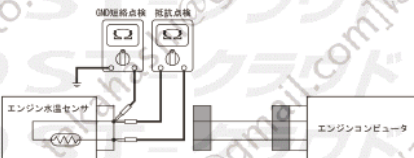
簡易点検手順書表示画面

Simpleinspection[1].pdf (保護) - Adobe Acrobat Pro

ファイル(F)　編集(E)　表示(V)　ウィンドウ(W)　ヘルプ(H)

※　記載の内容は故障診断の考え方を示したものであり、実際の作業手順とは異なります。
記載の作業手順に従って修理を行った場合に生じた損害について、いかなる責任も負いかねます。
作業手順の詳細は、車両メーカの修理書をご確認ください。

P0118：エンジン水温センサ 1 系統電圧高い

DTC 検出条件概要	点検部位
エンジン水温センサの抵抗値が、規定値以上（断線）	・ エンジン水温センサ ・ ワイヤハーネスまたはコネクタ ・ エンジンコンピュータ

不具合箇所の絞り込み方法

・　センサ単体⇒ワイヤハーネス⇒エンジンコンピュータの順に点検を行い、不具合箇所を絞り込む。

点検手順

手順 1. エンジン水温センサ単体点検

1)　エンジン水温センサの抵抗点検（参考値：規定値範囲内）

NG：エンジン水温センサの不具合

2)　エンジン水温センサの短絡点検（参考値：導通なし）

NG：エンジン水温センサの不具合

7-4. 類似事例の検索

車両情報や症状などのキーワードから、類似した修理事例をウェブサーバーの登録データから検索します。
修理内容を参考にすることができます。

ALLダイアグ実施後画面

● ALLダイアグ実施後画面で「類似事例検索」タブをクリックします。
　類似事例検索画面が表示されます。

類似事例検索画面

ポイント
・ デフォルトでは修理中車両の車両情報や問診情報が入力されています。

● 類似事例検索画面で検索条件を選択した後、「検索」をクリックします。
検索結果および不具合可能性箇所（主原因部品）が表示されます。

ポイント

・「検索」をクリックすると、「類似事例検索」タブにレ点が表示されます。

類似事例検索画面（検索後）

ポイント

・類似事例検索画面に不具合可能性箇所（主原因部品）が表示されていて、表内の部品名称にリンクが貼ってある場合（部品名称が青文字で下線が付いている状態）、部品名称をクリックすると、製品解説書を表示することができます。
操作方法は「製品解説書の表示」を参照してください。

類似事例検索画面（不具合可能性箇所が表示されている場合）

初度登録年月	車名	主原因部品	症状	詳細症状
平成25年09月	エスティマ	エバポレータ	その他	異臭
平成21年06月	エスティマ	ボデーコンピュータ	パワーウィンドウ作動不良	動かない
平成20年07月	エスティマ	コンビネーションメータ	メータ作動不良	その他（チェックエンジンランプ点灯）
平成20年03月	エスティマ	コンプレッサ	風は出るが、冷たくない	風は出るが、冷たくない
平成19年09月	エスティマ	地デジチューナ	その他	TVの映像出ない
平成19年08月	エスティマ	パワースライドドアスイッチ	パワースライドドア作動不良	動かない
平成19年03月	エスティマ	ワイヤーハーネス・コネクタ	ライティング作動不良（内装）	ルームランプ作動不良
			その他	ヒューズが飛ぶ

●類似事例検索画面で追加キーワードを入力した後、「検索」をクリックします。
検索結果および不具合可能性箇所（主原因部品）がキーワードで絞り込まれた状態で表示されます。

類似事例検索画面（追加キーワード検索後）

● 類似事例検索画面で参照したい修理事例が表示されている行をクリックします。
ファイルのダウンロード画面が表示されます。

ファイルのダウンロード画面

● ファイルのダウンロード画面で「開く」をクリックします。
修理事例表示画面が表示されます。

ポイント

・「保存」をクリックすると、修理事例のPDFファイルをパソコンに保存することができます。

修理事例表示画面

ポイント

・ 修理事例を参考にして修理を実施してください。

製品解説書の表示

製品解説書を表示します。パソコンにPDFファイルを保存することもできます。

類似事例検索画面（不具合可能性箇所が表示されている場合）

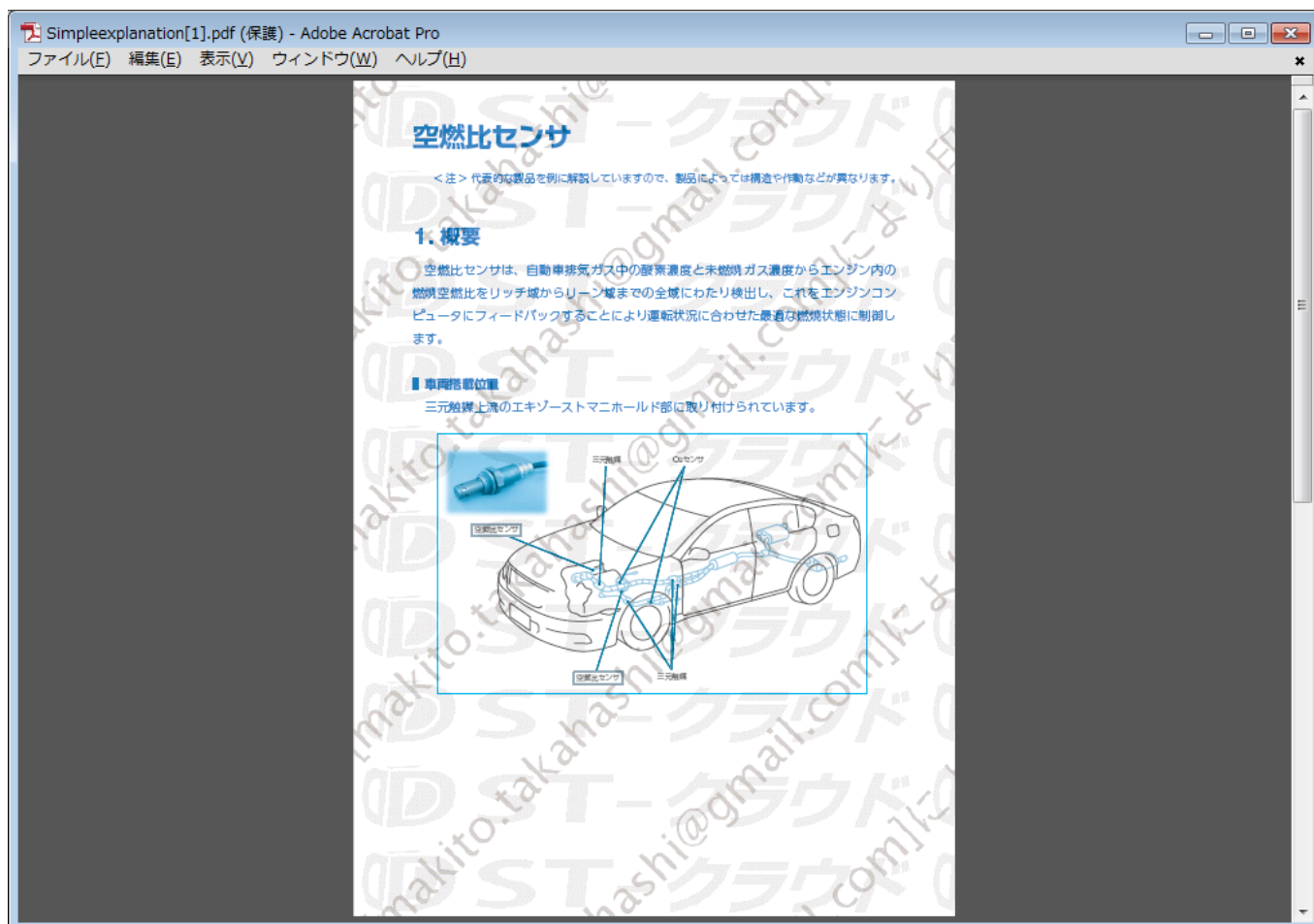
● 類似事例検索画面で不具合可能性箇所（主原因部品）表内のリンクの貼られた部品名称をクリックします。
該当部品の製品解説書ファイルのダウンロード画面が表示されます。
（製品解説書が用意されている部品は限られております、ご了承ください。）

ファイルのダウンロード画面

● ファイルのダウンロード画面で「開く」をクリックします。
製品解説書表示画面が表示されます。

ポイント
・「保存」をクリックすると、製品解説書のPDFファイルをパソコンに保存することができます。

製品解説書表示画面

Simpleexplanation[1].pdf (保護) - Adobe Acrobat Pro
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
空燃比センサ
＜注＞代表的な製品を例に解説していますので、製品によっては構造や作動などが異なります。
1. 概要
空燃比センサは、自動車排気ガス中の酸素濃度と未燃焼ガス濃度からエンジン内の燃焼空燃比をリッチ域からリーン域までの全域にわたり検出し、これをエンジンコンピュータにフィードバックすることにより運転状況に合わせた最適な燃焼状態に制御します。
車両搭載位置
三元触媒上流のエキゾーストマニホールド部に取り付けられています。

7-5. 調査結果情報の入力

修理時の調査結果を入力します。

類似事例検索画面

● 類似事例検索画面で「調査結果入力」タブをクリックします。
　調査結果入力画面が表示されます。

調査結果入力画面

● 調査結果入力画面で調査内容の調査結果入力欄をクリックし、入力カーソルが表示された後、調査結果を入力します。

ポイント

・ 入力欄が足りない場合は、「ステップ追加」をクリックして入力欄の行を追加してください。

調査結果入力画面

● 調査結果入力画面で修理内容の「修理せず」または「修理実施」のどちらかを選択します。
● 修理内容を選択した後、修理内容入力欄をクリックし、入力カーソルが表示された後、修理内容のコメントを入力します。

調査結果入力画面

● 調査結果入力画面で主原因部品の「主原因部品を選択」または「原因不明」のどちらかを選択します。
「主原因部品を選択」を選択した場合は、製品区分をプルダウンから選択します。

● 調査結果入力画面で主原因部品の「選択」をクリックします。
部品選択画面が表示されます。

部品選択画面

エンジン機械部品		
PCVバルブ	エンジン本体	タイミングチェーン･ベルト
リングギア		
吸気系部品		
アイドル回転制御バルブ	エアクリーナー	スロットルボディ（センサ含まず）
スワールコントロールバルブ	バルブタイミング可変機構（吸気側）	吸気管長制御バルブ
燃料系部品		
インジェクタドライバ	キャニスター	パージコントロールバルブ
フューエルインジェクタ	フューエルフィルタ	フューエルポンプ（高圧）
フューエルポンプ（低圧）	フューエルポンプコントローラ・リレー	フューエルレイル・デリバリパイプ
プレッシャーレギュレータ		
排気系部品		
EGRクーラー	EGRバルブ	エアーポンプ
バルブタイミング可変機構（排気側）	触媒コンバータ	
点火系部品		
イグナイタ	イグニッションコイル(イグナイター内蔵を含む)	スパークプラグ
ディストリビュータ		
エンジン冷却部品		
ウォータポンプ	エンジン冷却ファン	サーモスタット
ラジエータ		

● 部品選択画面で主原因部品が表示されている行をクリックします。
調査結果入力画面に選択した主原因部品が表示されます。

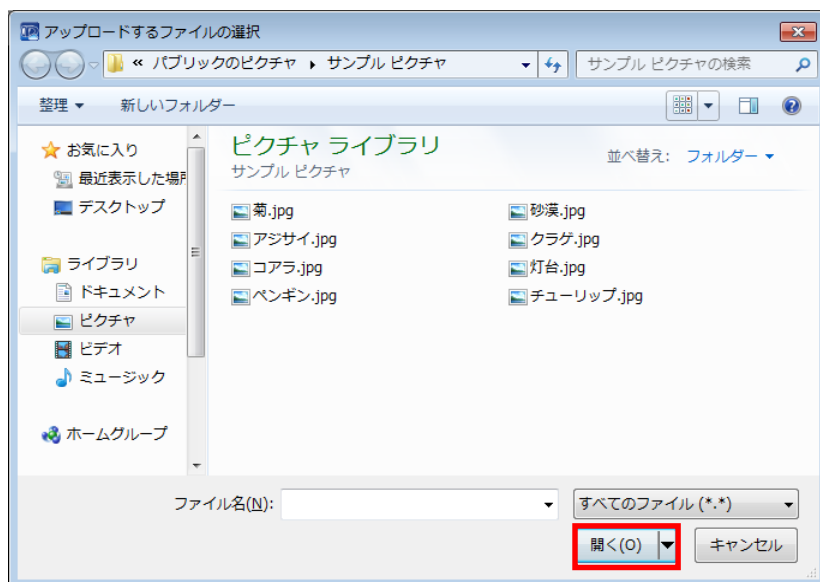
調査結果入力画面（部品選択後）

ポイント

・ その他に必要な情報がある場合は、備考の入力欄に情報を入力してください。

調査結果入力画面

● 調査結果入力画面で画像アップロードの「参照」をクリックします。
画像選択画面が表示されます。

画像選択画面

● 画像選択画面で画像ファイルを選択した後、「開く」をクリックします。
　調査結果入力画面に選択した画像が表示されます。

ポイント

- 修理時に撮影した画像を表示するなど、お客様への説明にご活用ください。
- 画像のファイル形式はJPEG、BMPに対応しています。
- アップロード可能なファイルのサイズは、画像1枚あたり10Mバイトまでになります。
- ひとつのレポートに貼り付けられる画像は3枚までです。
- 表示可能な画像のサイズは、横500×縦100ピクセル以下になります。
  画像サイズが大きい場合は、Windows標準アプリケーションの「ペイント」などを使って画像サイズを調整してください。

調査結果入力画面（画像選択後）

● 調査結果入力画面で調査結果を入力した後、「登録」をクリックします。
　登録確認画面が表示されます。

登録確認画面

● 登録確認画面で「OK」をクリックします。
調査結果入力画面に登録完了メッセージが表示されます。

ポイント
・ 登録が完了すると、「調査結果入力」タブにレ点が表示されます。
レ点は作業が完了したことを示します。

調査結果入力画面

7-6. レポートの表示設定

レポートに表示する項目を設定します。

調査結果入力画面

● 調査結果入力画面で「レポート作成」タブをクリックします。
　表示設定画面が表示されます。

表示設定画面

● 表示設定画面でレポートに表示する項目にはレ点を付け、表示しない項目からはレ点を外します。

表示設定画面

● 表示設定画面で表示設定が完了した後、「登録」をクリックします。
　登録確認画面が表示されます。

登録確認画面

● 登録確認画面で「OK」をクリックします。
　表示設定画面に登録完了メッセージが表示されます。

ポイント
・ 登録が完了すると、「レポート作成」タブにレ点が表示されます。
　レ点は作業が完了したことを示します。

表示設定画面

7-7. 修理結果の確認と登録

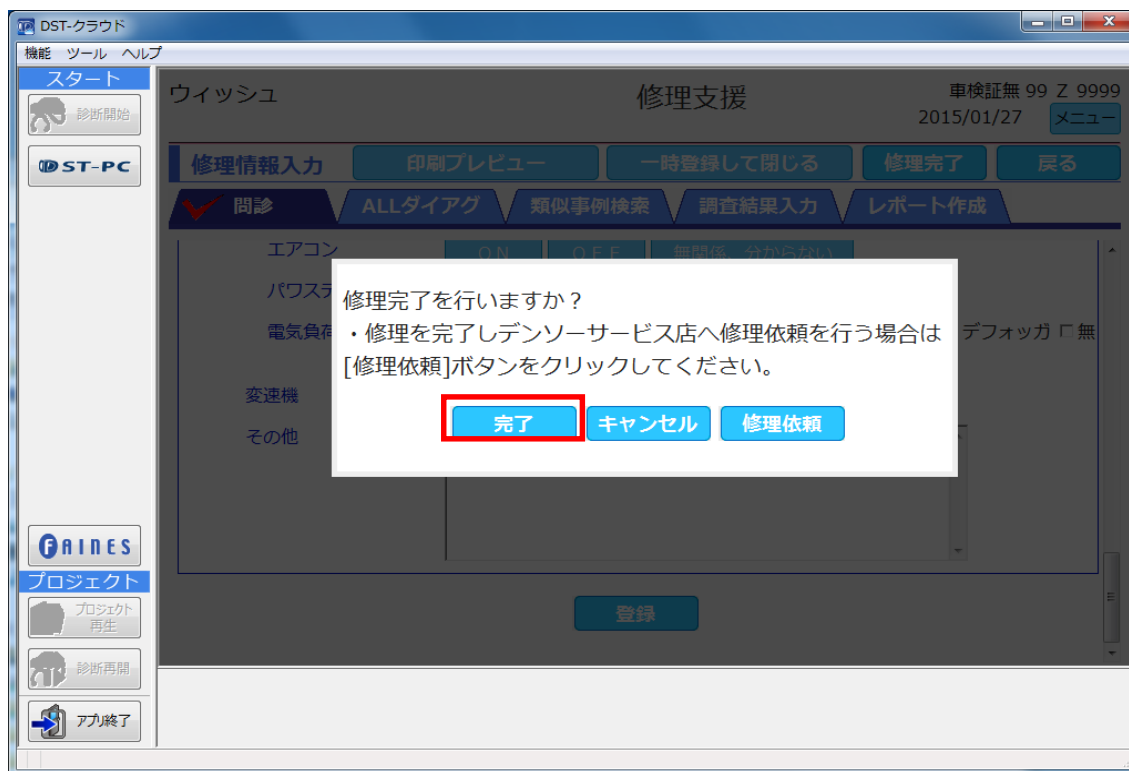
修理の結果を確認して、データをウェブサーバーへ登録します。

表示設定画面

ポイント

・レポートを表示して確認することができます。
　操作方法は「レポートを表示して確認する場合」を参照してください。

● 問診入力画面から表示設定画面までの内容確認が完了した後、「修理完了」をクリックします。
修理完了確認画面が表示されます。

修理完了確認画面

● 修理完了確認画面で「完了」をクリックします。
　メインメニュー画面が表示されます。

ポイント

・ 修理完了確認画面で「修理依頼」をクリックすると、デンソーサービスステーション検索画面が表示されます。
　操作方法は「8-3-3 修理依頼」を参照してください。

メインメニュー画面

レポートを表示して確認する場合

修理レポートを表示します。パソコンにPDFファイルを保存することもできます。

表示設定画面

● 表示設定画面で「印刷プレビュー」をクリックします。
　確認画面が表示されます。

確認画面

● 確認画面で「OK」をクリックします。
　ファイルのダウンロード画面が表示されます。

ファイルのダウンロード画面

● ファイルのダウンロード画面で「開く」をクリックします。
　レポート表示画面が表示されます。

ポイント

・「保存」をクリックすると、レポートのPDFファイルをパソコンに保存することができます。

レポート表示画面

RepairReport[0000023218].pdf - Adobe Reader

ファイル(F)　編集(E)　表示(V)　ウィンドウ(W)　ヘルプ(H)

このドキュメントにはフォームフィールドが含まれています。このフォームに入力したデータは保存できません。記録を残したい場合は、入力済みのフォームを印刷してください。　既存のフィールドをハイライト表示

修理レポート

No.　0000023218

入庫日　2015/01/13

お客様	お客様名		ご連絡先				
	様		TEL		FAX		
車両	車名	ウィッシュ	初度登録年月	未登録年99月	車台番号	XXXX-XXXX5	
	登録番号	車検証無 99 Z 9999	原動機の型式	1ZZ	走行距離	12,000km	
問診	主な症状：アイドル不調 詳細：アイドル回転数が高い 他の症状：加速が悪い						
調査内容	ステップ1： XXXXX ステップ2： XXXXX						

ポイント

・ご連絡先の「TEL」と「FAX」は、PDFファイル上で入力して印刷することができます。
　ただし、DST-クラウドのサーバには入力内容は保存されません。
・印刷方法については、PDFファイルを閲覧しているアプリケーションの取扱説明書などを参照してください。
　プリンターの設定方法については、ご使用になる製品の取扱説明書などを参照してください。

8. カルテ管理

「車両健康診断」、「電子点検簿」、「修理支援」の作業でウェブサーバーに保管したデータを確認します。
「車両健康診断」、「電子点検簿」、「修理支援」のデータは、保管先のURLをQRコードとして
お客様へお渡しすることができます。
また、自社での対応が難しい案件がある場合、修理支援で作成したカルテをデンソーサービスステーションに
送付することで、修理依頼の申請を行うことができます。
修理案件に関する相談や、修理作業を依頼したい時にご活用ください。

ポイント
・ 当機能を使用する際は、車両との接続は必要ありません。
　インターネット環境に接続されていれば、いつでも使用することができます。

8-1. 参照するデータの選択

ウェブサーバーに保管されているデータから参照するデータを選択します。

メインメニュー画面

● メインメニュー画面で「カルテ管理」をクリックします。
　カルテ管理画面が表示されます。

カルテ管理画面

●カルテ管理画面で「カルテ情報」をクリックします。
車両検索画面が表示されます。

ポイント

・ 車両一覧には「最近使った車両」が表示されます。
・ ウェブサーバーに登録されている車両を検索条件で絞り込んで検索することができます。
操作方法は「車両検索方法」を参照してください。

車両検索画面

● 車両検索画面でデータを参照したい車両情報が表示されている行をクリックします。
データ検索画面が表示されます。

ポイント
- カルテ一覧には作成日時が新しいものから、上から順番に表示されます。
- ウェブサーバーに保管されているデータを検索条件で絞り込んで検索することができます。
  操作方法は「データ検索方法」を参照してください。

データ検索画面

●データ検索画面で参照したいデータ情報の左側の「選択」をクリックします。
選択したデータの画面が表示されます。

ポイント

・ウェブサーバーに登録されているデータをお客様に開示することができます。
ウェブサーバーのデータ保管先にアクセスする為のURLをQRコードとしてお渡しすることができます。
操作方法は「お客様へのデータ開示方法」を参照してください。

選択したデータの画面（「車両健康診断」のデータを選択した場合）

ポイント

・以降の操作方法は「8-2. 各種データの確認とレポートの作成」を参照してください。

車両検索方法

車両検索画面でウェブサーバーに登録されている車両情報から車両を検索します。

車両検索画面

● 車両検索画面で検索条件を入力して①「検索」をクリックします。
　条件検索した車両一覧が表示されます。

車両検索画面(条件検索した車両一覧)

● 車両検索画面で②「最近使った車両」をクリックします。
最近使った車両一覧が表示されます。

車両検索画面(最近使った車両一覧)

データ検索方法

データ検索画面でウェブサーバーに保管されている各種データから参照するデータを検索します。

データ検索画面

● データ検索画面で検索条件をプルダウンから選択して「検索」をクリックします。
条件検索したカルテ一覧が表示されます。

データ検索画面（条件検索したカルテ一覧）

お客様へのデータ開示方法

ウェブサーバーに保管されている「車両健康診断」、「電子点検簿」、「修理支援」のデータを
お客様へ開示する為のQRコードを発行します。

ポイント
・スマートフォンで閲覧される場合、ブラウザによっては閲覧できない場合があります。
　現在確認ができているブラウザは、以下になります。
　◆Safari（iOS）
　◆Google Chrome（アンドロイドOS）

データ検索画面

●データ検索画面でお客様に開示するデータの右側にレ点を付けた後、「お客様開示」をクリックします。
　ファイルのダウンロード画面が表示されます。

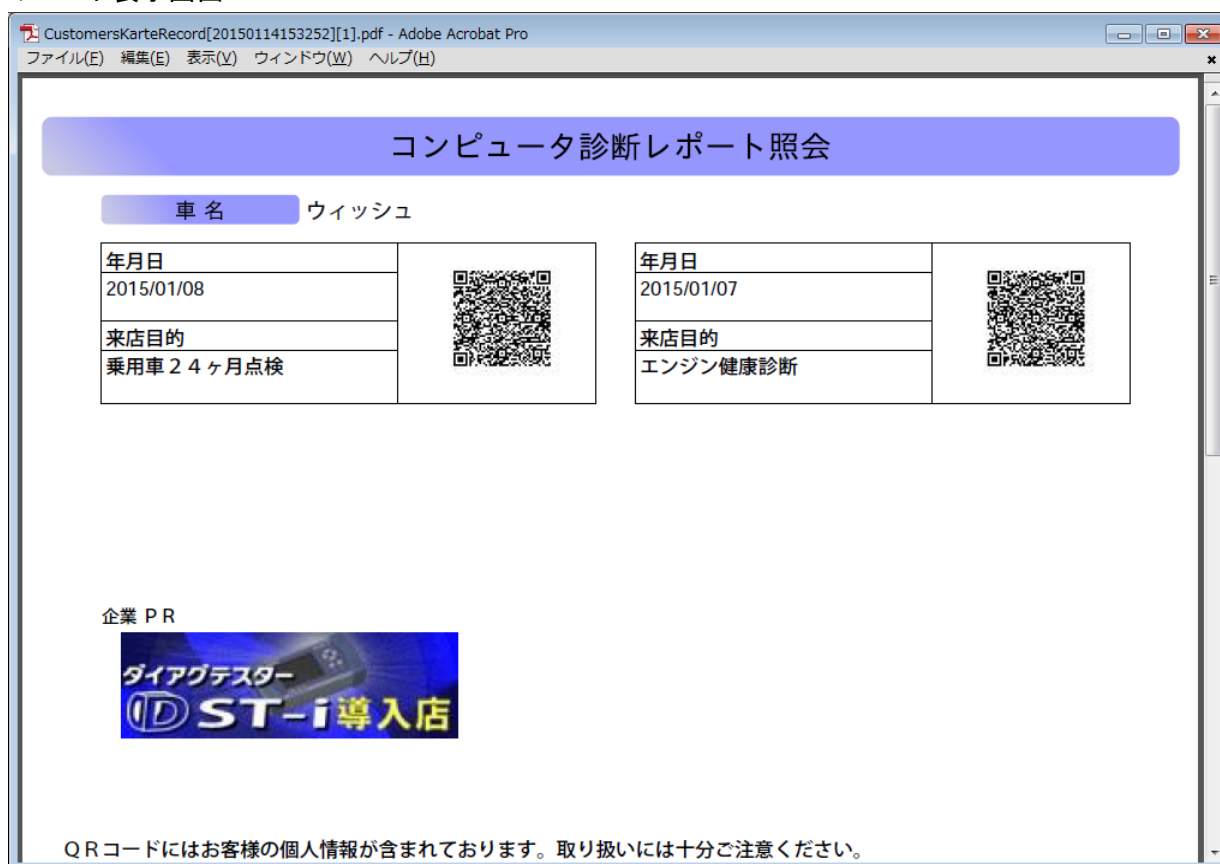
ポイント
・複数のデータにレ点を付けることができます。
　その場合はQRコードも選択した数だけ発行されます。

ファイルのダウンロード画面

● ファイルのダウンロード画面で「開く」をクリックします。
QRコード表示画面が表示されます。

ポイント

・「保存」をクリックすると、レポート照会のPDFファイルをパソコンに保存することができます。

QRコード表示画面

ポイント

・QRコード表示画面を印刷して、お客様へお渡しください。
印刷方法については、PDFファイルを閲覧しているアプリケーションの取扱説明書などを参照してください。
プリンターの設定方法については、ご使用になる製品の取扱説明書などを参照してください。

レポート照会方法

ウェブサーバーに保管されている「車両健康診断」のデータを閲覧します。

ポイント

- ブラウザの設定でポップアップブロックが設定されている場合は閲覧できませんので、設定を解除してください。
- スマートフォンで閲覧される場合、ブラウザによっては閲覧できない場合があります。
  現在確認ができているブラウザは、以下になります。
  ◆Safari（iOS）
  ◆Google Chrome（アンドロイドOS）

● QRコードのサイトへアクセスします。
認証コード入力画面が表示されます。

認証コード入力画面

● 認証コード入力画面で認証コードを入力して「送信」をクリックします。

ポイント

- 認証コードは、お客様車両のナンバープレートの4桁の番号になります。
- 以降の操作は画面の指示に従ってください。

8-2. 各種データの確認とレポートの作成

参照するデータを確認し、レポートを表示または出力（印刷、保存）します。

データ検索画面

● データ検索画面で参照したいデータ情報の左側の「選択」をクリックします。
　選択したデータの画面が表示されます。

車両健康診断のデータを選択した場合

車両健康診断のデータ表示画面

ポイント

- 情報名（車両情報、実施情報など）の左側のボタンをクリックすると、表示／非表示を切り替えることができます。
  表示状態では矢印が上向きとなり、非表示状態では矢印が下向きとなります。
- 「お客様向けレポート」または「メカニック向けレポート」をクリックすると、各種レポートを表示したり、出力（印刷、保存）することができます。
  操作方法は「5. 車両の健康診断」の「5-4. 診断結果の確認と登録」の「レポートを表示して確認する場合」を参照してください。
- 「戻る」をクリックすると、データ検索画面に戻ります。

車両健康診断のデータ表示画面

ポイント

・「詳細」をクリックすると、ALLダイアグ結果詳細表示画面が表示されます。

ALLダイアグ結果詳細表示画面

ポイント

・「戻る」をクリックすると、車両健康診断のデータ表示画面に戻ります。

車両健康診断のデータ表示画面

ポイント

・「戻る」をクリックすると、データ検索画面に戻ります。

12ヶ月点検または24ヶ月点検のデータを選択した場合

12ヶ月点検のデータ表示画面

24ヶ月点検のデータ表示画面

ポイント

- タブをクリックすると、画面表示が切り替わります。
- 情報名（車両情報、点検日など）の左側のボタンをクリックすると、表示／非表示を切り替えることができます。
  表示状態では矢印が上向きとなり、非表示状態では矢印が下向きとなります。
- 「印刷プレビュー」をクリックすると、レポート（点検整備記録簿）を表示したり、出力（印刷、保存）することができます。操作方法は「6. 電子点検簿による定期点検」の「6-4. 点検結果情報の入力と登録」の「レポートを表示して確認する場合」を参照してください。
- 「戻る」をクリックすると、データ検索画面に戻ります。

修理支援のデータを選択した場合

修理支援のデータ表示画面

ポイント

- タブをクリックすると、画面表示が切り替わります。
- 情報名（お客様名、車両情報など）の左側のボタンをクリックすると、表示／非表示を切り替えることができます。
  表示状態では矢印が上向きとなり、非表示状態では矢印が下向きとなります。
- 車両情報の「詳細」をクリックすると、車両情報の詳細が表示されます。
- 「印刷プレビュー」をクリックすると、レポート（点検整備記録簿）を表示したり、出力（印刷、保存）することができます。操作方法は「7. 修理支援サービスの活用」の「7-7. 修理結果の確認と登録」の「レポートを表示して確認する場合」を参照してください。
- 「戻る」をクリックすると、データ検索画面に戻ります。

8-3. 修理依頼の申請・受領

自社での対応が難しい案件について、修理支援機能で作成したカルテをデンソーサービスステーション（以下修理依頼先）に送付することで、修理を依頼する機能です。

ポイント

・ 修理依頼先で発生する作業に関して、弊社では料金の取り決めはしておりません。
修理を依頼する際に、必ず修理依頼先と相談してください。

8-3-1. 作業の流れ

8-3-2. 事前準備

修理依頼をするには、事前に自社情報が登録されている必要があります。
「3. 自社情報管理」を参照して、自社情報を登録してください。

ポイント

- 「会社名」「店舗名」「電話番号」が修理依頼をする時の「修理依頼元」として修理依頼先に連絡されます。
  また「住所」が修理依頼先を検索する時の自社の現住所として使用されます。
- 修理依頼が回答されると「ログイン情報に登録されているメールアドレス」にメールが届きます。

自社情報入力画面

ポイント

- 自社情報入力画面で登録された「会社名」「店舗名」「住所」「電話番号」の情報が、修理依頼時に使用されます。

8-3-3. 修理依頼

修理依頼するカルテやデンソーサービスステーションを選択して、修理を依頼します。

メインメニュー画面

● メインメニュー画面で「カルテ管理」をクリックします。
　カルテ管理画面が表示されます。

カルテ管理画面

● カルテ管理画面で「修理依頼・結果確認」をクリックします。
　車両検索画面が表示されます。

車両検索画面

● 車両検索画面で修理依頼をする車両を検索し、車両情報が表示されている行をクリックします。
車両整備履歴画面が表示されます。

ポイント
・ 車両検索をする時、検索条件にある対象車両の項目は「自社車両」を選択してください。

車両整備履歴画面

● 車両整備履歴画面で修理を依頼したいカルテの行の「申請」をクリックします。
　デンソーサービスステーション検索画面が表示されます。

ポイント

・ 修理依頼をするには、修理支援カルテが修理完了状態となっている必要があります。
　完了状態になってない場合は問診入力画面より修理完了ボタンをクリックして修理完了状態にしてください。
・ 修理支援カルテの作成に関する詳細方法は「7. 修理支援サービスの活用」を参照してください。

デンソーサービスステーション検索画面

● デンソーサービスステーション検索画面で、「現在地からの距離」、「都道府県」、「取り扱い」を指定してデンソーサービスステーションを検索し、修理依頼をしたい店舗が表示されている行をクリックします。
選択した店舗のデンソーサービスステーション情報画面が表示されます。

ポイント

・「地図表示」をクリックすることで、検索結果を地図で表示することができます。

デンソーサービスステーション情報画面

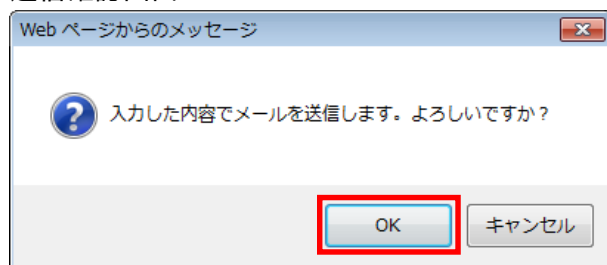
● 選択した店舗の情報を確認します。
この店舗に修理依頼をする場合は「修理依頼先確定」をクリックします。
メール送信画面が表示されます。

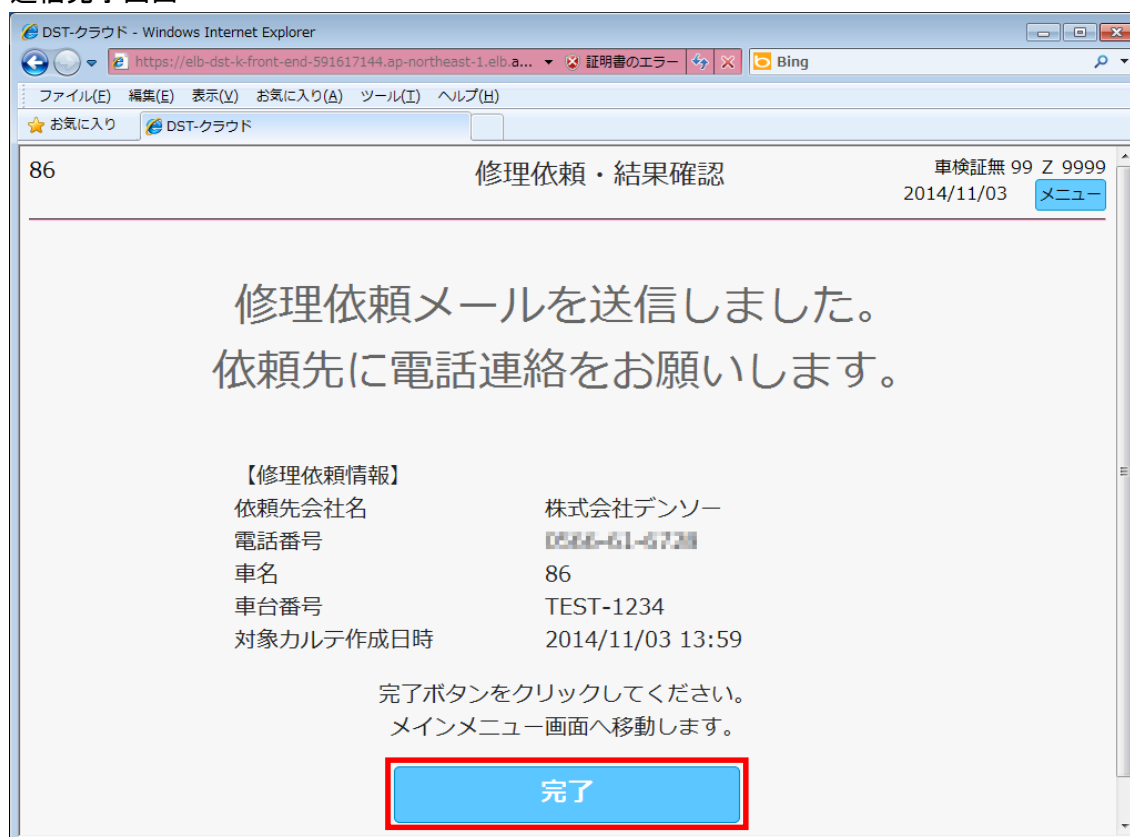
ポイント

・ 別の店舗情報を確認する場合は「戻る」をクリックして、デンソーサービスステーション検索からやり直してください。

メール送信画面

● メール送信画面で修理依頼コメントを記入した後、「依頼メール送信」をクリックします。
送信確認画面が表示されます。

送信確認画面

● 送信確認画面で「OK」をクリックします。
修理依頼先にメールが送信されます。
メール送信完了後、送信完了画面が表示されます。

送信完了画面

ポイント

・ DST−クラウドよりメールが送信されますが、必ず修理依頼先のデンソーサービスステーションへ電話をかけてください。
・ 納期や料金等についてはDST−クラウドの管理対象外です。
これらについては修理依頼先と相談してください。

● 送信完了画面で「完了」をクリックします。
メインメニュー画面が表示されます。

メインメニュー画面

DST-クラウド
機能 ツール ヘルプ
スタート
診断開始
ST-PC
メインメニュー
2015/01/12
メニュー
前回ログイン日時：2015/01/09 13:23:00
車両登録
健康診断
電子点検簿
修理支援
カルテ管理
自社情報
店舗検索
FAINES
プロジェクト
プロジェクト再生
診断再開
アプリ終了

8-3-4. 修理依頼結果の確認

申請した修理依頼が回答されて結果が確認できる状態になると、登録されているメールアドレスに修理完了のメールが届きますので、申請した修理依頼の結果を確認してください。

メインメニュー画面

● メインメニュー画面で「カルテ管理」をクリックします。
　カルテ管理画面が表示されます。

カルテ管理画面

● カルテ管理画面で「修理依頼・結果確認」をクリックします。
　車両検索画面が表示されます。

車両検索画面

● 車両検索画面で修理依頼結果を確認する車両を検索し、車両情報が表示されている行をクリックします。
車両整備履歴画面が表示されます。

ポイント

・ 車両検索をする時、検索条件にある対象車両の項目は「修理結果報告車両」を選択してください。

車両整備履歴画面

● 車両整備履歴画面で、該当するカルテの欄にある「選択」をクリックします。
修理依頼申請先が作成した修理支援カルテが表示されます。

8-3-5. 修理レポートの作成

修理依頼結果のカルテを取り込むことで、新しい修理レポートの作成が可能です。

車両整備履歴画面

● 車両整備履歴画面で、対象カルテの結果欄にチェックを入れ「修理結果取り込み」をクリックします。
　修理依頼結果が修理支援カルテに修理途中状態でコピーされます。

修理支援メニューから、コピーされたカルテを開き、回答の確認・修理レポートの作成を行ってください。
以降の作業は「7. 修理支援サービスの活用」を参照してください。

修理支援画面

修理依頼の取下げ

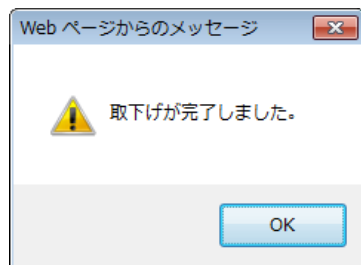
修理依頼の取下げを行うことができます。
取下げを行うと、申請した車両のカルテ情報が修理依頼先から閲覧できない状態になります。

車両整備履歴画面

● 車両整備履歴画面で、修理依頼をしたカルテの欄にある「取下」をクリックします。
取下げ確認画面が表示されます。

取下げ確認画面

● 取下げ確認画面で「OK」をクリックします。
取下げ完了画面が表示されます。

取下げ完了画面

● 取下げ完了画面で「OK」をクリックします。
修理依頼先からカルテ情報が見れない状態になります。
また、修理依頼先に修理依頼が取下げられた旨のメールが送信されます。

9. 店舗検索

お近くのデンソーサービスステーションが検索できます。
診断・修理でお困りの場合の業務依頼などの電話連絡にご活用ください。

メインメニュー画面

● メインメニュー画面で「店舗検索」をクリックします。
　店舗検索画面が表示されます。

店舗検索画面

● 店舗検索画面で「デンソーサービスステーション検索」をクリックします。
　デンソーサービスステーション検索画面が表示されます。

デンソーサービスステーション検索画面

● 「現在地からの距離」、「都道府県」、「取り扱い」を指定して検索をクリックします。
検索条件に該当する店舗が表示されます。

デンソーサービスステーション検索画面

● サービスステーションを検索後に、店舗が表示されている行をクリックします。
選択した店舗のデンソーサービスステーション情報画面が表示されます。

デンソーサービスステーション情報画面

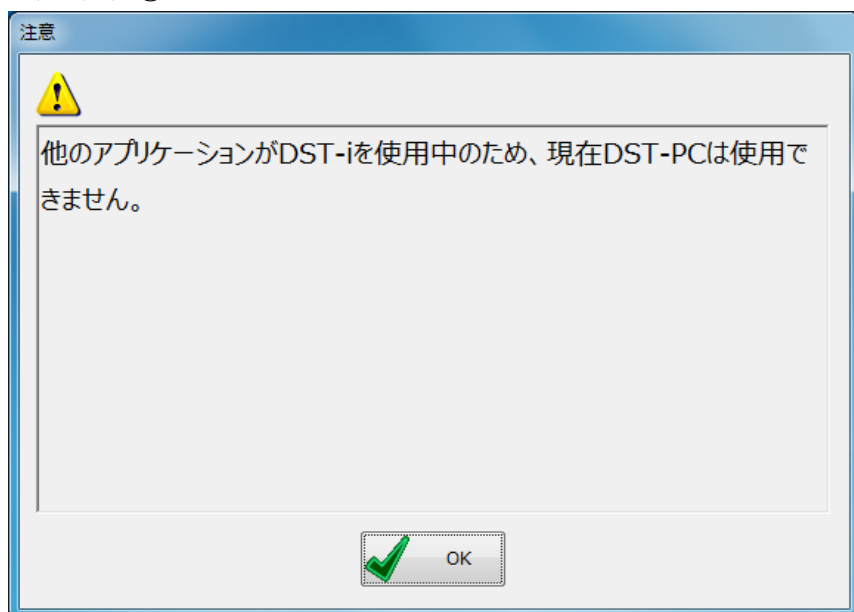
ポイント

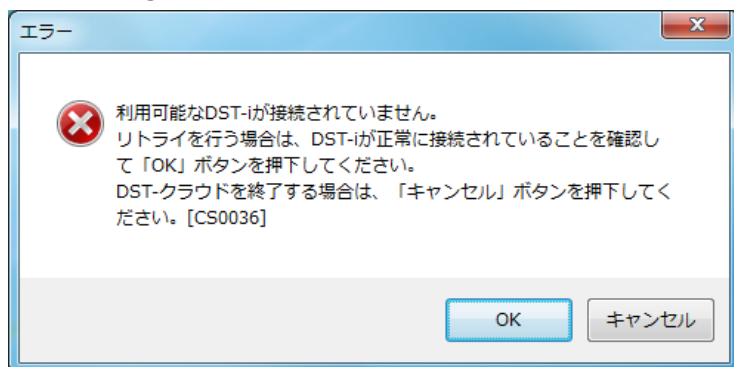
- 別の店舗情報を確認する場合は「戻る」をクリックして、デンソーサービスステーション検索からやり直してください。

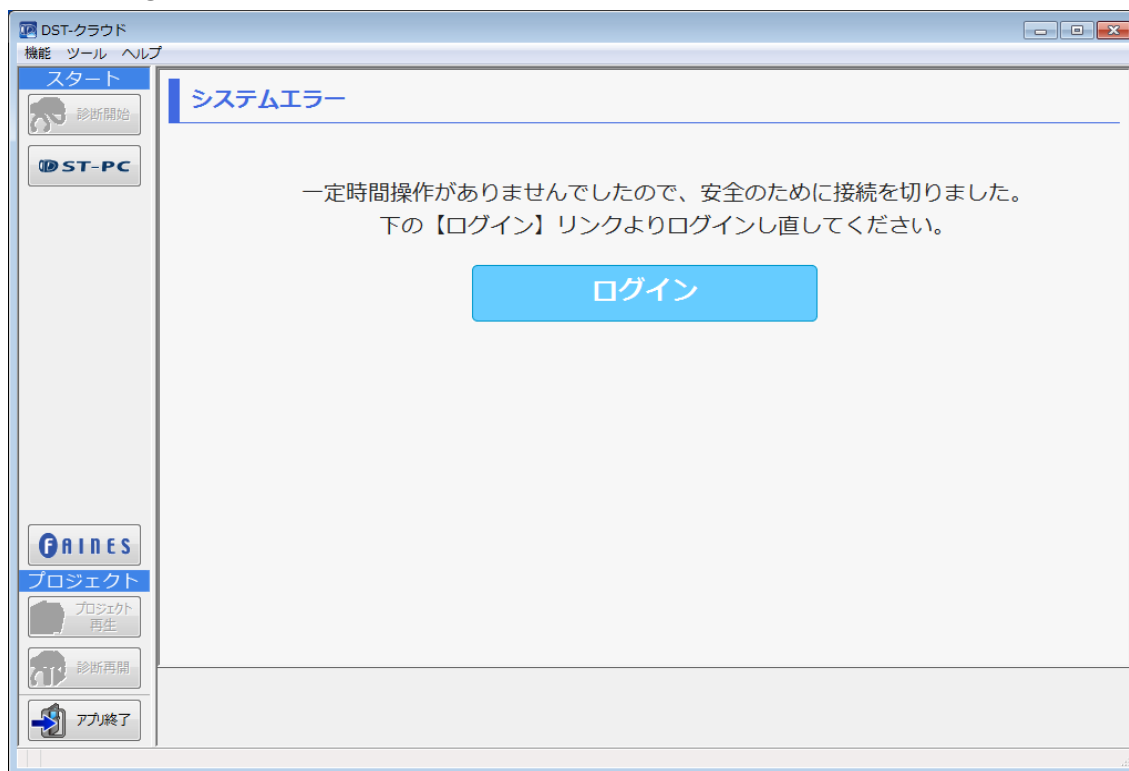
10. エラーが発生したら

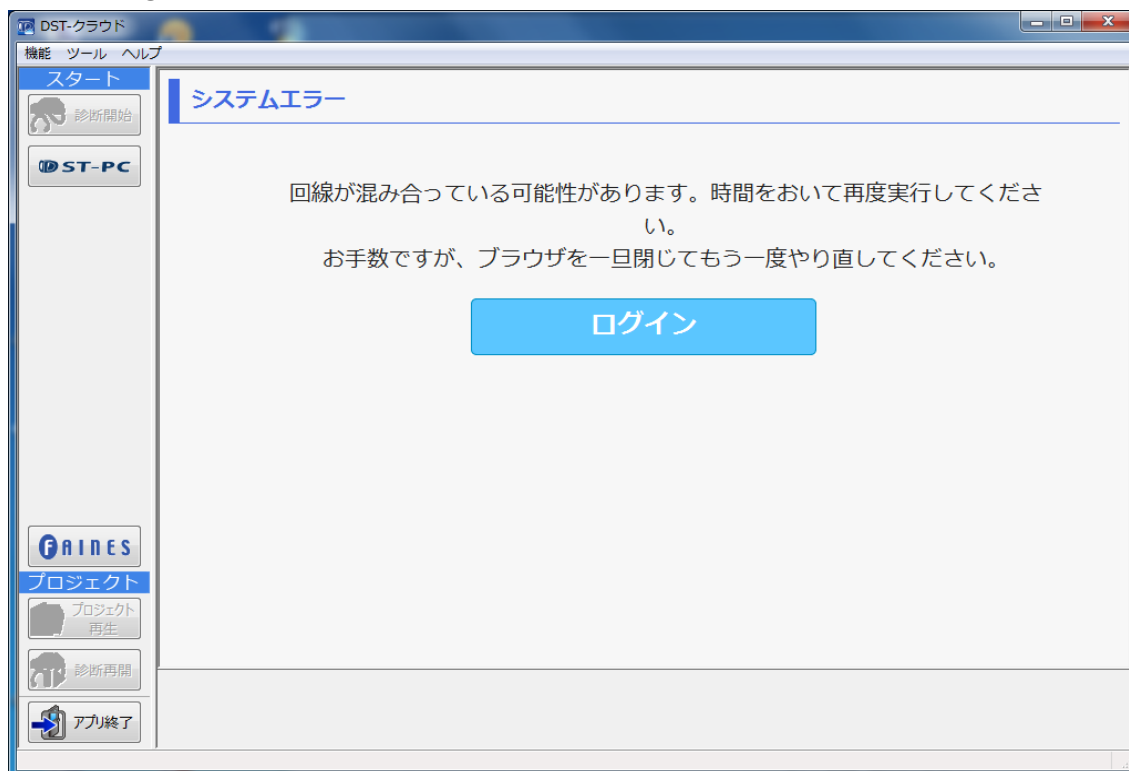
10-1. エラー発生時の対処

システムエラーが発生した場合、エラー画面が表示されます。
以下にエラー画面の一例と対処方法を説明します。

エラー画面①

＜対処方法＞
上記のエラー画面は、DST-クラウドまたはDST-PCを重複して起動した際に表示されます。
DST-PCの起動を中止するか、既に起動しているDST-クラウドまたはDST-PCを終了してから起動し直してください。

エラー画面②

＜対処方法＞
上記のエラー画面は、DST-クラウドまたはDST-PCを起動した際にDST-iが接続されていなかった場合、または認証が完了していないDST-iを接続している場合に表示されます。
認証済みのDST-iを接続してから「OK」をクリックしてください。
DST-iの認証が完了してない場合は「キャンセル」をクリックして、DST-iの認証を行ってください。

エラー画面③

＜対処方法＞
上記のエラー画面は、DST−クラウドの操作をしばらくの間行っていなかった場合に表示されます。
「ログイン」をクリックするとログイン画面が表示されますので、ログインし直してください。

エラー画面④

＜対処方法＞
上記のエラー画面は、インターネットの接続状態に問題がある場合に表示されます。
「ログイン」をクリックするとログイン画面が表示されますので、ログインし直してください。
ログインし直してもエラーが解消されない場合は、一旦アプリケーションを終了してください。
その後、インターネットの接続状態を確認して問題なければDST−クラウドを起動し直してください。

10-2. FAQ

よくある質問と回答を掲載します。

＜①ご購入の検討など製品情報に関するご質問・ご要望＞

①-1	製品カタログを入手したい。	DST-i専用ウェブサイトでご覧いただけます。 http://www.ds3.denso.co.jp/dst-i/manuals.html 「DST-i総合カタログ」右側の「ダウンロード」ボタンをクリックしてください。
①-2	マニュアル（取扱説明書）を入手したい。	DST-i専用ウェブサイトでご覧いただけます。 http://www.ds3.denso.co.jp/dst-i/manuals.html 「DST-クラウド 取扱説明書」右側の「ダウンロード」ボタンをクリックしてください。
①-3	購入費用を見積もって欲しい。	お近くのデンソーセールスへお問い合わせください。 http://www.ds3.denso.co.jp/dst_top/contact.html
①-4	製品（ライセンス）はどこで購入できますか？	お近くのデンソーセールスへお問い合わせください。 http://www.ds3.denso.co.jp/dst_top/contact.html
①-5	フロントに置いてあるデスクトップパソコンでもデータを見たい。	動作環境を満たしていれば、どのようなタイプのパソコンでもDST-クラウドを使用することができます。 DST-クラウド取扱説明書（P.16 「動作環境」）を参照してください。 また、車両との通信を行わない機能であれば、DST-クラウドをインストールしていないパソコンでも、ウェブブラウザを用いてDST-クラウドの機能を使用することができます。 DST-クラウド取扱説明書（P.227 「11. 便利な使い方」の「11-1. DST-クラウドをウェブブラウザ上で操作する」）を参照してください。 ※改訂によってページ数が変動する可能性があります。
①-6	DST-クラウドで取得したデータはメールなどで送ることになりますか？	DST-クラウドで取得したデータは自動的にウェブサーバーへ送られる仕組みになっているので、メールで送る必要はありません。ただし、ネットワークに常時接続されている必要があります。

＜②設定・接続に関するご質問＞

②-1	DST-iとパソコン間の通信をBluetoothで行えるのか？	Wi-Fi（2.4GHz版を使用の場合）との電波干渉等により通信エラーが起こるケースがあるため、USB接続を推奨しております。
②-2	パソコンとプリンタをBluetoothで接続する際の接続方法（ペアリング）は？	ご使用になる製品（パソコン、プリンタ）の取扱説明書を参照してください。

＜③インストール・ログインに関するご質問＞

③-1	インストール時にライセンス証のアクセスキーを入力したが、エラーが表示される。	以下の可能性がありますので、ご確認ください。 ・大文字と小文字が正しく入力されていない（区別されます） ・全角で入力している ・数字とアルファベットを見間違えている →0（ゼロ）とo（オー）、1（いち）とi（アイ）など
③-2	ログイン画面でユーザIDとパスワードを入力したがログインできない。	以下の可能性がありますので、ご確認ください。 ・入力ミス（全角・半角の区別も） ・ライセンス切れ ・本登録未完了 ・メールアドレス変更中
③-3	ログイン時のユーザIDを変更できますか？	「自社情報更新」機能で「ユーザID」を設定・変更することができます。
③-4	後からメールアドレスを変更できますか？	メールアドレスは後からでも変更することができます。その際は変更したメールアドレスにメールが届き、本人確認を行うことで新しいメールアドレスが登録されます。 既に登録済みのメールアドレスには変更できません。
③-5	パスワードの入力を何度か間違った際に「アカウントがロックされています」のメッセージが表示されてログインできなくなった。	パスワードの入力を6回間違えるとアカウントがロックされ、パスワードが無効になります。その場合は、ログイン画面の「パスワードを忘れた方はこちら」のリンクをクリックして、画面の指示に従ってパスワードを再設定してください。
③-6	複数のユーザでデータベースを共有したいが、どうすればよいのか？	データベースを共有する場合は、インストール時のユーザ認証で同じメールアドレスを登録しておく必要があります。後から同じメールアドレスに変更することはできません。 後から同じメールアドレスに変更する必要がある場合は、お問い合わせ先へ連絡してください。 画面右上の「メニュー」をクリックし、メニュー内の「お問い合わせ先」をクリックすると電話番号が表示されます。
③-7	インストール時のユーザ認証でメールアドレスを入力する際、間違ったまま登録してしまった。	お問い合わせ先へ連絡してください。 画面右上の「メニュー」をクリックし、メニュー内の「お問い合わせ先」をクリックすると電話番号が表示されます。
③-8	ユーザ認証してしばらく待ってもメールが送られてこない。	メールが送信されるまでに時間がかかる場合があります。一日経ってもメールが届かない場合はお問い合わせ先へ連絡してください。 画面右上の「メニュー」をクリックし、メニュー内の「お問い合わせ先」をクリックすると電話番号が表示されます。
③-9	インストール途中で「Java Runtime Environment」をインストールするかどうかのメッセージが表示された。	メッセージが表示された場合は、「Java Runtime Environment」をインストールしてください。 インストール中に出てくる「Search App by Ask」のインストールは不要です。

＜④車両登録に関するご質問＞

④-1	車検証が無くて登録番号が入力できない。	登録番号記入欄の右側にある「車検証無し」ボタンをクリックしてください。自動的に必要な情報が入力されます。
④-2	車両情報の登録時にQRコードを使用して入力したいが、推奨しているQRコードリーダはあるの？	現在動作確認ができている機種は、以下になります。 ・デンソーウェーブ製　GT10Q ・ハネウェル製　Xenon1900 ・オプトエレクトロニクス製　OPI-3601 ・ユニテック製　MS842
④-3	QRコード読み取り方法を教えて欲しい。	画面右上の「メニュー」をクリックし、メニュー内の「マニュアル」をクリックして表示されるDST-クラウド取扱説明書（P.43「4. 車両情報管理」の「4-1. 車両情報の新規登録」の「QRコードリーダを使用する場合」）を参照してください。 ※改訂によってページ数が変動する可能性があります。
④-4	QRコードリーダを使用してQRコードを読み取る際、何か特別なソフトウェアなど必要になりますか？	QRコードリーダが使用できる状態であれば、DST-クラウドでそのままQRコードを読み取ることができます。QRコードリーダを使用する為に、ご使用になる製品に付属しているソフトウェアが必要となる場合があります。使用方法については、ご使用になる製品の取扱説明書などを参照してください。
④-5	登録済みの車両情報を削除したい。	車両情報は削除することができます。 ただし、DST-クラウドのウェブサーバーに保管されている該当車両の各種レポート（カルテ管理で参照可能なデータ）も同時に削除されますので、ご注意ください。 DST-クラウド取扱説明書（P.52 「4. 車両情報管理」の「4-3. 車両情報の削除」）を参照してください。 ※改訂によってページ数が変動する可能性があります。

＜⑤健康診断に関するご質問＞

⑤-1	健康診断の適用車種は？	DST-i専用ウェブサイトでご覧いただけます。 http://www.ds3.denso.co.jp/dst-i/manuals.html 「DST-クラウド 健康診断 適用車種一覧表」右側の「ダウンロード」ボタンをクリックしてください。
⑤-2	健康診断の車両選択時に登録した車両が表示されない。	各健康診断に未対応の車両は表示されません。 各健康診断の対応状況は「DST-クラウド 健康診断 適用車種一覧表」をご確認ください。 http://www.ds3.denso.co.jp/dst-i/manuals.html 「DST-クラウド 健康診断 適用車種一覧表」右側の「ダウンロード」ボタンをクリックしてください。
⑤-3	エンジン健康診断で選択できる（グレーアウトされていない）のにエンジン健康診断が実施できない。	車両側の通信仕様により実施できない車両もあります。
⑤-4	エンジン健康診断中に故障コードが検出されて診断が中止された。	P***コードとU0100が検出されている時は、エンジン健康診断を行うことによりエンジンを破損させる恐れがあるため、エンジン健康診断を中止します。修理後に故障コードを消去した後、再度エンジン健康診断を行ってください。
⑤-5	エンジン健康診断中に故障コードが検出された為、故障コードを消去したいがどうすれば良いか？	「DST-PC」ボタンでDST-PCに切り替えてダイアグコードを消去してください。DST-クラウドを再度利用する場合は再度ログインが必要です。
⑤-6	エンジン健康診断中に「車両制約のためエンジン診断出来ない…」と表示されて診断ができなかった。何が悪いのか？	お客様の使い方の問題ではありません。車両から送信されるデータの速度が遅いため、エンジン健康診断を行うことができません。
⑤-7	エンジン健康診断中に画面下に表示されるはずのエンジン回転数のメーターが表示されなかった。	パソコンのディスプレイの解像度が規定以下の可能性があります。 1024×768ドット以上の解像度が必要になります。

⑤-8	エンジン冷却水温83℃に達する前にエンジン健康診断を実施することはできないのか？	できません。参考値と比較する際に、正しく判定するための必須条件です。
⑤-9	エンジン健康診断の診断結果表示で、測定値の欄に「*」が表示された。どこか故障しているのか？	参考値を外れた場合に「*」が表示されます。必ずしも故障とは限りませんが、故障の可能性があったり、このまま使い続けると故障に至る可能性があります。対象の項目を点検する、または測定値の推移を定期的に確認することをおすすめします。なお、点検方法は車両メーカー発行の修理書を参考にしてください。
⑤-10	エンジン健康診断の診断結果表示で、参考値が表示されない。	現状では参考値が表示されない場合がありますが、順次参考値を準備していきます。
⑤-11	作業途中で勝手にログアウトした。	DST-クラウドを起動中にパソコンを長時間放置すると途中でログアウトする場合があります。 DST-クラウド取扱説明書（P.72 「5. 車両の健康診断」の「5-3. 健康診断の実施」）を参照してください。 ※改訂によってページ数が変動する可能性があります。

＜⑥電子点検簿に関するご質問＞

⑥-1	電子点検簿で表示されるレポートは車検でも利用できるのか？	レポート（点検整備記録簿）は法的に準拠したフォーマットですので、法定点検に使用できます。

＜⑦修理支援に関するご質問＞

⑦-1	修理支援を起動したら「ライセンスをご確認ください。」が表示された。	認証が完了していないので、ライセンスマネージャーを起動して認証を行ってください。 または、仮登録メール後の本登録が終了していない可能性がありますので、仮登録メール記載のURLから本登録を行ってください。
⑦-2	修理支援の類似検索できる事例の総数やメーカー別の割合は？	2013年7月時点では総数が約2000件、メーカー別の割合は以下になります。 ◆トヨタ：約6割 ◆日産：約1割 ◆ホンダ：約1割 ◆その他（5社合計）：約2割 今後も類似事例を順次増やしていきます。

＜⑧カルテ管理に関するご質問＞

⑧-1	DST-iを接続しないと登録したデータは確認できないのか？	DST-iを接続しなくてもカルテ管理から過去に登録したデータを確認することができます。 DST-クラウド取扱説明書（P.186 「8. カルテ管理」）を参照してください。 ※改訂によってページ数が変動する可能性があります。
⑧-2	レポート照会のQRコードを教えてもらったが、スマートフォンで閲覧できなかった。	ブラウザによっては閲覧できない場合があります。 現在確認ができているブラウザは、以下になります。 ・Safari（iOS） ・Google Chrome（アンドロイドOS）
⑧-3	レポート照会のURLにアクセスしたら認証コードの入力を求められた。	認証コードは、お客様車両のナンバープレートの4桁の番号になります。

<⑨その他のご質問>

⑨-1	マニュアル（取扱説明書）が見たい。	画面右上の「メニュー」をクリックし、メニュー内の「マニュアル」をクリックして表示されるDST-クラウド取扱説明書を参照してください。
⑨-2	アプリケーションが動かなくなった（フリーズした）。	DST-iの電源をOFFしてDST-クラウドをログアウトした後、DST-iの電源をONしてDST-クラウドを再起動させてください。
⑨-3	ライセンスを更新せずに有効期限が切れたらどうなる？	DST-クラウドは、有効期限が切れた時点でカルテ管理以外の機能はご使用になれません。
⑨-4	各種レポートを印刷する際、Bluetoothで接続したプリンタを使用できるか？	DST-クラウドによる制約はありませんので、お使いのプリンタがBluetoothで接続可能かご確認ください。
⑨-5	FAINES連携とは何か？	「FAINES」ボタンをクリックするとウェブブラウザで日整連（日本自動車整備振興会連合会）が提供するFAINESのログイン画面が表示されます。 ログインには会員登録が必要となります。
⑨-6	DST-クラウドを海外で使用したい。	DST-i関連製品は日本国内の使用のみ許可しておりますので、海外での使用はできません。
⑨-7	しばらくの間DST-クラウドを使用せずに放置した後、作業を再開したら勝手にログアウトした。	ログイン後、未操作の状態または同じ画面を表示し続けた状態（画面遷移していない場合）で1時間経過すると、システムエラー発生後、自動的にログアウトされます。
⑨-8	他のシステムで管理しているデータ（自社情報、車両情報など）をDST-クラウドに移したい。ExcelやWordのデータなら読み込めるのか？	DST-クラウドに外部データの読み込み機能はありません。 手入力で登録してください。
⑨-9	DST-iを接続しないとDST-クラウドを使用できないのか？現場とフロントでパソコンを使い分けたい。	機能は制限されますが、DST-クラウドをウェブブラウザ上で操作することができます。 DST-クラウド取扱説明書（P.227 「11. 便利な使い方」の「11-1. DST-クラウドをウェブブラウザ上で操作する」）を参照してください。 ※改訂によってページ数が変動する可能性があります。

11. 便利な使い方

11-1. DST-クラウドをウェブブラウザ上で操作する

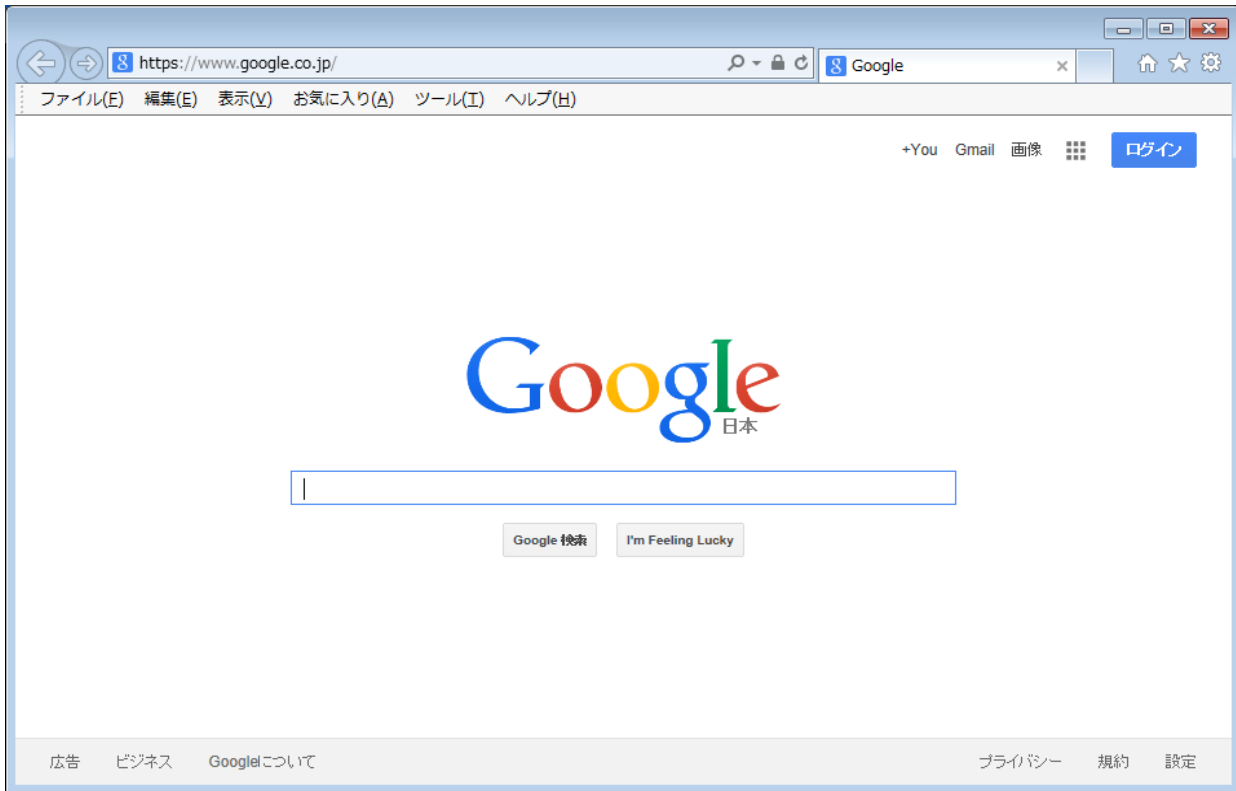
DST-クラウドをウェブブラウザから起動して操作することができます。
DST-PCをインストールしていないパソコンでも操作することができますので、フロント業務として問診の入力を行うなど、作業分担の手段としてご活用いただけます。

＜使用可能な機能一覧＞

サービス機能		作業	ウェブブラウザから起動
車両情報管理	車両新規登録	情報入力～登録	○
	車両情報更新	情報入力～登録	
	車両情報削除	削除	
車両健康診断	ガソリンエンジン ディーゼルエンジン ハイブリッド ALLダイアグ	情報入力～登録	○
		健康診断実施	×
		診断結果入力～登録	○
		各種レポート表示、出力	○
電子点検簿	定期点検	点検前情報入力	○
		各種点検	
		点検結果情報入力	
		点検結果登録	
		レポート表示、出力	
修理支援	修理開始・再開	問診入力～登録	○
		ALLダイアグ実施	×
		類似事例検索	×
		調査結果入力～登録	○
		レポート作成、設定～登録	○
		修理結果登録	○
		修理依頼	○
		レポート表示、出力	○
カルテ管理	カルテ情報	お客様開示	○
		各種データ表示	
		各種レポート表示、出力	
	修理依頼・結果確認	修理依頼	○
		結果の確認	
		レポート作成	
自社情報更新	自社情報更新	情報入力～登録	○
店舗検索	デンソーサービスステーション検索	条件入力～店舗情報表示	○

ウェブブラウザから起動

● ウェブブラウザ（インターネットエクスプローラなど）を起動します。
　ウェブブラウザ画面が表示されます。

ウェブブラウザ画面（表示例）

● ウェブブラウザのアドレスバーに下記URLを入力して決定します。
　URL：https://tunag-globaldenso.com/web/
　ログイン画面が表示されます。

ログイン画面

ポイント

- 以降の操作はDST–PCからDST–クラウドを起動した場合と同様です。
- アプリケーションを終了する際には、ウェブブラウザ画面を閉じてください。

注意

- タブ機能を用いて同一のウェブブラウザ内でDST–クラウドに複数ログインした場合、不具合が起きる可能性があります。
  同じパソコンで複数ログインされる場合は、複数のウェブブラウザを用いてログインしてください。

ショートカットから起動

デスクトップ画面

● デスクトップ画面の をダブルクリックし、DST−クラウドを起動します。
ログイン画面が表示されます。

ログイン画面

12. DST−クラウドの終了

DST−クラウドからログアウトして、アプリケーションを終了します。

作業している画面

● 作業している画面で「メニュー」をクリックします。
メニューが表示されます。

ポイント

・ 画面右上に「メニュー」が表示されていれば、どの画面でも同様に操作することができます。

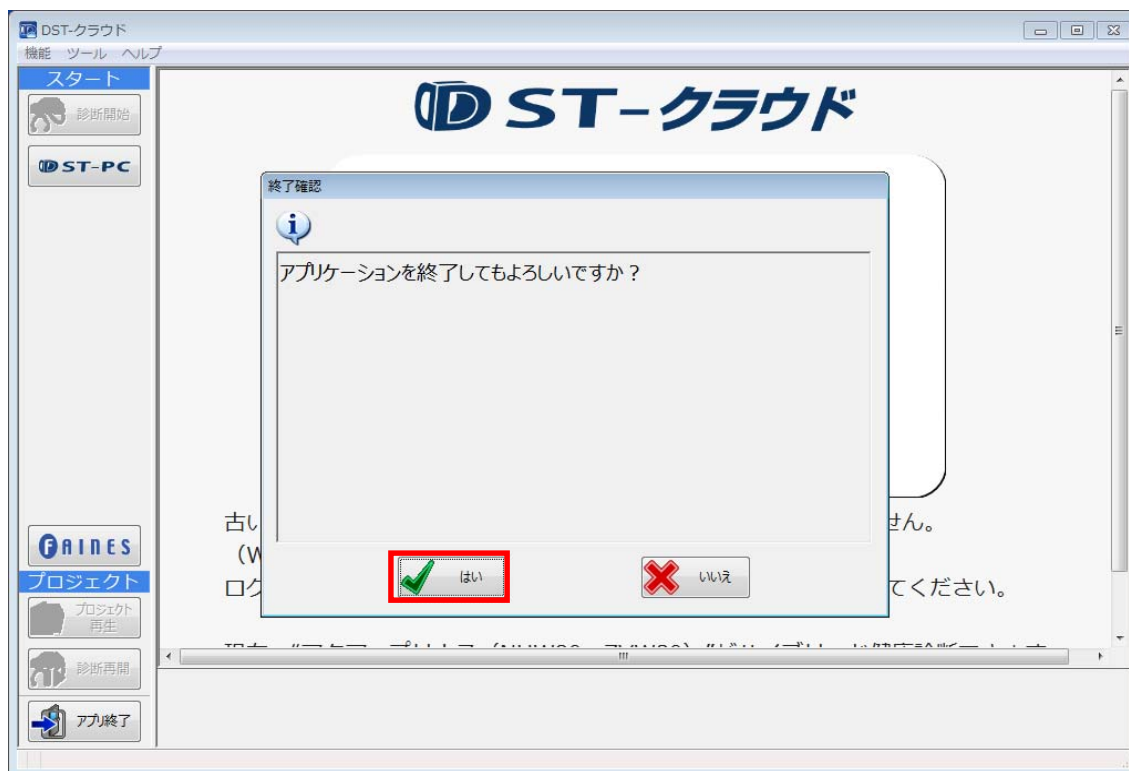
作業している画面（メニュー表示）

● メニューの一覧から「ログアウト」をクリックします。
　ログイン画面が表示されます。

ポイント
・ログアウトせずにそのままアプリケーションを終了することもできますが、一旦ログアウトすることをおすすめします。

ログイン画面

● ログイン画面で「アプリ終了」をクリックします。
　終了確認画面が表示されます。

終了確認画面

● 終了確認画面で「はい」をクリックします。
DST−クラウドのウィンドウ画面が閉じます。